

令和3年度第2回

小林市地域公共交通活性化協議会・小林市地域公共交通会議

日時：令和3年10月21日（木）14：00～16：00

場所：小林市役所 第1別館大会議室

◆会議次第

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

(1) 小林市地域公共交通計画の策定について

①地域公共交通の移動特性・ニーズ調査の結果について

【資料編1 市民アンケート調査】

【資料編2 JR駅利用者ヒアリング調査】

【資料編3 コミュニティバス及び福祉バスの利用状況・ニーズ】

【追加資料 現状に関する補足情報1】

②地域公共交通の現状及び課題・取組の方向性について

【追加資料 現状に関する補足情報2・3】

【追加資料 地域公共交通の現状及び課題・取組の方向性】

4. その他

次回開催：11月25日（木）10：00～

5. 閉会

■現状に関する補足情報 市民アンケート調査・利用者ニーズ調査の結果 (概要)

1 各種調査結果の概要

1. 市民アンケート調査結果

(1) 運転免許・自動車の利用状況について

- 全体の86.5%が運転免許を保有、うち**43.3%が65歳以上の高齢者**
- 65歳以上高齢者の**46.8%は今後運転免許を返納する考え**がある
- 全体の84.3%は自家用車を利用、**3.7%は送迎も頼みず自家用車も持たない**

(2) 18歳以下(学生)の代表交通手段について

- 代表交通手段は、**公共交通の利用割合は24.2%**でそのうち**18.2%は路線バスの利用、家族等の送迎**を利用している割合は**21.2%**と他の年齢層に比べて高い

(3) 高齢者(65歳以上)の代表交通手段について

- 65歳~74歳の高齢者は自動車・バイクの利用割合が約9割を占めているが、75歳以上の高齢者は自動車・バイクの利用割合が約7割、**公共交通の利用割合は13.2%**(タクシー・コミュニティバスが多い)

(4) 目的別の外出行動について【通勤・通学、買い物、通院】

- 通勤・通学先は**小林市内(77.2%)**が最も多く、次いで都市**公共交通の利用割合は市内移動が2.0%**、市外移動が12.5%
- 買い物先は**市内の割合が97.0%**、そのうち小林地区が80.2%
公共交通の利用割合は2.4%、自動車・バイクが全体の7割程度
- 通院先は**市内の割合が85.9%**、そのうち小林地区が69.1%
公共交通の利用割合は2.3%、自動車・バイクが全体の6割程度

(5) 公共交通の利用状況について【鉄道・路線バス・タクシー等】

- 鉄道の利用割合は**2.8%**と低い利用状況、駅までの移動手段として**自動車を利用する割合が29.2%**、**降車駅は都城駅が(31.8%)多い**
運行時間や本数に対する不満を持っている割合(53.5%)が高い
不満：**外出時間と運行時間が合わない**
- 路線バスの利用割合は**6.1%**と低い利用状況、**小林地区中心部に住んでいる方の利用が多く**、目的地は**宮崎市内(59.6%)**が多い
運行時間や本数に対する不満を持っている割合(46.4%)が高い
不満：**外出時間と運行時間が合わない、荷物が多いため乗りにくい**
- タクシーの利用割合は**8.6%**、**21時以降の利用割合(39.5%)**が高い
不満：**料金が高い**
- コミュニティバス・福祉バスの利用割合は**3.4%**、**須木地区の利用割合が高い**、不満：**外出したい時間と運行が合わない**
今後の利用意向は、「**利用するから分からないが地域に必要なサービス**」と回答している割合が高い、希望する運行方法は「**決まった時刻の運行**」(23.6%)「**事前予約型でも良い**」(20.7%)が同等の割合

(6) 市の財政負担・今後の取組意向について

- 財政負担による運行を今後も継続すべき(55.3%)**で、**今後は現在の財政負担で運行サービスを継続して欲しい(39.9%)**との考え
- 公共交通の維持・利用向上の取組として、**高齢者が利用しやすいサービスの提供**や高齢者をターゲットとした利用促進が望まれる

2. JR駅利用者ヒアリング調査結果

(1) JR小林駅・西小林駅の利用者層について

- 小林市駅・西小林駅ともに**高校生の利用割合(約4割)**が高い
- 高齢者の利用者は全体の**約2割**で、そのうちの**約半数が運転免許を保有している**

(2) JR小林駅・西小林駅の利用実態について

- 小林駅で60.2%、西小林駅で85.2%**が普段から鉄道を利用している
- 駅までの移動手段として、小林駅では**自転車(23.8%)・徒歩(23.3%)**の割合が高く、次いで**路線バス(20.0%)**の利用割合も高い
西小林駅では、**家族・知人の送迎(51.9%)**が多く占める
- 鉄道・駅利用の満足度は、小林駅・西小林駅ともに**満足の割合が約4割**を占めている、不満足な理由としては**運行便数が少ない**が多い

(3) 路線バスの利用状況について

- 普段、路線バスを利用する割合は**小林駅で約5割、西小林駅で約1割**
- 小林駅・西小林駅ともに**路線バスに不満**を持っている割合が多く、理由として「**乗りたい時間帯に便がない**」、「**自宅からバス停が遠い**」が多く挙げられる

(4) タクシーの利用状況について

- 普段、タクシーを利用する割合は**小林駅で約3割、西小林駅で約2割**
- 小林駅・西小林駅ともに**タクシーに不満**を持っている割合が多く、理由として「**料金が高い**」が多くなっている

3. コミュニティバス・福祉バス乗降調査結果

(1) コミュニティバス・福祉バスの利用者数について

- コミュニティバスでは、**上九瀬線(33人)**の利用が多く、次いで**三松循環線(25人)**の利用が多い
- 福祉バスでは、**紙屋2(16人)**の利用が多い

(2) コミュニティバス・福祉バスの利用者特性について

- コミュニティバス利用者は、**80歳以上(31.6%)**が多く、次いで**高校生(22.4%)**の通学が多い、高齢者は主に**買い物・通院目的**で利用主に**徒歩圏内に運行する方の利用**が多く、一部の方は帰りに家族、知人の送迎やタクシーの利用がみられる
- 福祉バス利用者は、**80歳以上(66.7%)**が最も多い、主に**買い物・通院目的**で利用、9割以上が徒歩圏内にバスが運行する方の利用

(3) コミュニティバス・福祉バスの満足度・改善内容について

- コミュニティバスに満足している割合は**59.8%**、不満足な理由としては**運行本数・時間に関する理由**が多い
改善を期待する内容は「**運行本数を増やしてほしい**」が最も多い
- 福祉バスに満足している割合は**82.3%**と高い状況
改善を期待する内容として特に意見は少ない

■路線別の利用状況

路線名	運行日	便名	乗車人数	利用状況
上九瀬線	月~土 ・日祝	1 上り 6:50	14	○高校生の通学利用が多い ○上り(小林駅行き)は坂の下・麓・奈佐木の乗車、小林原・小林駅の降車が多い、下り(上九瀬行き)は小林駅の乗車、須木庁舎前の降車が多い
		2 下り 7:10	1	
		3 上り 8:05	4	
		4 下り 12:15	5	
		5 上り 13:08	2	
		6 下り 15:05	1	
		7 上り 15:58	0	
		8 下り 18:00	2	
		9 下り 18:50	4	
		10 上り 18:55	0	
鰯野循環線	月・木	1 上り 8:09	2	○高齢者・主婦層の通院利用が多く、池田病院前・前原病院前・小林駅で乗降がみられる
		2 上り 11:29	2	
岡原循環線	月~金	1 上り 7:53	1	○高齢者の買い物・通院利用が多い ○前原病院~上黒仁田の区間は乗車0人
		2 上り 11:38	2	
		3 上り 17:38	0	
種畜牧場循環線	月木土	1 上り 8:58	4	○高齢者の買い物利用が多く、下竹山~細野小前間の乗降が多い
		2 上り 12:33	3	
		3 上り 15:48	2	
南ヶ丘線	火木土	1 下り 9:10	0	○高齢者の通院利用が多い ○上り(小林駅行き)13:02発・16:27発の便は利用者が0人、下り(南ヶ丘中央行き)9:10発・12:30発の便は利用者が0人
		2 上り 9:42	3	
		3 下り 12:30	0	
		4 上り 13:02	0	
		5 下り 15:55	2	
		6 上り 16:27	0	
環野・千歳線	月水金	1 下り 9:08	0	○高齢者の通院利用が多い ○千歳~南ヶ丘入口の区間は乗車人員が0人 ○上り(至小林駅)12:57発と17:07発の便は利用者が0人、下り(至千歳)9:08発の便は利用者が0人
		2 上り 9:37	4	
		3 下り 12:28	3	
		4 上り 12:57	0	
		5 下り 16:38	1	
		6 上り 17:07	0	
運動公園循環線	月水金	1 上り 9:00	3	○高齢者の通院利用が多く、小林駅~市営野球場前の区間は乗車人員が0人
		2 下り 11:20	2	
		3 上り 13:30	1	
深草循環線	火・木	1 上り 7:58	6	○高齢者の買い物・通院が多く、小林駅・前原病院前の乗降が多い、観音~深草間の乗車が多い
		2 上り 12:28	5	
大出水循環線	月水金	1 上り 7:38	5	○高齢者の通院利用が多く、芹川~西小林駅西間の乗降が多い
		2 上り 12:33	2	
三松循環線	月~土	1 上り 9:03	4	○会社員・高齢者の買い物・通院・趣味・娯楽利用が多く、小林駅~サンキュー間の乗降が多い
		2 上り 10:05	2	
		3 上り 10:48	4	
		4 上り 11:45	3	
		5 上り 13:58	8	
		6 上り 14:58	4	
上原循環線	火・木	1 上り 9:15	2	○高齢者の通院利用が多く、岐道や上原の乗車が多い、内村病院前や小林駅の降車が多い
		2 上り 13:25	2	
三ヶ野山1・東麓2	水・土	1 上り 7:50	5	○高齢者等の買い物・通院、温泉の利用、7:50発・15:24発の便は車内乗車人員が最大4人
		2 下り 10:43	3	
		3 上り 13:11	3	
		4 下り 15:24	4	
三ヶ野山2・紙屋2	月・木	1 上り 7:50	10	○高齢者の通院利用が多い、7:50発の便は車内乗車人員が最大7人
		2 下り 10:46	10	
		3 上り 13:17	0	
		4 下り 15:33	1	
東麓1・紙屋1	火・金	1 上り 7:50	13	○高齢者の買い物・通院利用が多い、7:50発の便は車内乗車人員が最大8人
		2 下り 10:40	9	
		3 上り 13:07	0	
		4 下り 15:17	0	
内山線	金	1 上り 7:10	1	○高齢者の買い物・通院利用が多い、利用者1名
		2 下り 16:45	0	

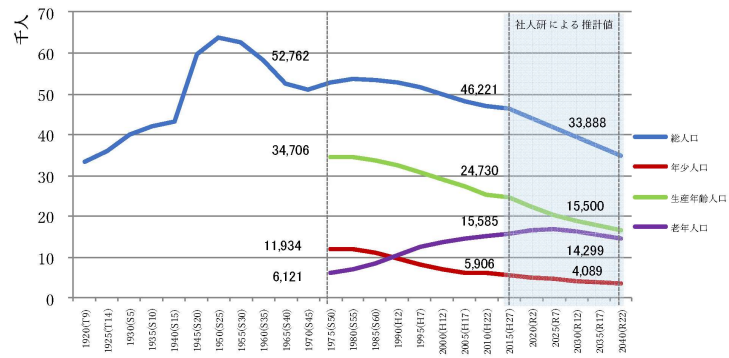
■ 現状に関する補足情報 地域の特性（人口の推移・分布）

2 人口減少・少子高齢化の推移

(1) 人口の推移

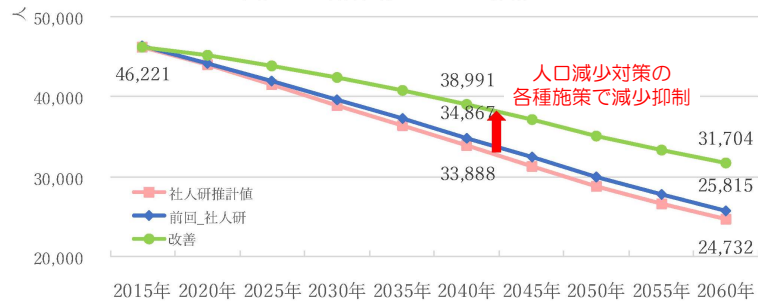
- 本市人口は昭和30年の6.4万人をピークに人口減少・少子高齢化が続いている。今後さらに少子高齢化（高齢者の増加・子どもの減少）が予測されており、高齢者は2025年まで増加して以降減少に転じる。
- 人口ビジョン・総合戦略による各種施策を展開し、人口の自然減・社会減の抑制を図るよう目指している。

図表2 年齢3区分別人口の推移と将来推計



出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所 特来人口推計、小林市資料、宮崎県資料

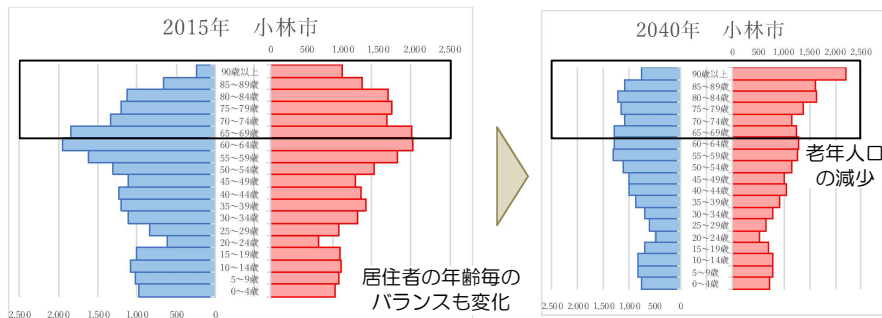
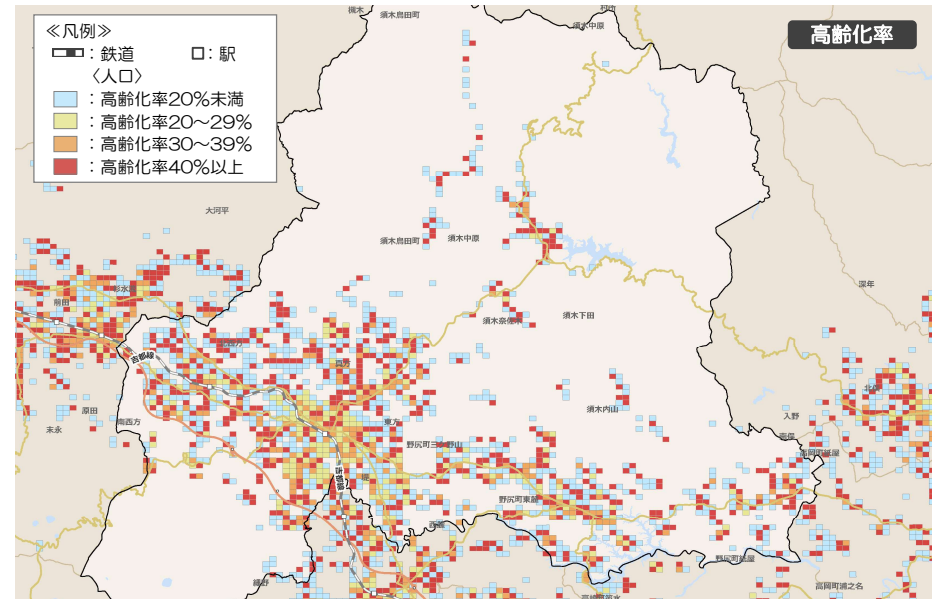
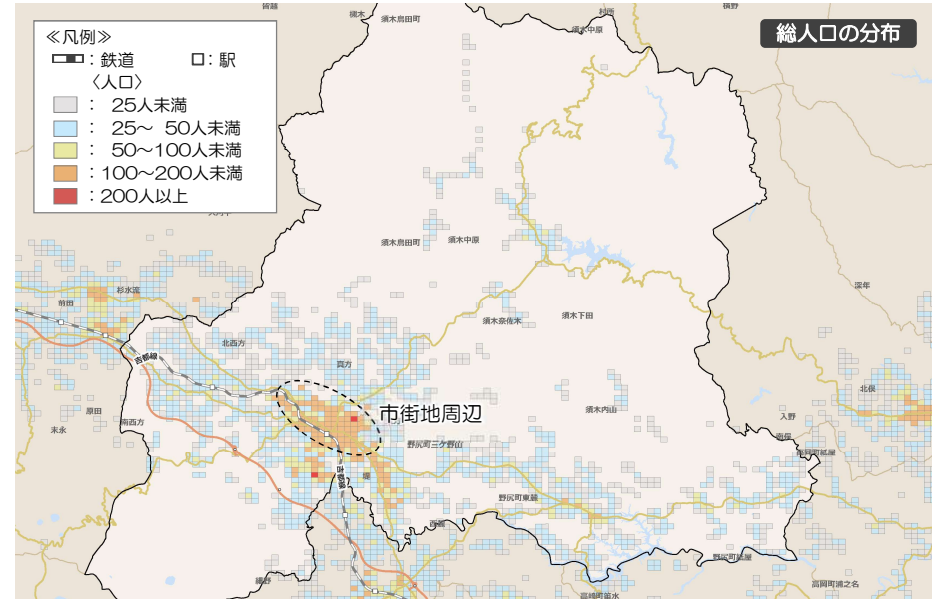
図表40 改善目標による人口推計



人口減少対策の各種施策で減少抑制

(2) 人口分布

- 居住人口の分布は、市街地周辺の国道268号・国道221号沿いを中心に分布している。
- 高齢化率は市街地周辺・須木地区・野尻地区それぞれで進行し、市内一円に高齢人口が分布している。



(出典：第2期でなんど小林総合戦略 人口ビジョン編・総合戦略編)

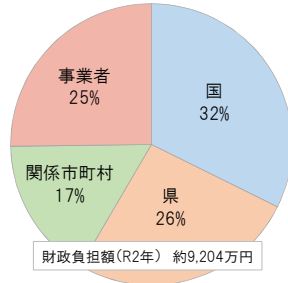
(出典：H27国勢調査)

■現状に関する補足情報 路線バス及びコミバス・福祉バスの運行状況

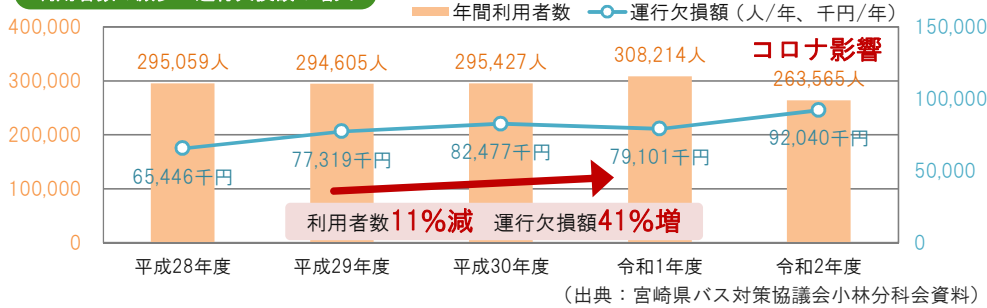
3 バス路線の運行評価

(1) 財政負担状況

- 市内の幹線交通を担う路線バスの維持には、年間約9,200万円の欠損額が生じている。運行欠損額のうち、国庫補助による支援（32%）を受けながら、県（26%）・関係市町村（17%）・事業者（25%）が欠損額を補てんしている。
- 赤字路線であっても、市民生活を支える社会インフラとして路線バス事業者の地域貢献などの意識・意欲によって支えられている。

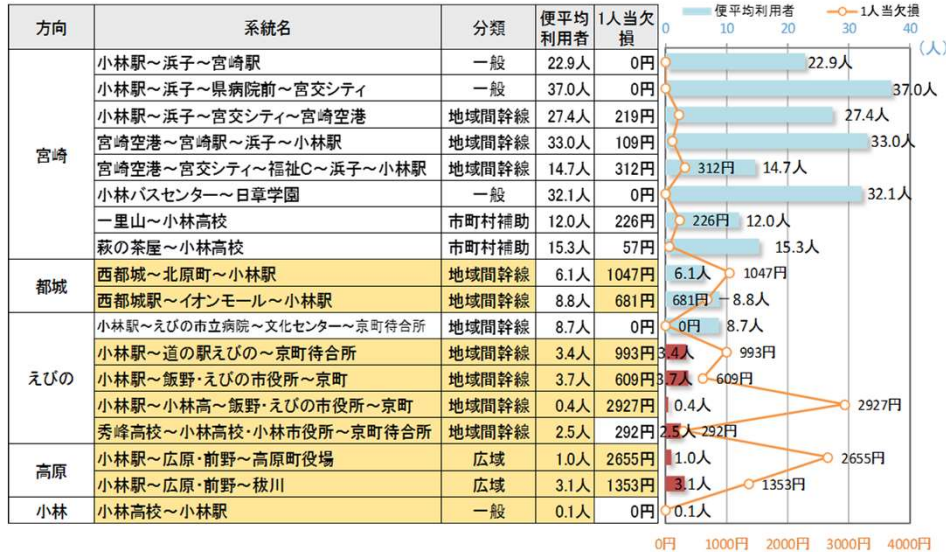


利用者数の減少・運行欠損額の増大



(2) 系統別の利用度・収支状況

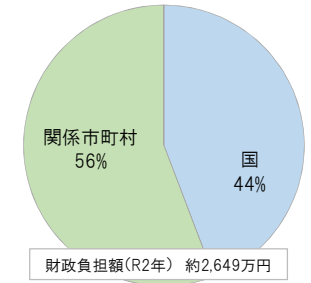
- 運行路線の中には、1便平均利用者数が5.0人に満たない系統、利用者1人の移動のために補填している欠損額が大きい系統など、提供サービスに見合った利用が得られていない路線が存在する。
- 特に、広域的バス路線（県・市町村補助）である高原・菟川線、地域間幹線系統の京町待合所線・都城線について利用度合いや効率性の低さが確認され、運行効率化や利用促進策を講じる必要がある。



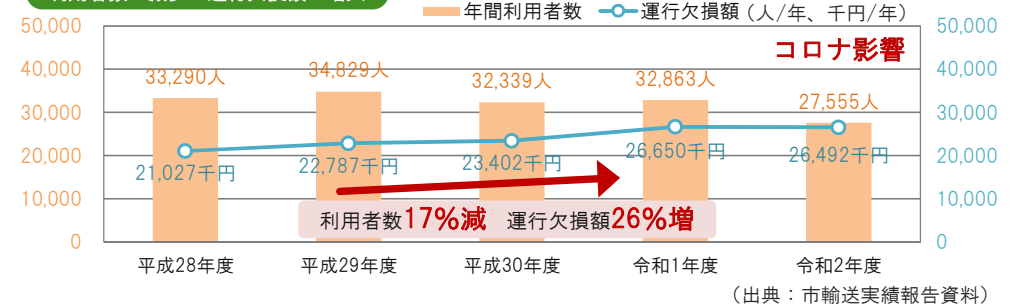
3 コミュニティバス・福祉バスの運行評価

(1) 財政負担状況の推移

- 小林・須木地区に運行するコミュニティバス、野尻・内山地区に運行する福祉バスは国庫補助・小林市の欠損補てんにより維持している。財政負担状況の推移では、年々増加傾向にある。

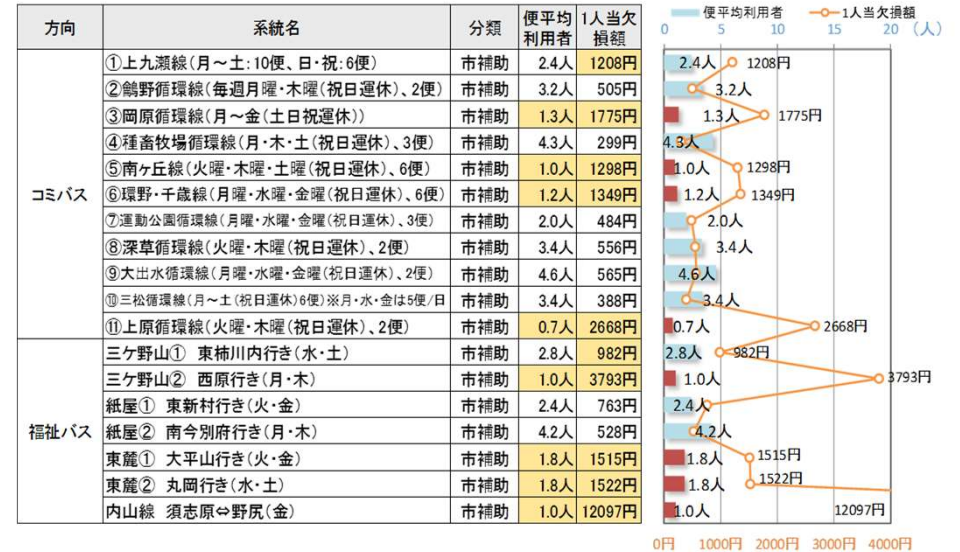


利用者数の減少・運行欠損額の増大



(2) 系統別の利用度・収支状況

- 系統別の状況では、1便あたりの平均利用者数が1.0人に満たない（空バスが生じている）系統、利用者1人の移動のために補填している欠損額が大きい系統など、提供サービスに見合った利用が得られていない。
- ※公共交通の前提である“乗合交通”としての機能が不十分に（運行1回に2人以上が乗り合っていない）。



■ 地域公共交通の現状及び課題・取組の方向性

小林市の地域特性

- 人口特性・立地の状況**
- (1) 人口の推移
 - 本市人口はS30年の6.4万人をピークに人口減少・少子高齢化が続き、今後さらに高齢者の増加・子どもの減少が予測
 - 少子高齢社会の定着（生産年齢：高齢者・子ども比率＝1：1）、老年人口は2025年まで増加したのち減少に移行すると予測
 - 市街地周辺の国道268号・国道221号沿いを中心に居住地が分布
 - 小林地区の郊外部や須木・野尻地区に低密な人口分布が広がる
 - (2) 施設の集積状況
 - 小林駅を中心とする市街地・上町周辺に生活サービス施設が集積
 - 須木地区・野尻地区には、庁舎周辺に商業・医療施設が立地
- 移動特性**
- (3) 通勤通学の特性
 - 通勤通学先は小林市内77.0%、市外20.7%（えびの・宮崎等）
 - 交通手段は自家用車が8割だが、市内に比べて市外の通勤通学は、公共交通を利用する割合が多くなる（12.5%）
 - (4) 買い物・通院の特性
 - 日常の買い物は上町・北堤～駅周辺のスーパーに外出行動が集中（80.2%）、交通手段は自動車・バイク74.4%、公共交通2.4%
 - 通院では小林地区は69.1%で須木地区や野尻地区は買い物に比べ地区内の通院が多い。主な交通手段は64.9%が自動車・バイクを利用し、公共交通の利用は2.4%（コミバスやタクシー等）

地域公共交通の現状

- 公共交通の運行状況・利用状況**
- (1) 鉄道
 - JR吉都線は朝夕を中心に都城・吉松各方面に8便/日が運行
 - 利用目的は通学（37%）が多く、買い物、通勤、通院、趣味娯楽で利用される（中学生46%/高齢者17%/その他37%）
 - 小林駅の1日乗車人員は366人/日（西小林駅23人/日程度）
 - (2) 路線バス
 - 宮崎/都城/えびの/高原各方面に朝夕中心に運行（半数は学生）
 - 利用者はR1年まで微増（R2年はコロナ影響で減少）だが、運行欠損額の増大や運転士不足の問題（路線存続策が必要）
 - (3) コミュニティバス・福祉バス
 - R2年はコミバス利用者21,932人で減少（コロナ影響）
 - コミバス11路線中4路線は便平均2.0人未満と利用が少ない
 - 部分的に利用者0人の空バスや利用されないバス停区間が発生
 - R2年の福祉バス利用者5,623人で減少（コロナ影響）
 - 福祉バス7路線中4路線は便平均2.0人未満で乗り合っていない
 - 部分的に利用者0人の空バスや利用されないバス停区間が発生
 - (4) タクシー
 - 市民のタクシー利用は8.6%（週1回以上9.1%、年数回が半数）
 - 宮崎県内のタクシー事業は縮小傾向が続いており、タクシー輸送人員は年5%減少、営業収入は年3%減少（運転士も不足）
 - (5) その他（個別の移動支援）
 - 公共交通利用が難しい市民は福祉タクシー助成（75歳以上）
 - スクールバスを須木・内山地区で実施（児童数が少ない）
 - そのほか、須木地区内で温泉バス・要介護者等の外出支援

将来都市像 - 総合計画

みんなでてなむ 笑顔あふれる じょじょんよかとこ 小林市

- 都市計画**
- 30年後も持続可能なまちづくりの推進
 - 安全・安心・快適に暮らせるまち、中心市街地の多様な機能誘導
 - 自然・地域産業と共生したコンパクトなまちづくりの推進
 - 小林・須木・野尻の特色を活かした拠点性強化・ネットワーク連携
 - 地域の活力を創出する産業交流のまちづくりの推進
 - 就業の場の創出や若者定住に向けた産業交流の活発なまちづくり
- 公共交通の役割**
- 通学、通院、買い物及び通勤といった日常生活を支える
 - 高齢者や障がい者が安心して生活できるまちづくりを支える
 - 市内外や県外をつなぐことで、広域的な移動を可能にする
 - 効率的な公共交通網形成により、環境負荷を軽減し、本市の豊かな水や自然を守る
 - 市外からの観光客の引き込み及びその観光客の移動を支える

編集が必要（前計画のまま）

公共交通に係る市民ニーズ

- (1) 自家用車での移動を中心とする市民の生活
 - 市民の大多数が買い物や通院等の外出行動に自家用車を日常利用
 - 高齢者も約8割は自家用車を使って暮らす習慣が定着し、自家用車での移動が生活になくてはならない状況が推察
- (2) 運転免許を手放せない・自ら移動手段を持たない高齢者
 - 高齢ドライバーの47%は免許返納を考えると、生活のために手放せない
 - ほか、家族等の送迎で移動（8.8%）、送迎を頼めない（2.0%）、自動車等を保有していない（3.4%）等、自動車等で自由に外出できない市民
- (3) 保護者の送迎に依存せざるを得ない中高生
 - 高校生の通学はバス・鉄道（32.6%）や自転車（23.3%）での移動が多いが、ほか家族・知人等の送迎（27.9%）に依存（遊びの際も送迎）
 - 親が居ないと遠出できない、家族が仕事で送迎してもらえない等の困り事
- (4) 鉄道・路線バス・タクシーに求められる改善ニーズ
 - 鉄道や路線バスの利用者が求める改善ニーズは、外出したい時間と運行が合わない（乗りたい時間に便がない）や乗り場が近くにない等
 - 一方、タクシーの満足度は高くなっているが、改善ニーズで料金の高さが挙げられ、料金がわかりすぎて外出する度に毎回利用はできない状況
- (5) コミュニティバス・福祉バスに求められる改善ニーズ
 - コミバス・福祉バスの利用者は運行時間に行動を合わせようとしているものの、乗りたい時間に合わない等の不満が個々の路線で発生
 - 昼前の時間・10時台にもう1便増やしてほしい、曜日を増やしてほしい、部活帰りに使える便がほしい等、路線ごとに異なるニーズが確認
- (6) 公共交通維持に係る財政負担の考え方
 - 財政負担による運行維持を継続すべきと考える市民が55.3%、継続すべきでないとする市民は全体の2.4%に留まる
 - 今の水準で継続を望む市民と、負担軽減の工夫が必要とする市民が存在
- (6) 公共交通維持に必要な取組
 - 高齢者に使いやすい車両、鉄道・バスの接続、免許返納の促進が求められる一方、使い勝手の良い運行を市民が考える地域主体の取組を希望

■ 地域公共交通の課題・取組の方向性

(1) 持続可能性に関する課題

- 課題1 自家用車を使う市民を含む広く利用される仕組みの再構築**
- 公共交通の持続性を高めるには地域の人に広く利用される必要があり、週1回・月1回など、自家用車と両立して公共交通を使う市民の拡大
 ⇒利用者心理のハードルを緩和するコミバス・福祉バスの統合（料金体系の統一化、自治会等を通じた一斉周知・利用促進）
 ⇒“自家用車＋公共交通”を使い分けるハーフ利用の促進・拡大（公共交通の休日利用・家族連れ利用を促す乗車体験企画など）
 ⇒幹線交通を含む公共交通の利用促進・外出機会の創出
- 課題2 公共交通の維持に係る財政負担額の抑制**
- コミバス等の維持に係る財政負担額はR2年度に26百万円を超え、利用者数の減少に伴う収益性の低下などの重大な問題に直面しており、それぞれの公共交通が役割分担・相互に連携した持続性の向上
 ⇒鉄道駅を中心とする市街地活性化の支援（バス・タクシーの接続）
 ⇒持続性向上のための幹線バスの見直し（京町線・桜川線の収支改善）
 ⇒コミュニティバス・福祉バスの利用低迷路線の改善

(2) 利便性に関する課題

- 課題3 市民の移動ニーズと路線網・ダイヤの不一致の解消**
- 上町・北堤周辺などの日常的な市街地への移動、学生等の通学時間に合わせた運行、高齢者の利用しやすい乗り場・車両などのニーズに対応
 ⇒コミバス市街地路線の見直し（上町・北堤周辺の移動）
 ⇒利用者ニーズに合わせた運行ダイヤの見直し（上九瀬、三松等）
 ⇒医療・商業施設等と連携したバス待ち環境整備、乗り継ぎ情報提供
 ⇒福祉分野における障がい者や要支援者等のタクシー施策の継続【他】
- 課題4 各地区の生活に密着した地域交通の取組の推進**
- 外出行動に制約を受ける高齢者・学生等の持続的な移動支援に向けて、路線沿線の自治会等との意見交換を通じた細やかな改善・利用促進
 ⇒地域の移動手段確保を考慮する意見交換会（“使う人”との対話）
 ⇒地域の実情に合った運行改善（使う人に合わせた改善・利用促進）
 ⇒地区毎の公共交通案内マップの作製、健康づくりの外出企画
- 課題5 サービス利便性を維持するための事業転換の実証**
- 体調や天候により外出に制約を受ける高齢者等、利用者や取り込めない市民は運行日や運行時間の拡大を希望するが、単純な増強は財政圧迫により困難で、新技術活用の予約運行などの転換可能性を実証
 ⇒新たな技術の活用を含むオンデマンド交通の検証（利用可能時間の拡大、収益性、予約制での利用者離れを検証）

(3) 効率性に関する課題

- 課題6 バス交通の提供サービスの適正化**
- 路線バス都城線やコミバス・福祉バスの一部路線には空バスの便や未利用バス停などの使われない運行が生じ、運行効率や財政負担割合を改善
 ⇒空バス区間・未利用バス停区間の効率化（路線バス、コミバス等）
- 課題7 交通事業者の負担を軽減する事業環境の確保**
- 収益性の低下とともに、事業者側の運転士不足・車両の老朽化の深刻化によるサービス低下が懸念され、運行負担の軽減を考慮した改善を推進
 ○コミバス等の旧ダイヤ等の運行改善、ICカード等のデジタル化促進等

小林市地域公共交通計画策定支援業務

資料編 1 市民アンケート調査

令和 3 年（2021 年）9 月

宮崎県小林市

〈 目 次 〉

1-1 調査の概要	
1-1-1 目的	1
1-1-2 調査方法	1
1-1-3 アンケート調査票	2
1-1-4 調査結果についての注意点	4
1-2 回答者の特徴	
1-2-1 基本属性（性別・年齢・地区・職業）	4
1-2-2 世帯構成	5
1-2-3 運転免許の保有状況・返納意思	5
1-2-4 自動車等の利用状況	6
1-2-5 その他（介護の要否・スマホ使用状況）	7
1-3 普段の外出状況（総括）	
1-3-1 代表交通手段	8
1-3-2 普段の主な外出頻度	9
1-3-3 外出時（移動）の困りごと	10
1-4 目的別の外出状況	
1-4-1 通勤・通学状況	
（1）通勤・通学時の移動特性	11
（2）通勤・通学の頻度・時間帯	12
1-4-2 買い物の状況	
（1）買い物の移動特性	13
（2）買い物の頻度	14
（3）買い物の主な時間帯	15
1-4-3 通院の状況	
（1）通院の移動特性	16
（2）通院の頻度	17
（3）通院の主な時間帯	18
1-4-4 その他用事（娯楽・趣味等）	
（1）その他用事（娯楽・趣味等）での移動特性	19
（2）その他用事の外出頻度	20
（3）その他用事の主な外出時間帯	21

1-5	鉄道（JR 吉都線）の利用状況	
1-5-1	鉄道の利用状況	22
1-5-2	利用時の困りごと・利用しない理由	23
1-3-3	改善後の利用回数の変化	23
1-6	路線バス（宮崎交通バス）の利用状況	
1-6-1	路線バスの利用状況	24
1-6-2	利用時の困りごと・利用しない理由	25
1-6-3	改善後の利用回数の変化	25
1-7	タクシーの利用状況	
1-7-1	タクシーの利用状況	26
1-7-2	利用時の困りごと・利用しない理由	27
1-7-3	改善後の利用回数の変化	27
1-8	コミュニティバス・福祉バスの利用状況	
1-8-1	コミュニティバス・福祉バスの利用状況	28
1-8-2	利用時の困りごと・利用しない理由	29
1-8-3	改善後の利用回数の変化	29
1-8-4	今後のバスの利用意向	30
1-8-5	希望する運行方法	30
1-9	生活環境や公共交通の満足度	
1-9-1	生活環境の満足度	
	（1）買い物のしやすさ	31
	（2）医療機関への通院しやすさ	31
	（3）趣味・娯楽等の行動しやすさ	31
1-9-2	公共交通の満足度	
	（1）鉄道（JR 吉都線）	32
	（2）高速バス	32
	（3）タクシー	32
	（4）路線バス	33
	（5）コミュニティバスおうらい	33
	（6）福祉バス	33
1-10	市の財政負担・今後の取組への意向	
1-10-1	市の財政負担への意向	34
1-10-2	公共交通の維持・利用向上のための考え	35

資料編 1 市民アンケート調査

1-1 調査の概要

1-1-1 目的

今後の公共交通を利用する見込みが高い市民（ターゲット層）を抽出するため、「だれ（地区・年齢・目的）」が「どこ（居住地）」から「どこ（目的地）」に「いつ（時間帯）」「どのような手段で移動しているか」等の生活行動やニーズの詳細把握を行った。

1-1-2 調査方法

調査対象：市内在住 2,000 世帯（無作為抽出による 15 歳以上がいる世帯）

調査期間：令和 3 年 8 月 16 日～令和 3 年 9 月 10 日頃（4 週間程度）

調査手法：郵送によるアンケート票の配布・回収
（郵送による調査票紙面 A3 用紙 4 枚の配布・回収）

回収率：回収率 37.9%（2000 票配布に対して 758 票回収）

<地区毎の配布・回収状況>

配布数は地区ごとに一定の票数を確保できるよう設定している（下記）。

▼アンケートの配布・回収数

地区	基礎情報		配布票数	回収目標票数	回収票数	回収率	
	総人口	世帯数					
旧 小 林 市	市中心部	9,912	5,190	410	100	100	24.4%
	北西方	2,813	1,376	420	100	171	40.7%
	南西方	4,207	2,096				
	細野	4,885	2,460				
	堤	5,703	2,593	420	100	174	41.4%
	水流迫	997	502				
	東方	1,790	892				
	真方	5,331	2,636				
(不明)	-	-	-	-	12	-	
須木地区	1,476	840	350	100	137	39.1%	
野尻地区	7,195	3,617	400	100	164	41.0%	
計	44,309	22,202	2,000	500	758	37.9%	

1-1-3 アンケート調査票

公共交通に関する調査 にご協力ください

皆さまには、日頃から市政各般にわたりまして、ご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。
 現在、小林市にはJR吉都線（鉄道）や高速バス、路線バス（宮崎交通バス）、コミュニティバス（おうらい）、福祉バス（野尻・内山地区）など、様々な公共交通が運行しています。
 しかし、本市の人口減少が進むにつれて、公共交通の利用者も減少しており、将来にわたって市民の日常生活に必要な公共交通を維持していくかは、本市にとって重要な課題となっています。
 そこで、市民の皆さまの日常生活における外出状況や鉄道・バス等の利用状況などを把握し、今後の公共交通のあり方を検討するため、市民の皆さまを対象としたアンケート調査を実施いたします。
 調査はプライバシー保護のため無記名方式としており、調査の結果は他の目的には使用いたしません。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

小林市地域公共交通活性化協議会（事務局 小林市企画政策課）

調査票についてのご説明

- この調査票は小林市にお住まいの世帯から**無作為に抽出した15歳以上の方**にお送りしています。
- ご記入は、できる限り**ご本人様**にお願いいたします。（記入が難しい場合は、他の人に代筆して頂いても構いません。）
- ご記入は、設問に従ってあてはまる番号に○をつけてください。

調査票への記入方法

問2 あなたの自動車等の利用状況について、あてはまるものに○をつけてください。

- 自動車等を利用している（自分で運転する）
- 自動車等を保有しており（家族が運転する）、送迎してもらっている
- 家族が保有しているが、仕事等の都合で日中は送迎を頼めない
- 自動車等を保有していない（ご自身を含め、同居者全員）

あてはまるものに、「○」を記入

- 記入した調査票は、**9月3日（金）**までに、**切手をはらずに**、同封の返信用封筒に入れ、ポストに投かんしてください。

● 調査に関するお問合せ 小林市役所 企画政策課 企画政策グループ
 連絡先 TEL 0984-23-0456

右のページから調査票となっていますので、ご記入をお願いします。

アンケート調査票

1. ご自身の世帯状況についてお聞きします。

問1 あなたご自身のことをお答えください。

年齢	_____歳	性別	1 男性	2 女性
お住まいの地区	小林市（区名：_____） ※寄地は不要 記入例▶ 本町区、細野1区、上町北区 など			
家族構成	1 一人暮らし 2 夫婦二人 3 親と同居	4 子どもと同居 5 親・子の三世以上で同居 6 その他（_____）		
ご職業	1 会社員・公務員 5 パート・アルバイト	2 自営業 6 無職	3 主婦・主夫 7 その他（_____）	4 学生
家族の人数	一緒に住んでいる家族の人数は、（_____人） ※ご自身を含め			
運転免許	1 免許（二輪・原付含む）を持っている 2 免許を持っていない			
免許返納への考え	【65歳以上で免許を持っている方のみお答えください】 1 現在は返納する意思はない 2 今後5年以内に返納する考えがある 3 時期未定だが返納する考えがある			
自動車等の利用状況	1 自動車等を利用している（自分で運転する） 2 家族が自動車等を保有し（家族が運転し、自分は送迎してもらっている） 3 家族が保有しているが、仕事等の都合で日中は送迎を頼めない 4 自動車等を保有していない（ご自身を含め、同居者全員）			
介助の必要	1 介助がなくても外出できる 2 介助がないと外出できない			
スマホの使用	1 スマートフォンを使っている 2 スマートフォンを使っていない			

2. あなたの主な外出状況についてお聞きします。

問2 あなたが外出する際、主に利用する交通手段に○をつけてください。複数ある場合は、**利用頻度の最も多いものを1つ**お答えください。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 徒歩 | 8 福祉バス（野尻・内山地区） |
| 2 シニアカー | 9 路線バス（宮崎交通バス） |
| 3 自転車 | 10 タクシー |
| 4 自動車・バイク（自分で運転） | 11 病院・福祉施設等の送迎車 |
| 5 家族・知人等に送迎を頼む | 12 移動手段がないため外出控えている |
| 6 JR吉都線 | 13 その他（_____） |
| 7 コミュニティバス（おうらい） | |

問3 普段、どのくらいの頻度で外出していますか？ 選択肢から、週末は月のどちらか回答しやすい方をお答えください。

- 1 週に _____ 日程度 2 月に _____ 日程度 3 ほとんど外出しない

問4 普段の外出時における移動について、困っていること（不満等）はありますか？

- 1 困っていることがある 2 困っていないことはない

▶ 「1 困っていることがある」の回答者のみ、困っている内容を教えてください。
 内容（_____）

例）家族等いつも送迎を頼めない、移動手段がなく外出を控える、バス停が遠い等
 次ページに続きます。

3. 通勤・通学の状況についてお聞きします。

※通勤通学をしない方は空欄のまま問9に進んでください

問5 普段の通勤先または通学先はどこですか？
 通勤先の場所（_____市・町・村_____） 例 小林市細野1区など

問6 どのくらいの頻度で通勤・通学をしていますか？ 回答しやすい欄にお答えください。

- 1 週に _____ 日程度 2 月に _____ 日程度

問7 通勤通学で利用する交通手段に○をつけてください。（複数回答可）

- | | | |
|------------------|------------------|---------------|
| 1 徒歩 | 6 JR吉都線 | 11 通勤通学の送迎車 |
| 2 シニアカー | 7 路線バス（宮崎交通バス） | 12 その他（_____） |
| 3 自転車 | 8 コミュニティバス（おうらい） | |
| 4 自動車・バイク（自分で運転） | 9 福祉バス（野尻・内山地区） | |
| 5 家族・知人等に送迎を頼む | 10 タクシー | |

問8 通勤通学の主な時間帯について、（ ）内に1時～24時までの数字を記入してください。

出発（_____）時ごろ ～ 帰宅（_____）時ごろ

4. 日常の買い物（食料品/日用品等）についてお聞きします。

問9 買い物でよく利用する店舗はどこですか？ 複数ある店舗は「支店名」もご記入ください。

店舗①（_____） 店舗②（_____）

問10 どのくらいの頻度で買い物に外出していますか？ 回答しやすい欄にお答えください。

- 1 週に _____ 日程度 2 月に _____ 日程度 3 年に数回以下

問11 買い物で利用する交通手段に○をつけてください。（複数回答可）

- | | | |
|------------------|------------------|---------------|
| 1 徒歩 | 6 JR吉都線 | 11 利用する施設の送迎 |
| 2 シニアカー | 7 路線バス（宮崎交通バス） | 12 移動販売・宅配 |
| 3 自転車 | 8 コミュニティバス（おうらい） | 13 その他（_____） |
| 4 自動車・バイク（自分で運転） | 9 福祉バス（野尻・内山地区） | |
| 5 家族・知人等に送迎を頼む | 10 タクシー | |

問12 買い物に行く主な時間帯について、（ ）内に1時～24時までの数字をご記入ください。

出発時間（_____）時ごろ ～ 帰宅時間（_____）時ごろ

5. 通院時の外出（病院）についてお聞きします。

問13 通院で外出する際によく利用する医療機関はどこですか？

通院先①（_____） 通院先②（_____）

問14 どのくらいの頻度で通院していますか？ 回答しやすい欄にお答えください。

- 1 定期的に通院（月に _____ 日程度または週に _____ 日程度）
 2 病気や怪我が必要な時のみ
 3 その他（_____）

問15 通院時に利用する交通手段に○をつけてください。（複数回答可）

- | | | |
|------------------|------------------|---------------|
| 1 徒歩 | 6 JR吉都線 | 11 利用する病院の送迎 |
| 2 シニアカー | 7 路線バス（宮崎交通バス） | 12 その他（_____） |
| 3 自転車 | 8 コミュニティバス（おうらい） | |
| 4 自動車・バイク（自分で運転） | 9 福祉バス（野尻・内山地区） | |
| 5 家族・知人等に送迎を頼む | 10 タクシー | |

問16 通院時の主な時間帯について、（ ）内に1時～24時までの数字をご記入ください。

出発時間（_____）時ごろ ～ 帰宅時間（_____）時ごろ

アンケート調査票

6. その他の外出（娯楽や趣味、遊び等）についてお聞きします。

問17 その他の用事（娯楽・趣味等）でよく行く施設はありますか？

施設名①（_____） 施設名②（_____）

問18 どのくらいの頻度でその施設に外出していますか？

- 1 週に _____ 日程度 2 月に _____ 日程度 3 年に数回以下

問19 主に利用する交通手段は何ですか？ あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 徒歩 | 8 福祉バス（野尻・内山地区） |
| 2 シニアカー | 9 路線バス（宮崎交通バス） |
| 3 自転車 | 10 タクシー |
| 4 自動車・バイク（自分で運転） | 11 利用する施設の送迎 |
| 5 家族・知人等に送迎を頼む | 12 移動手段がないため外出控えている |
| 6 JR吉都線 | 13 その他（_____） |
| 7 コミュニティバス（おうらい） | |

問20 施設に行く主な時間帯は何時頃ですか？（ ）内に1～24までの数字をご記入ください。

出発時間（_____）時ごろ ～ 帰宅時間（_____）時ごろ

7. 鉄道（JR吉都線）の利用状況についてお聞きします。

問21 普段、鉄道（JR吉都線）を利用されますか？

- 1 利用する 2 利用しない

▶ 「1 利用する」の回答者のみ、次の①～③についてお答えください。

① 主に利用する駅はどこですか？ 駅名（_____駅～_____駅）

② どのくらいの頻度で鉄道を利用されますか？

- 1 週に _____ 日程度 2 月に _____ 日程度 3 年に数回以下

③ 駅までの交通手段は何を利用していますか？（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 徒歩（シニアカー含む） | 6 路線バス（宮崎交通バス） |
| 2 自転車 | 7 コミュニティバス（おうらい） |
| 3 原付・バイク | 8 福祉バス（野尻・内山地区） |
| 4 自動車（自分で運転） | 9 タクシー |
| 5 家族・知人等に送迎を頼む | 10 その他（_____） |

問22 鉄道を利用する時に困っていることはありますか？ ない、鉄道を利用していない方は、**利用しない理由**にあてはまるものをお答えください。（複数回答可）

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1 最寄り駅までの移動手段がない | 7 駅内の待合環境が不十分（ベンチ等） |
| 2 外出時間と運行時間が合わない | 8 移動先の駅が目的地から離れている |
| 3 乗り方・支払い方法等が分からない | 9 鉄道を利用するような移動目的がない |
| 4 鉄道・バスの乗り換え案内が不足 | 10 自動車・バイク（自分で運転）で移動できる |
| 5 運行時刻や路線が分かりづらい | 11 その他（_____） |
| 6 高齢のため乗り降りが困難である | |

問23 「問22」の内容が改善された場合、鉄道の利用回数は増えますか？

- 1 増える（週 _____ 日程度増える または 月 _____ 日程度増える） 2 変わらない

次ページに続きます。

8. 路線バス（宮崎交通バス）の利用状況についてお聞きします。

問 24 普段、路線バス（宮崎交通バス）を利用されますか？

- 1 利用する 2 利用しない

「1 利用する」の回答者のみ、次の①～②についてお答えください。

①主に利用する路線や目的地はどこですか？

路線名（ ） 線 目的地の名前（ ）

②どのくらいの頻度で路線バスを利用されますか？

- 1 (週に 日程度) 2 (月に 日程度) 3 年に数回以下

問 25 路線バスを利用する時に困っていることはありますか？路線バスを利用していない方は、**利用しない理由**にあてはまるものをお答えください。(複数回答可)。

- 1 身近にバス停がない、遠い 7 高齢のため乗り降りが困難である
2 外出したい時間と運行が合わない 8 バス停の待合環境が不十分(ベンチ等)
3 乗り方・支払い方法等が分からない 9 荷物が多いため乗りにくい
4 鉄道・バスの乗り換え案内が不足 10 自動車・バイク(自分で運転)で移動できる
5 運行時刻やルートが分かりづらい 11 その他
6 時間通りにバスが来ない

問 26 「問 25」の内容が改善された場合、**路線バスの利用回数**は増えますか？

- 1 増える (週 日程度増える または 月 日程度増える) 2 変わらない

9. タクシーの利用状況についてお聞きします。

問 27 普段、タクシーを利用されますか？

- 1 利用する 2 利用しない

「1 利用する」の回答者のみ、次の①～②についてお答えください。

①利用する際の**行き先や時間帯**についてお答えください。

行き先 () 利用する時間帯 () 時頃

②どのくらいの頻度でタクシーを利用されますか？

- 1 (週に 日程度) 2 (月に 日程度) 3 年に数回以下

問 28 タクシーを利用する時に困っていることはありますか？タクシーを利用していない方は、**利用しない理由**にあてはまるものをお答えください。(複数回答可)。

- 1 タクシーを電話で呼ぶのが面倒 5 料金が高い
2 呼んでから乗るまで待ち時間が長い 6 利用方法がわからない
3 降りるまで料金がわからず不安 7 自動車・バイク(自分で運転)で移動できる
4 車両の乗り降りしづらい 8 その他

問 29 「問 28」の内容が改善された場合、**タクシーの利用回数**は増えますか？

- 1 増える (週 日程度増える または 月 日程度増える) 2 変わらない

10. コミュニティバス（おうらい）の利用状況をお聞きします。

アンケート調査票

問 30 普段、コミュニティバス（おうらい）を利用されますか？

- 1 利用する 2 利用しない

「1 利用する」の回答者のみ、次の①～②をお答えください。

①主に利用している**区間(乗り場)**はどこですか？

利用区間① 乗る場所 () 降りる場所 ()

利用区間② 乗る場所 () 降りる場所 ()

②どのくらいの頻度でのりやいバス(おうらい)を利用されますか？

- 1 (週に 日程度) 2 (月に 日程度) 3 年に数回以下

問 31 コミュニティバス（おうらい）を利用する時に困っていることはありますか？利用していない方は、**利用しない理由**にあてはまるものをお答えください。(複数回答可)。

- 1 身近に乗り場がない(遠い) 7 高齢のため乗り降りが困難である
2 外出したい時間と運行が合わない 8 バス停の待合環境が不十分(ベンチ等)
3 乗り方・支払い方法等が分からない 9 荷物が多いため乗りにくい
4 鉄道・バスの乗り換え案内が不足 10 自動車・バイク(自分で運転)で移動できる
5 運行時刻やルートが分かりづらい 11 その他
6 時間通りにバスが来ない

問 32 「問 31」の内容が改善された場合、**コミュニティバス（おうらい）の利用**は増えますか？

- 1 増える (週 日程度増える または 月 日程度増える) 2 変わらない

問 33 コミュニティバス（おうらい）の利用意向についてあてはまるもの一つをお答えください。

- 1 今後も利用したいと思っている(運行継続を希望)
2 利用するかは分からないが、地域に必要なサービスだと思う
3 利用しないと思う(必要性を感じない、運行継続は必要ない)
4 自家用車の利用(家族の送迎)などで暮らせるので継続しなくてよい
5 その他

問 34 運行の効率化を図るための方法として、利用者のいる所のみを運行する「事前予約型」に切り替える方法が考えられますが、**事前予約型の運行**についてあてはまるもの一つをお答えください。

- 1 事前予約型(電話等)でも良い 2 決まった時刻に運行する形がよい(現在の形)
3 どちらでもよい 4 その他

11. 普段の生活や公共交通の満足度についてお聞きします。

問 35 普段の生活のしやすさについて満足度をそれぞれ一つずつお答えください。

それぞれ番号1つに○

項目	ご記入欄					
	1	2	3	4	5	6
①買ひ物のしやすさ (食料品などの買ひ物施設への行きやすさ)	不満				満足	分からない
②医療機関への通院しやすさ (かかりの医療機関への通院しやすさ)	不満				満足	分からない
③趣味・娯楽等の行動しやすさ (娯楽や遊び等のお出かけのしやすさ)	不満				満足	分からない

次ページに続きます。

問 36 鉄道やバス、タクシーなど、市内に運行している公共交通サービスの満足度について、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

項目	ご記入欄					
	1	2	3	4	5	6
鉄道について	①運行サービス (運行時間帯、本数など)	不満				満足 分からない
	②駅・乗り場の環境 (乗り場や待合スペース等)	不満				満足 分からない
	③分かりやすい情報提供 (時刻表や路線図等)	不満				満足 分からない
高速バスについて	①運行サービス (運行時間帯、本数など)	不満				満足 分からない
	②乗車運賃 (バス乗車運賃の高さ)	不満				満足 分からない
	③分かりやすい情報提供 (時刻表や路線図等)	不満				満足 分からない
路線バスについて	①運行サービス (運行時間帯、本数など)	不満				満足 分からない
	②乗車運賃 (バス乗車運賃の高さ)	不満				満足 分からない
	③ルート・乗り場 (経路や乗り場の環境など)	不満				満足 分からない
	④分かりやすい情報提供 (時刻表や路線図等)	不満				満足 分からない
コミュニティバス(おうらい)について	①運行サービス (運行時間帯、本数など)	不満				満足 分からない
	②乗車運賃 (バス乗車運賃の高さ)	不満				満足 分からない
	③ルート・乗り場 (経路や乗り場の環境など)	不満				満足 分からない
タクシーについて	①運行サービス (移動のしやすさ、営業時間など)	不満				満足 分からない
	②待ち時間 (電話してから迎えに来るまでの時間)	不満				満足 分からない
	③運転手・車両 (運転手の対応や車両の乗りやすさ)	不満				満足 分からない

12. 市の財政負担や今後の取組についてご意見をお聞きします。

アンケート調査票

問 37 現在、路線バスやコミュニティバス（おうらい）等の公共交通は、市の財政負担により維持されています。今後も**市が財政負担をして公共交通を維持すべき**だと思いますか？

- 1 財政負担による運行を今後も継続すべき
2 財政負担による運行は継続すべきではない(理由:)
3 どちらともいえない

※「1 財政負担による運行を今後も継続すべき」を回答した方は、あなたの考えに最も近いものに を付けてください。

- 財政負担を増やし、運行サービスをより充実させて欲しい
 現在の財政負担で、運行サービスを継続して欲しい
 財政負担を継続すべきだが、負担額の軽減にむけた工夫が必要
 その他(内容:)

問 38 住民・事業者・行政が協力して公共交通を維持する取組みが全国で目指されています。あなたが**公共交通の維持や利用向上のために必要**と思う又は**効果が高い**と思う取組みについて、あてはまると思うものを全てに○をつけてください。(複数回答可)

- 1 鉄道とバス等の乗り継ぎがしやすい運行時刻の改善を行う
2 駅や主要なバス停で利用しやすい乗り場環境(待ち合い・情報提供)を整える
3 ICカードや割引制度の普及など、バスの利便性を高める(広報・PRを含む)
4 公共交通の使い方や割引情報などを学べる「乗り方教室」を開催する
5 自家用車利用からの転換を促すために、免許返納促進の工夫をする
6 ノンステップ(低床)バスなど、高齢者にとって使いやすい車両導入を進める
7 週1回利用する等、定期的に公共交通を利用しようと思う住民の意識づくり
8 身近なバス停をきれいにする等、地域も協力して公共交通を守る取組みを増やす
9 使い勝手の良い運行内容を住民・自治会等で自ら考え、事業者等に提案する
10 地区の住民同士で乗り合わせる等、助け合って移動できる体制を自分達でつくる
11 特に維持は必要ない
12 その他(内容:)

その他、公共交通についてのご意見等がありましたらご記入をお願いします。

公共交通についての問題意識や改善を期待することなどがあれば教えてください。

設問は以上になります。ご協力、ありがとうございました。

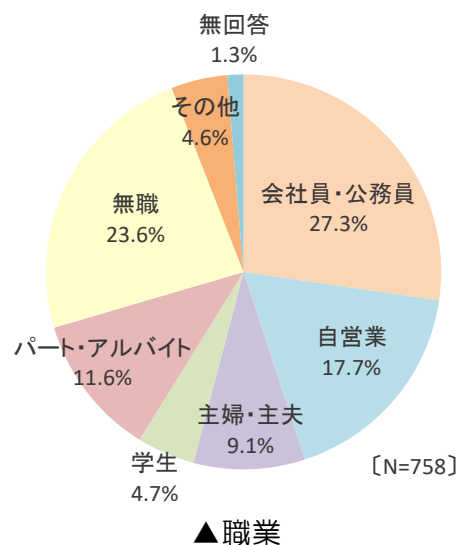
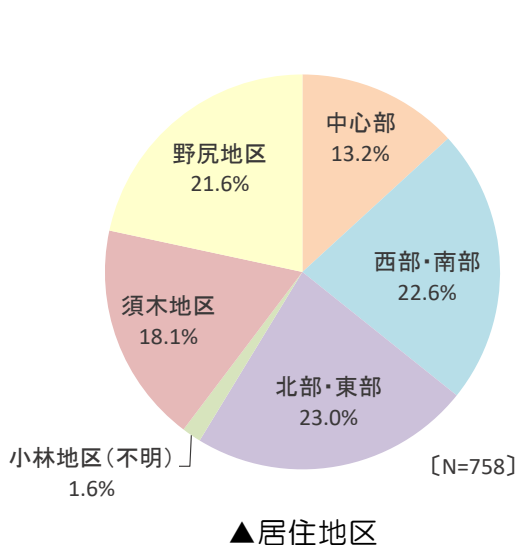
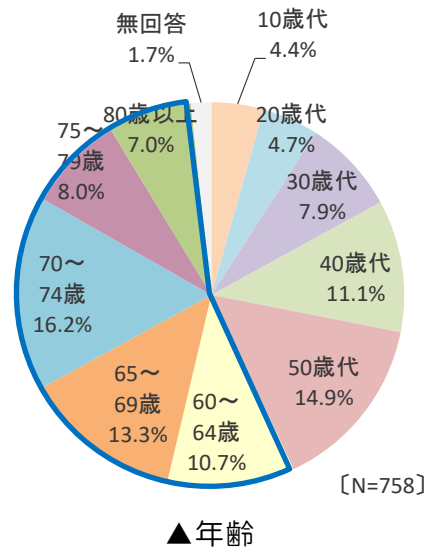
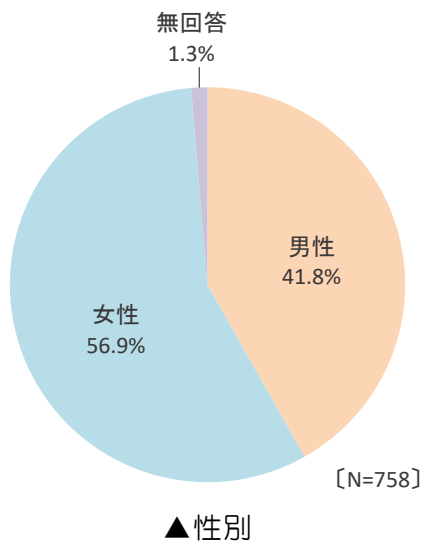
1-1-4 調査結果についての注意点

○各項目に示す調査結果は、グラフ内の回答割合は**小数点第一位で表示（四捨五入）**しており、**合計値が 100.0%と一致しないものがある**（0.1%の表示上の誤差）。

1-2 回答者の特徴

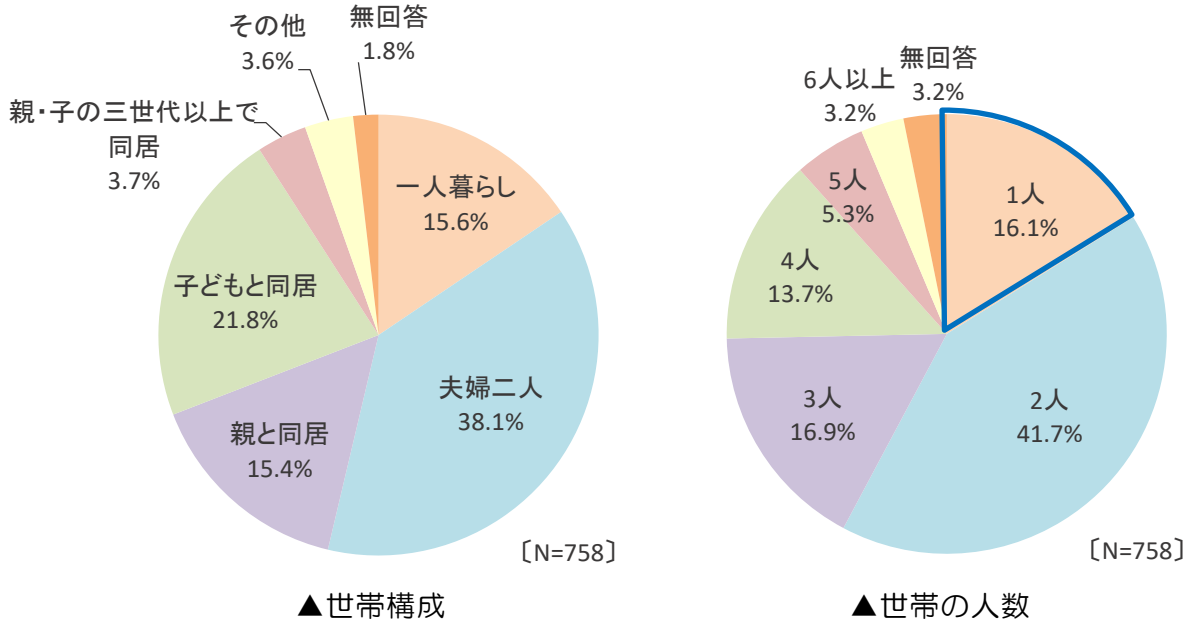
1-2-1 基本属性（性別・年齢・地区・職業）

○居住地区に大きな偏りはみられず、各地区において 100 票以上を回収できている。
○男女比は女性の割合が比較的高く、職業は会社員等や無職（高齢者）の割合が高い。
○年齢構成では、60 歳以上の割合が半数以上（55.3%）を占めており、高齢層の公共交通に対する関心度合いの高さが伺える。



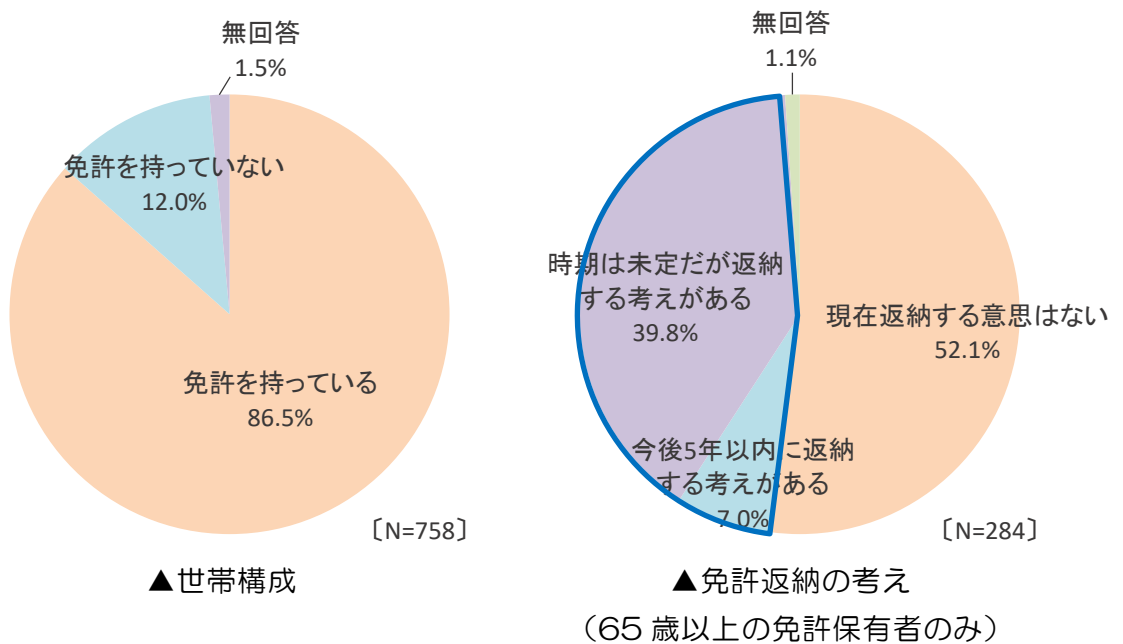
1-2-2 世帯構成

○世帯構成では「夫婦二人（38.1%）」が最も多く、次いで「子供と同居（21.8%）」が多い（世帯人数は2人（41.7%）が最も多く、**単身世帯は全体の16.1%**）。



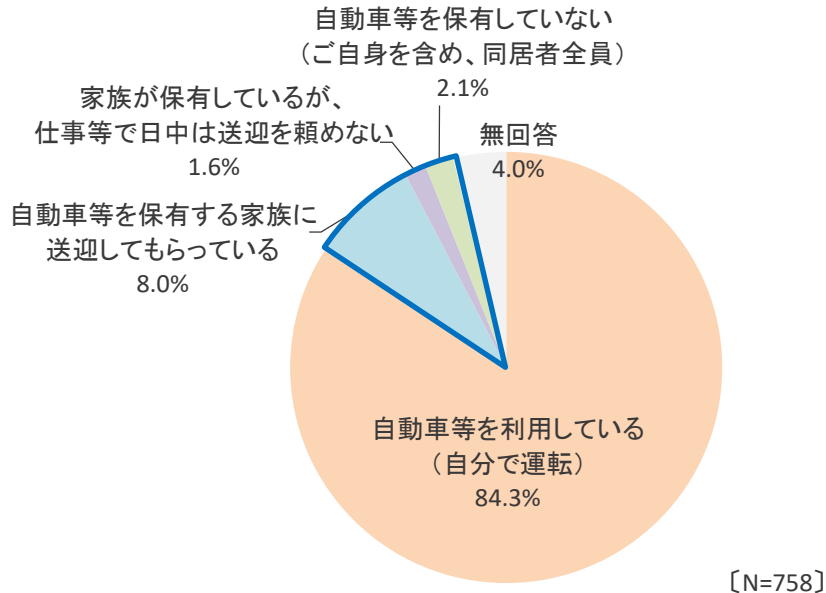
1-2-3 運転免許の保有状況・返納意思

○運転免許は約9割（86.5%）が保有している。
 ○65歳以上の免許保有者のうち、今後5年以内、または時期未定として返納する考えがあると回答した割合は全体の46.8%となっている。

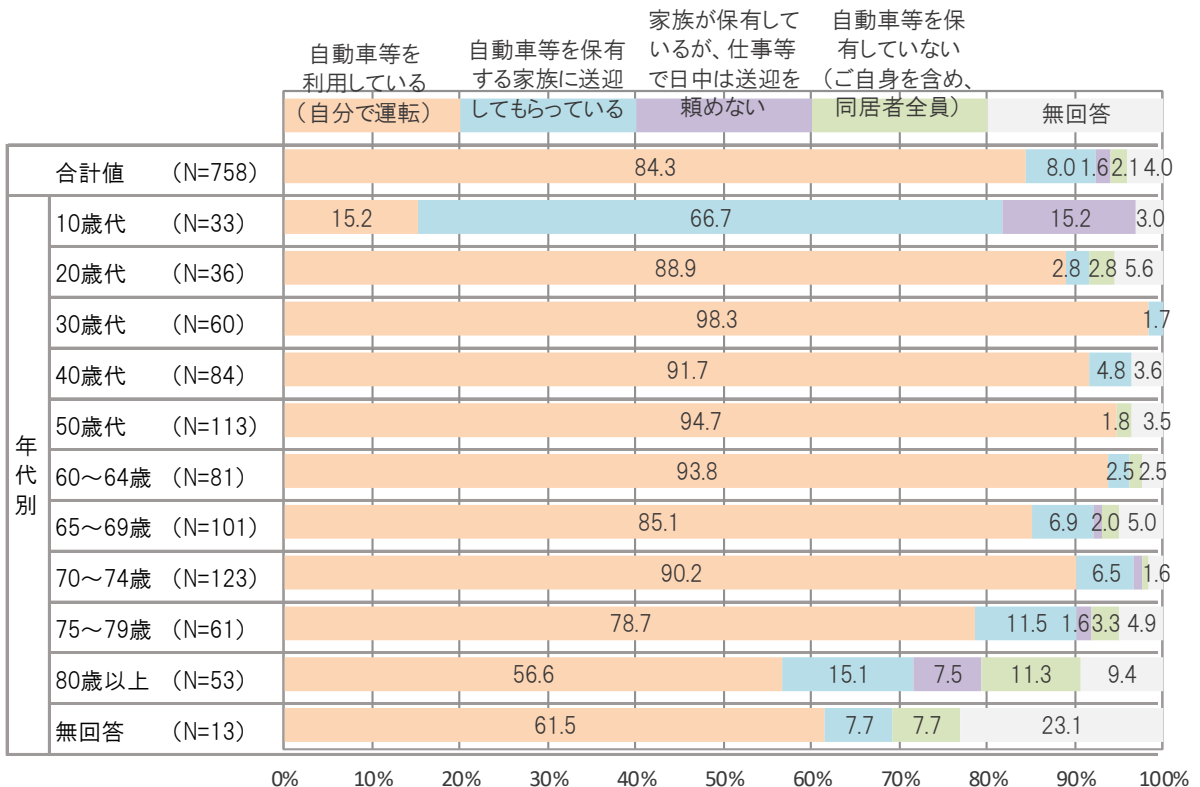


1-2-4 自動車等の利用状況

- 「自動車等を利用している（自分で運転）」が全体の84.3%と高い割合を占め、自家用車での移動が生活になくてはならない存在であることが伺える。
- 一方、「送迎してもらっている（8.0%）」、「送迎を頼めない（1.6%）」、「自動車等を保有していない（2.1%）」と、自動車等を自由に利用できない市民が確認できる。



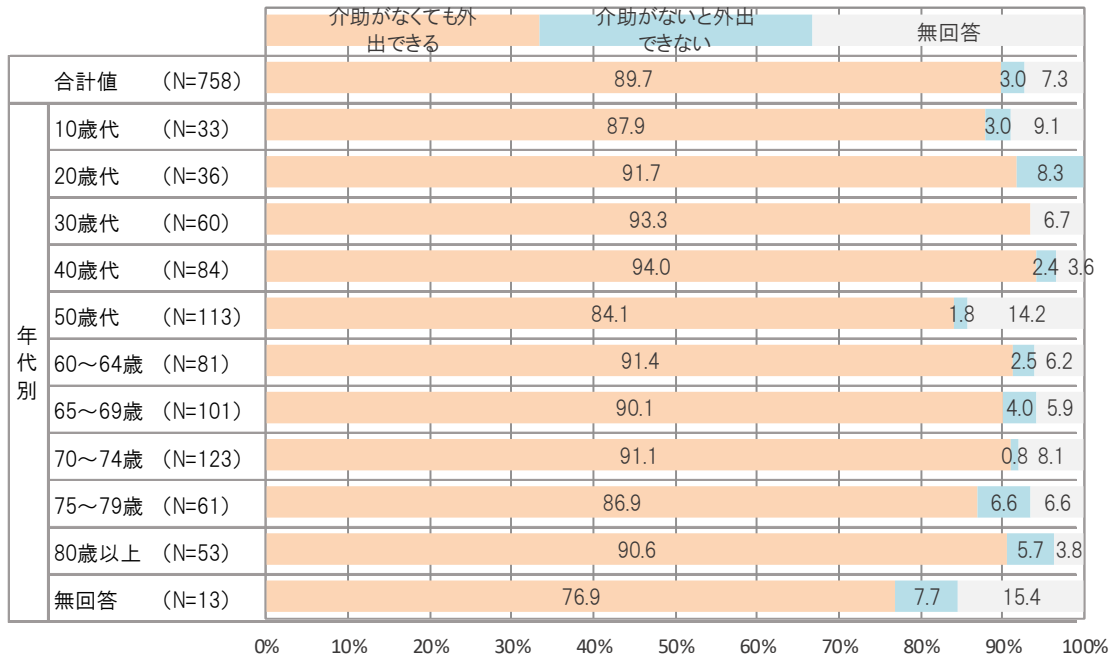
▲自動車等の利用状況



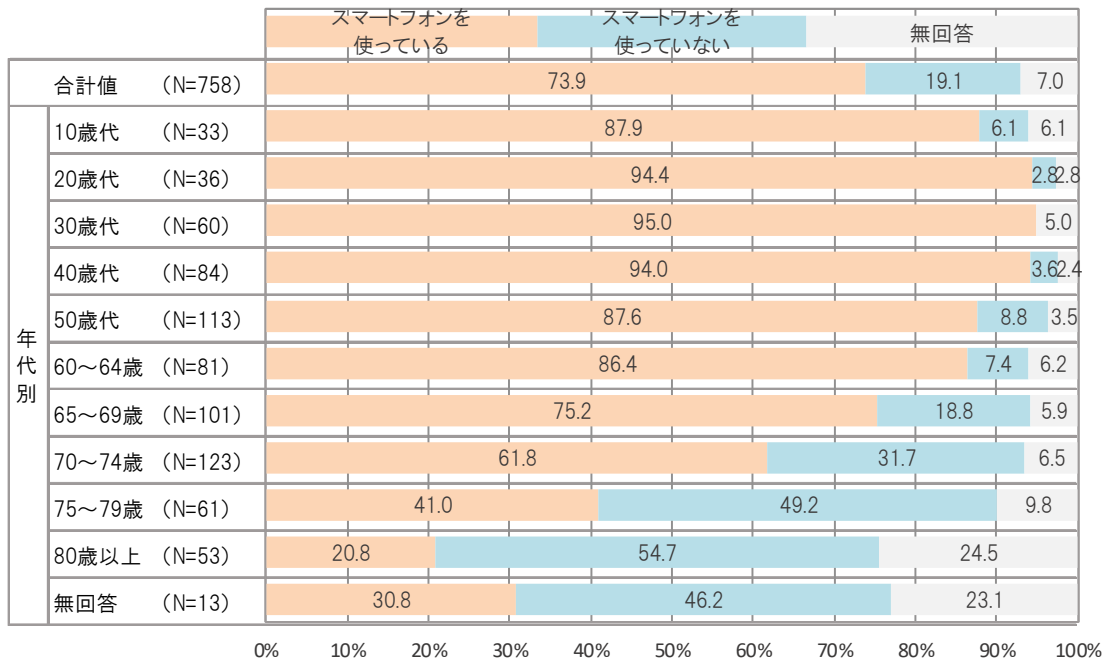
▲自動車等の利用状況（年齢別）

1-2-5 その他（介護の要否・スマホの使用状況）

○外出時に介護が必要な人の割合は全体の3.0%である（75歳以上は6～7%）。
 ○スマートフォンの使用状況では、65歳未満まで約9割の使用割合を示すが、65歳以上になると使用率が低くなっている（75歳以上は半数以下）。



▲外出時の介護の要否（年齢別）

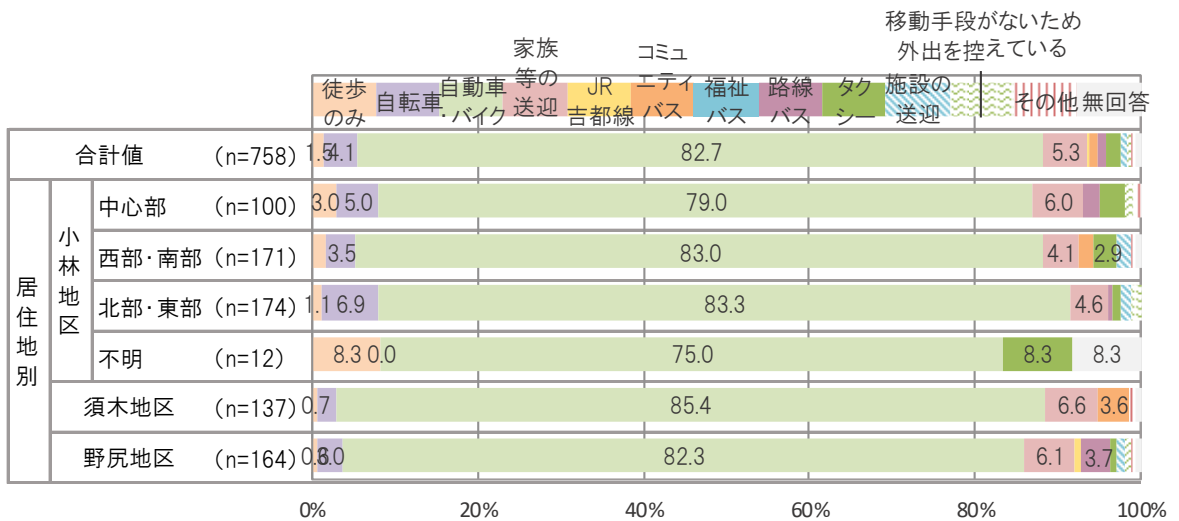


▲スマートフォンの使用状況（年齢別）

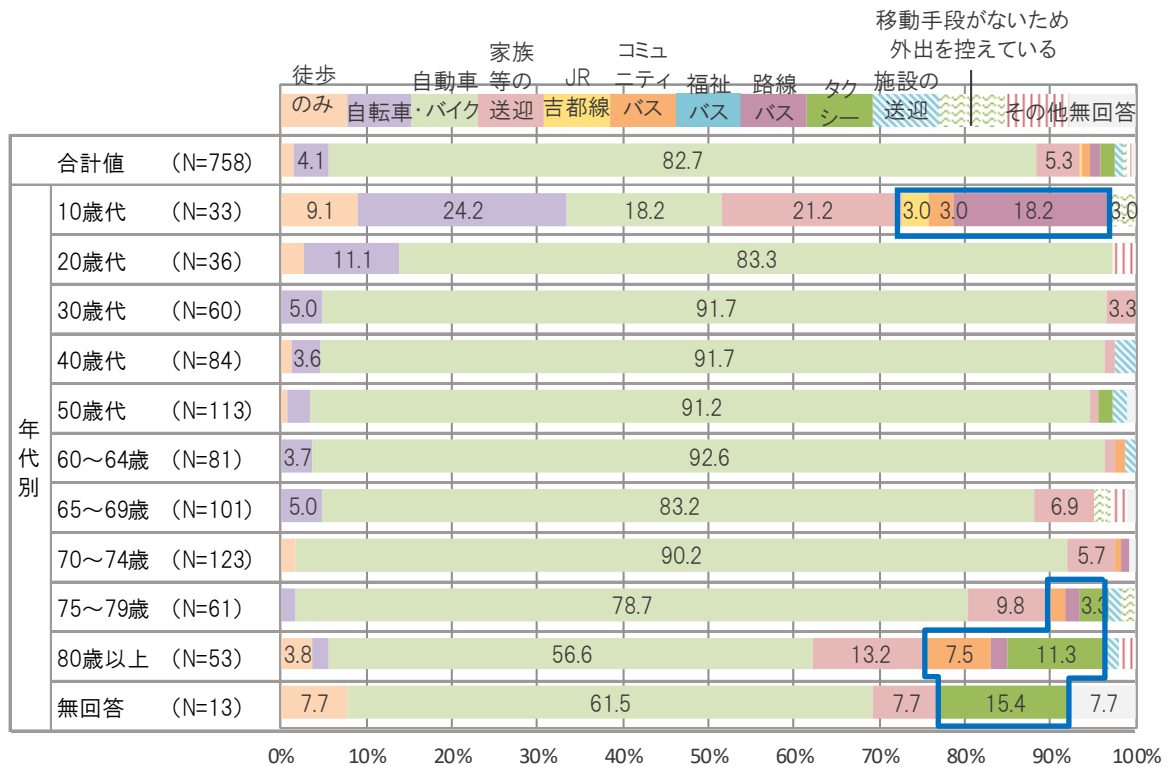
1-3 普段の外出状況（総括）

1-3-1 代表交通手段

○利用頻度の高い代表交通手段は、どの地区も「自動車・バイク」が全体の7割以上を占めており、市民の生活にマイカー等の利用が浸透していることが伺える。
 （小林地区中心部は「自動車・バイク」の割合が他の地区に比べて低い）。
 ○公共交通機関（鉄道、路線バス、タクシー、コミュニティバス、福祉バス）の利用率は、回答者全体の4.0%と低くなっている。



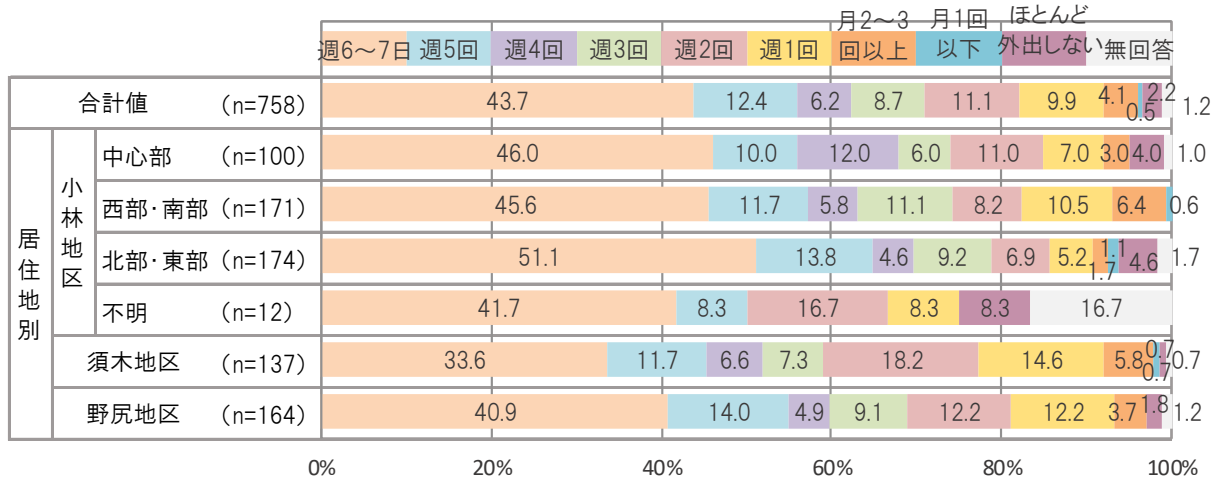
▲代表交通手段（地区別）



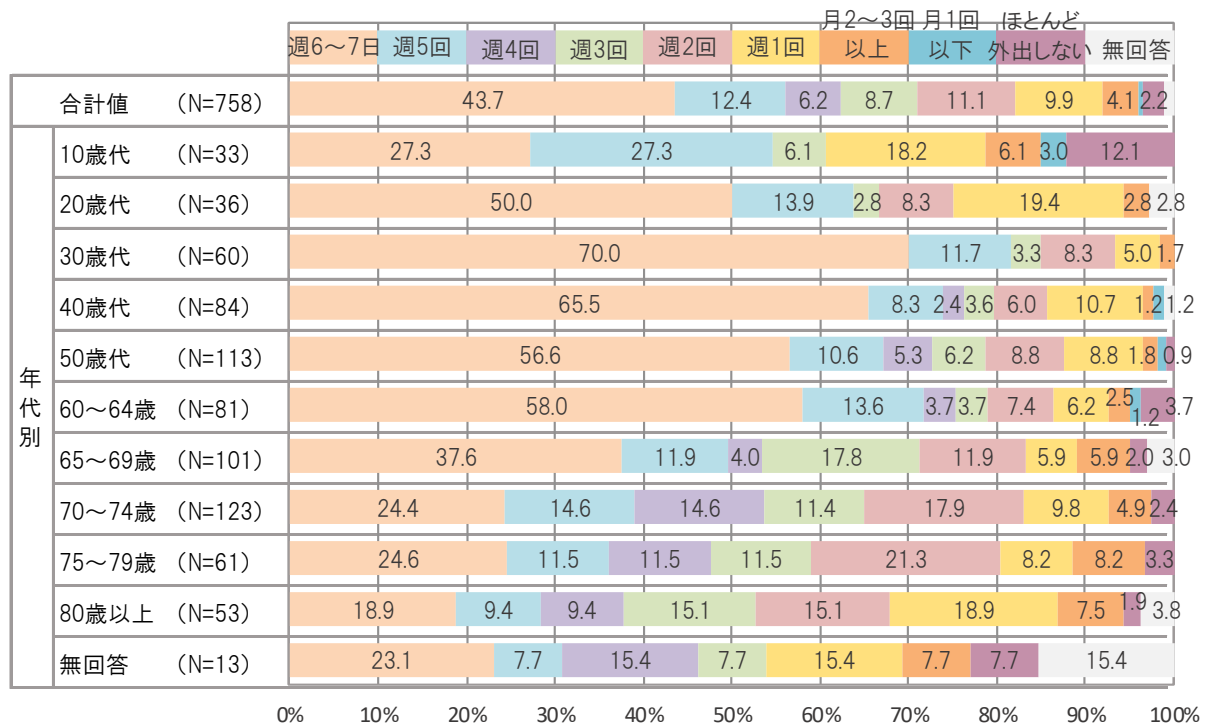
▲代表交通手段（年齢別）

1-3-2 普段の主な外出頻度

○外出頻度は「週6~7日(43.7%)」が多く、週1回以上が全体の9割を占める。
 ○65歳以上は外出頻度が徐々に低くなり、週3回以下が全体の4~6割を占める。



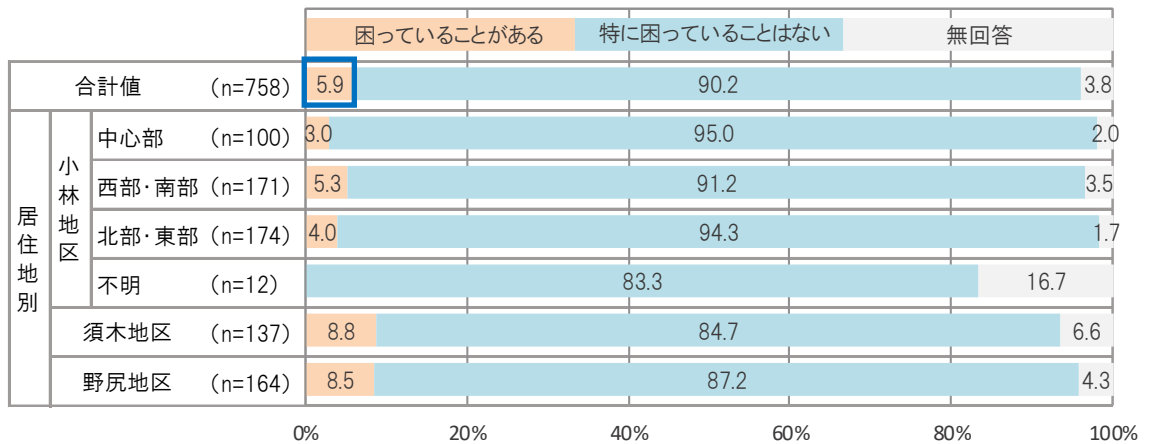
▲ 普段の主な外出頻度 (地区別)



▲ 普段の主な外出頻度 (年齢別)

1-3-3 外出時（移動）の困りごと

○外出時（移動）の困り毎があると回答した方は全体の 5.9%であり、内容としては「近くの病院に行くのも遠くに住む子供に来てもらっている」や「家族が仕事で送ってもらえない」等が挙がっている（須木地区・野尻地区の割合が他の地区に比べて高い）。



▲外出時（移動）の困りごとの有無

▼外出時の困りごとについての回答（抜粋）

地区	意見内容	年齢・性別
中心部	小型自動車だがあまり運転したくない。	70 歳代 男性
	バスの時間が少ない。	10 歳代 女性
細野	子どもがいつも傍にいる訳ではないので老人だけでは困る。	70 歳代 女性
	交通手段が自転車しかないので雨の日がすごく困る。	60 歳代 女性
南西方	親に連れて行ってもらえないと遠出できない。	20 歳代 女性
	朝 8 時 30 分頃のバスが 1 回のみで、親の面倒をみているので 10 時頃があると助かります。	60 歳代 女性
真方	バス停が遠い。近くに店がない。	80 歳代 女性
	実家が週 2 回の路線バスのため回数が増えたらいい（不便）	60 歳代 女性
	近くの病院に行くのも遠くに住む子供に来てもらっている（市外）	60 歳代 女性
堤	車の駐車や混んでいる所などの運転に自信がない。	30 歳代 女性
須木地区	バスの時間を気にしながら買物するのが不安。	60 歳代 女性
	外出する時、道路の道幅が狭く離合場所も少ないので困っている。	70 歳代 男性
	家族が仕事で送ってもらえない。バスの時間が少ない。	10 歳代 男性
	仕事で家族を送迎できない場合、バスの時間がなく子どもが 3 時間待ちになることがある。	40 歳代 女性
野尻地区	子どもの移動手段が野尻は少ない。	30 歳代 女性
	交通手段が少なくバスも少ないため子どもの送迎に困る事が多い。	40 歳代 女性
	バス停が遠いが、家族にいつも送迎を頼めない。	10 歳代 女性
	（紙屋）行きたい日と福祉バスの曜日が合わない。バス停が遠い。	80 歳代 女性
	小林市内まで遠いので運転が心配になる。	80 歳代 女性
	（三ヶ野山）通学のために毎日家族に送迎を頼む。	10 歳代 男性

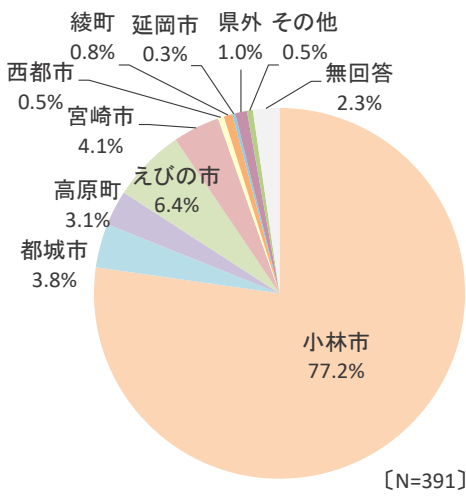
1-4 目的別の外出状況

1-4-1 通勤・通学状況

(1) 通勤・通学時の移動特性

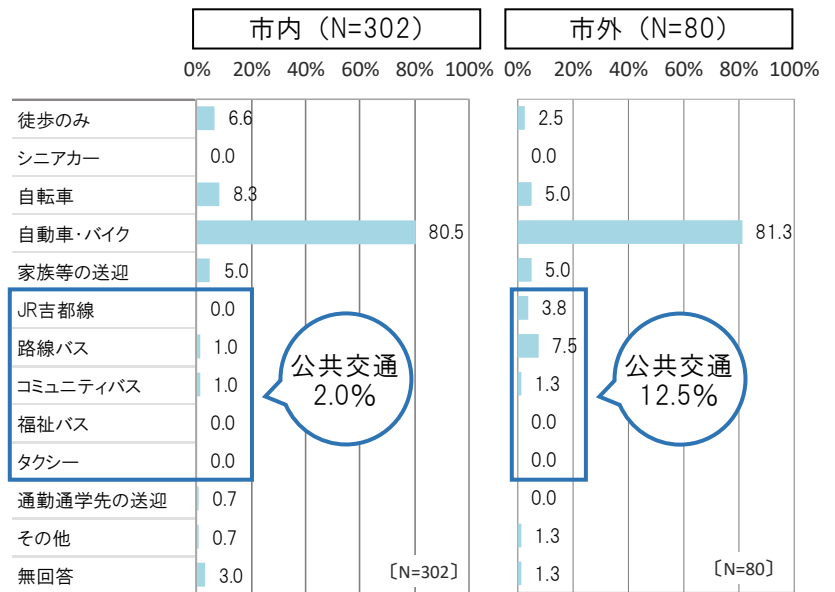
○市民の通勤・通学先は、小林市内が 77.0%、20.7%が市外（主にえびの市や宮崎市等）である。
 ○市内・市外とも自家用車が主な通勤・通学手段（市内 80.5%、市外 81.3%）であり、市外への通勤・通学は市内に比べて公共交通が利用されている（12.5%）。

■通勤・通学先の内訳



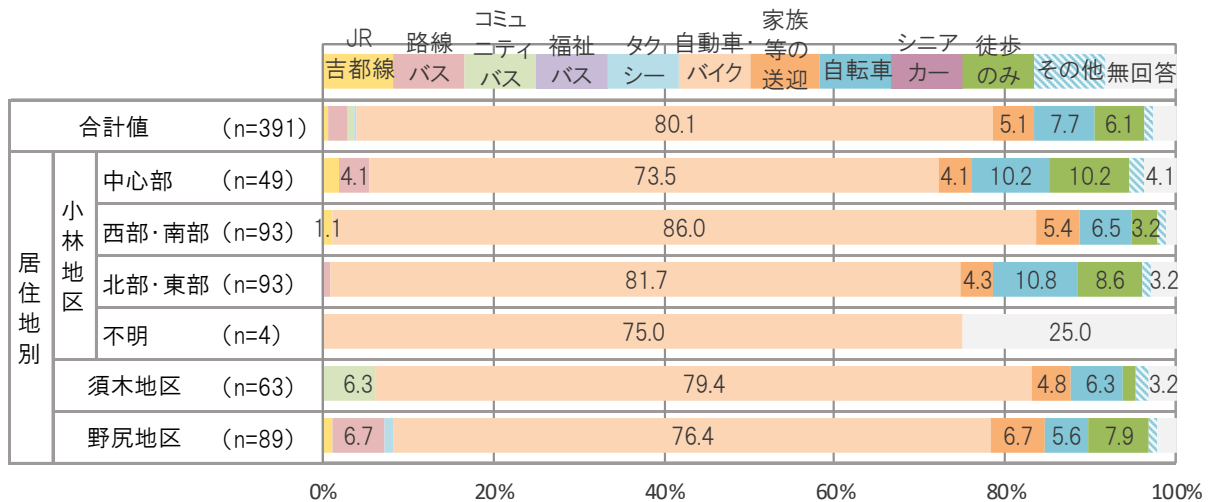
▲通勤・通学先の内訳

■通勤・通学時の交通手段



▲通勤・通学時の交通手段

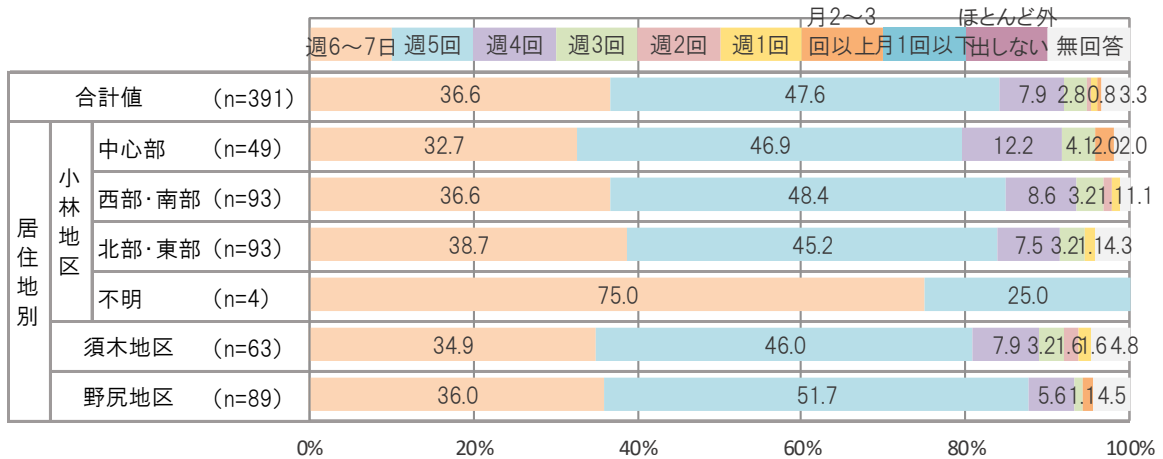
○地区別にみると、各地域とも最も利用されている交通手段は自動車・バイクであるが、その中で野尻地区（路線バス）、須木地区（コミュニティバス）、小林地区中心部（JR吉都線・路線バス）では、6%～9%程度が公共交通を利用している。



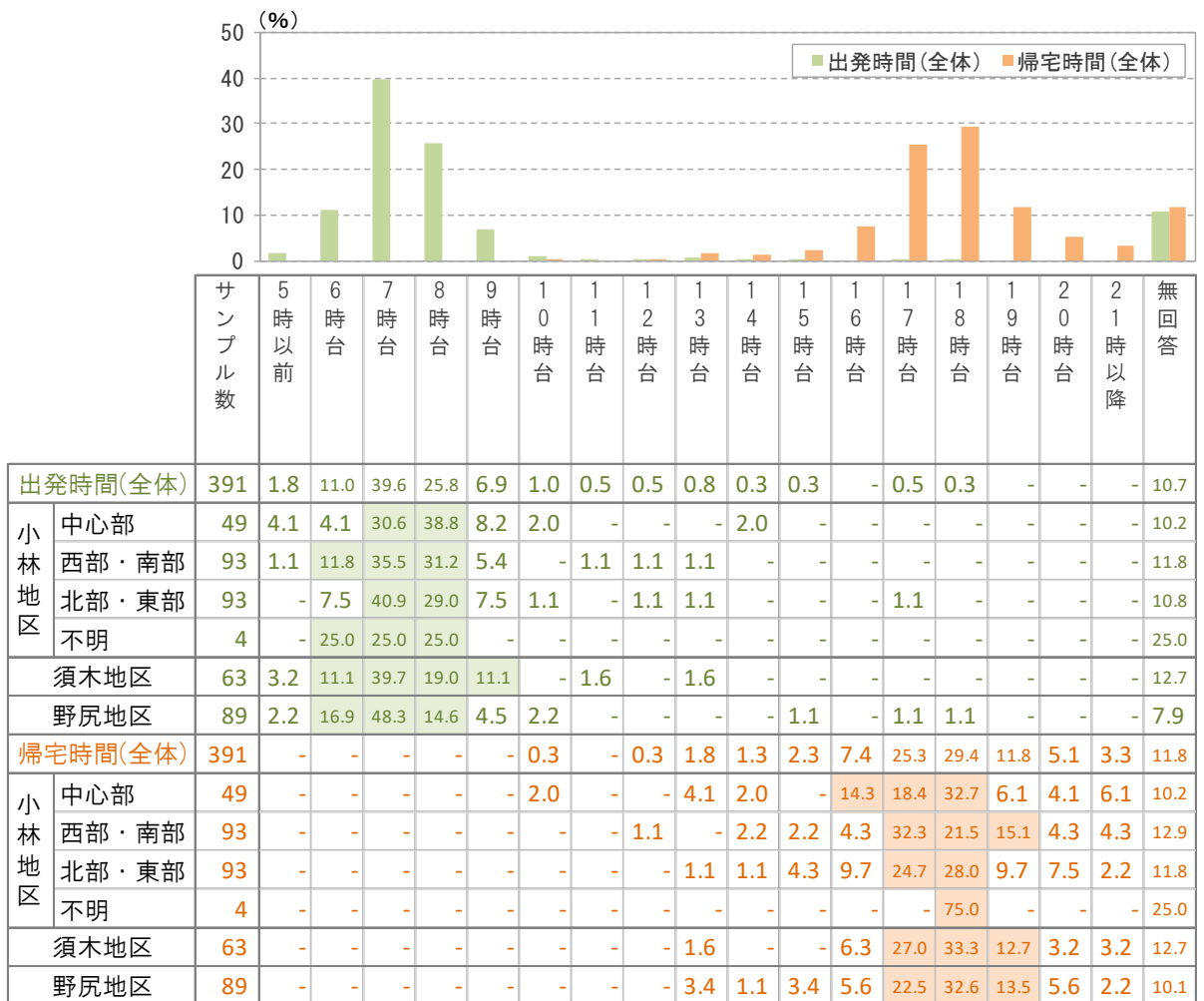
▲通勤・通学時の交通手段（地区別）

(2) 通勤・通学の頻度・時間帯

○通勤・通学の頻度・時間帯は各地区ともに同じ傾向を示している。
 ○主な頻度は「週5回(47.6%)」が最も多く、次いで「週6~7日(36.6%)」となっており、出発時間は「7時台(39.6%)」が最も多く、次いで「8時台(25.8%)」、帰宅時間は「18時台(29.4%)」が最も多く、次いで「17時台(25.3%)」である。



▲通勤・通学の主な頻度



▲通勤・通学時の主な時間帯

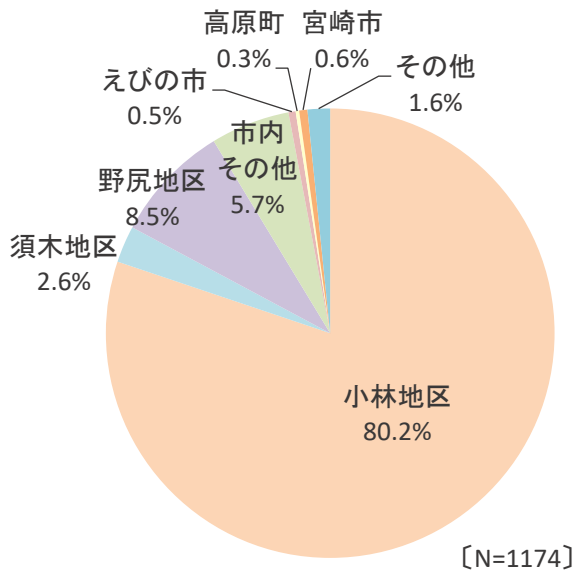
(単位：%)

1-4-2 買い物の状況

(1) 買い物の移動特性

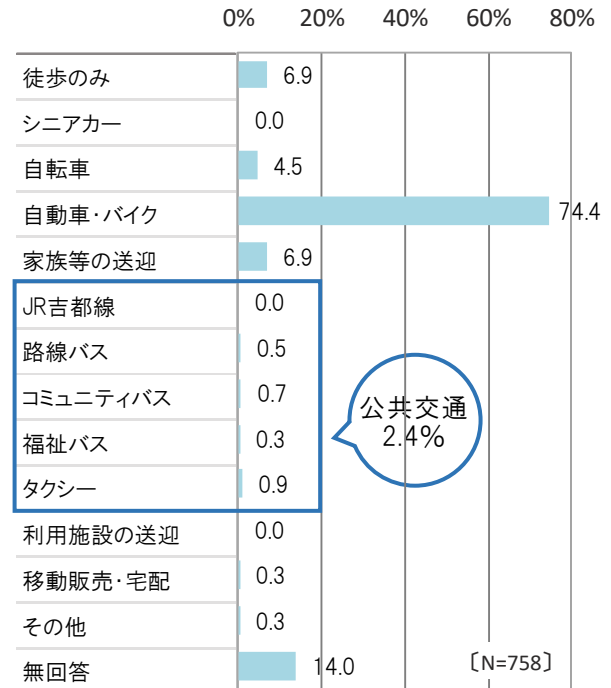
○市民の91.3%が市内で日常の買い物をしており、主に小林地区(80.2%)が買物先となっている。須木地区や野尻地区は小林地区とともに地区内店舗が挙げられている。
○主な交通手段は自動車・バイク(74.4%)となっている。公共交通は2.4%が利用しており、主にタクシー、コミュニティバス、路線バスが利用されています。

■ 買い物先の内訳



▲ 買い物先の内訳

■ 買い物時の交通手段



▲ 買い物時の交通手段

▼ 買い物先の上位施設【小林・須木】

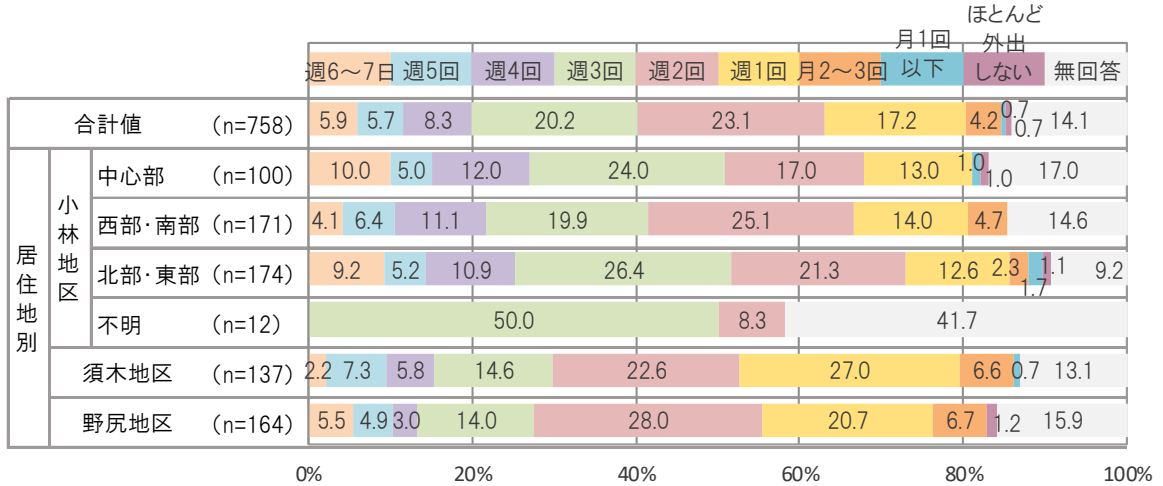
施設名	票数
トライアル小林店	124
コープ小林店	99
コスモス上町店	88
サンキュー小林店	80
ダイレックス小林店	64
まちなか松栄	43
コスモス細野店	36
コスモス小林西店	34
マルミヤストア小林店	31
コンビニ	30
コスモス堤店	28
松栄ストアー西町店	28
ドラッグストアモリ小林店	25
松栄ストアー堤店	25
ファミリーショップたじり	20

▼ 買い物先の上位施設【野尻】

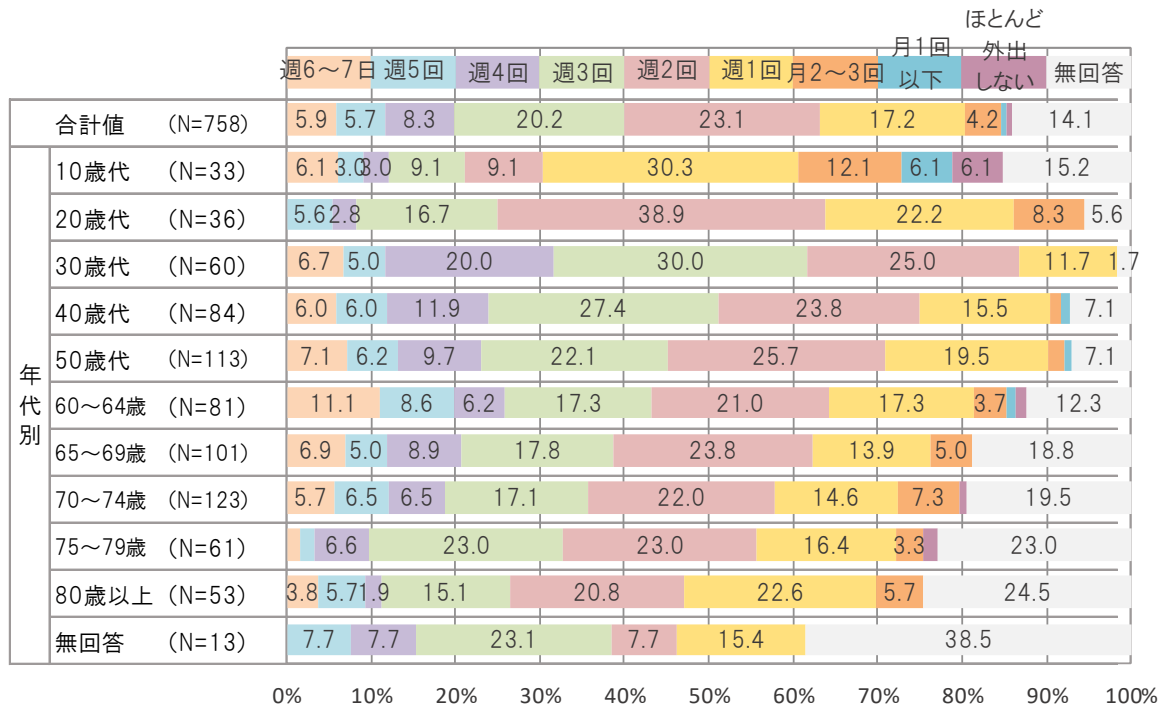
施設名	票数
希望の店(野尻店)	55
トライアル小林店	34
ウイリー野尻店(さとうショッピングセンター)	22
サンキュー小林店	20
コンビニ	19
コスモス上町店	15
マルミヤストア小林店	15
ドラッグストアモリ小林店	10
コープ小林店	8
コスモス堤店	7
鮮ど市場小林店	6
コスモス(店舗不明)	5
コメリH&G野尻店	5
ホームセンターやまさき	4
ナフコ小林店	3

(2) 買い物の頻度

○買い物の主な頻度は「週2回(23.1%)」が最も多く、次いで「週3回(20.2%)」となっている。また、須木地区や野尻地区は週1~2回の割合が高い。
○年齢別にみると、高齢になるにつれて買い物の頻度が少なくなっている。



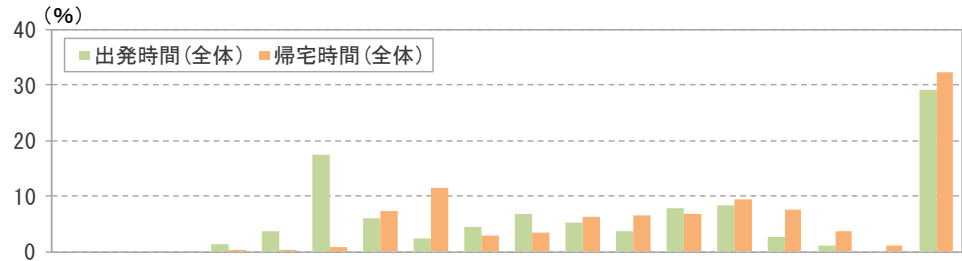
▲買い物の主な頻度(地区別)



▲買い物の主な頻度(年齢別)

(3) 買い物の主な時間帯

○日常的な買い物の主な時間帯では、出発時間は「10時台(17.5%)」、帰宅時間は「12時台(11.5%)」が最も多い。また、夕方の時間帯での買い物「18時台」の割合が出発時間・帰宅時間ともに高くなっている。



	サンプル数	5時以前	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時以降	無回答	
出発時間(全体)	758	-	-	-	1.3	3.6	17.5	5.9	2.2	4.5	6.9	5.1	3.7	7.9	8.4	2.5	1.1	-	29.3	
小林地区	中心部	100	-	-	-	1.0	2.0	15.0	5.0	4.0	2.0	9.0	4.0	7.0	10.0	8.0	1.0	2.0	-	30.0
	西部・南部	171	-	-	-	1.8	4.1	17.5	4.7	2.3	4.7	5.3	4.1	7.0	8.8	3.5	1.8	-	29.2	
	北部・東部	174	-	-	-	1.1	1.1	17.2	8.0	2.3	2.3	9.8	5.2	4.0	8.0	12.6	4.0	0.6	-	23.6
	不明	12	-	-	-	-	8.3	-	-	-	8.3	8.3	-	-	8.3	16.7	-	-	-	50.0
須木地区	137	-	-	-	0.7	5.8	19.0	4.4	1.5	9.5	6.6	5.8	1.5	9.5	6.6	2.2	-	-	27.0	
野尻地区	164	-	-	-	1.8	4.3	19.5	7.3	1.8	3.7	4.3	5.5	3.0	6.1	4.9	1.2	1.2	-	35.4	
帰宅時間(全体)	758	-	-	-	0.1	0.4	0.9	7.3	11.5	2.9	3.4	6.2	6.6	6.7	9.5	7.5	3.6	1.1	32.3	
小林地区	中心部	100	-	-	-	-	1.0	9.0	10.0	3.0	1.0	6.0	6.0	9.0	10.0	6.0	3.0	2.0	34.0	
	西部・南部	171	-	-	-	0.6	-	8.2	12.3	4.1	2.9	4.7	5.8	4.7	11.7	8.8	4.7	1.2	30.4	
	北部・東部	174	-	-	-	0.6	0.6	1.7	10.3	11.5	0.6	4.6	6.9	5.7	5.7	11.5	8.6	4.0	0.6	27.0
	不明	12	-	-	-	-	-	8.3	-	-	-	8.3	8.3	-	8.3	16.7	-	-	50.0	
須木地区	137	-	-	-	-	0.7	3.6	10.9	2.9	3.6	8.0	9.5	8.8	8.8	8.8	2.9	0.7	30.7		
野尻地区	164	-	-	-	0.6	1.2	4.9	12.8	4.3	4.3	5.5	6.1	7.3	5.5	4.3	3.0	1.2	39.0		

▲買い物の主な時間帯

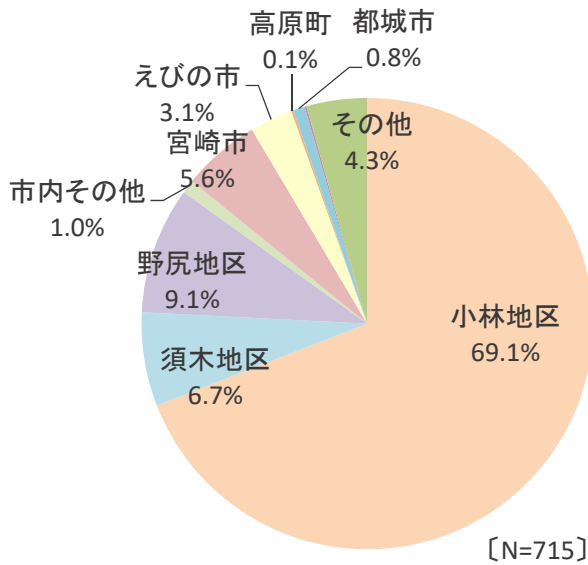
(単位：%)

1-4-3 通院の状況

(1) 通院の移動特性

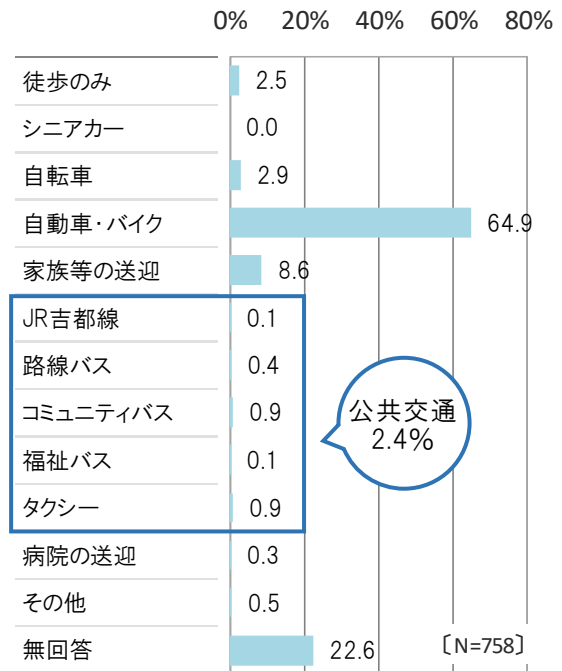
○市民の 85.9%が市内で通院しており、主に小林地区（69.1%）が多い。須木地区や野尻地区などは買い物に比べて地区内で通院する割合が高くなっている。
○主な交通手段は自動車・バイク（64.9%）となっている。公共交通は 2.4%が利用しており、主にコミュニティバス、タクシー、路線バスが利用されています。

■通院先の内訳



▲通院先の内訳

■通院時の交通手段



▲通院時の交通手段

▼通院先の上位施設【小林・須木】

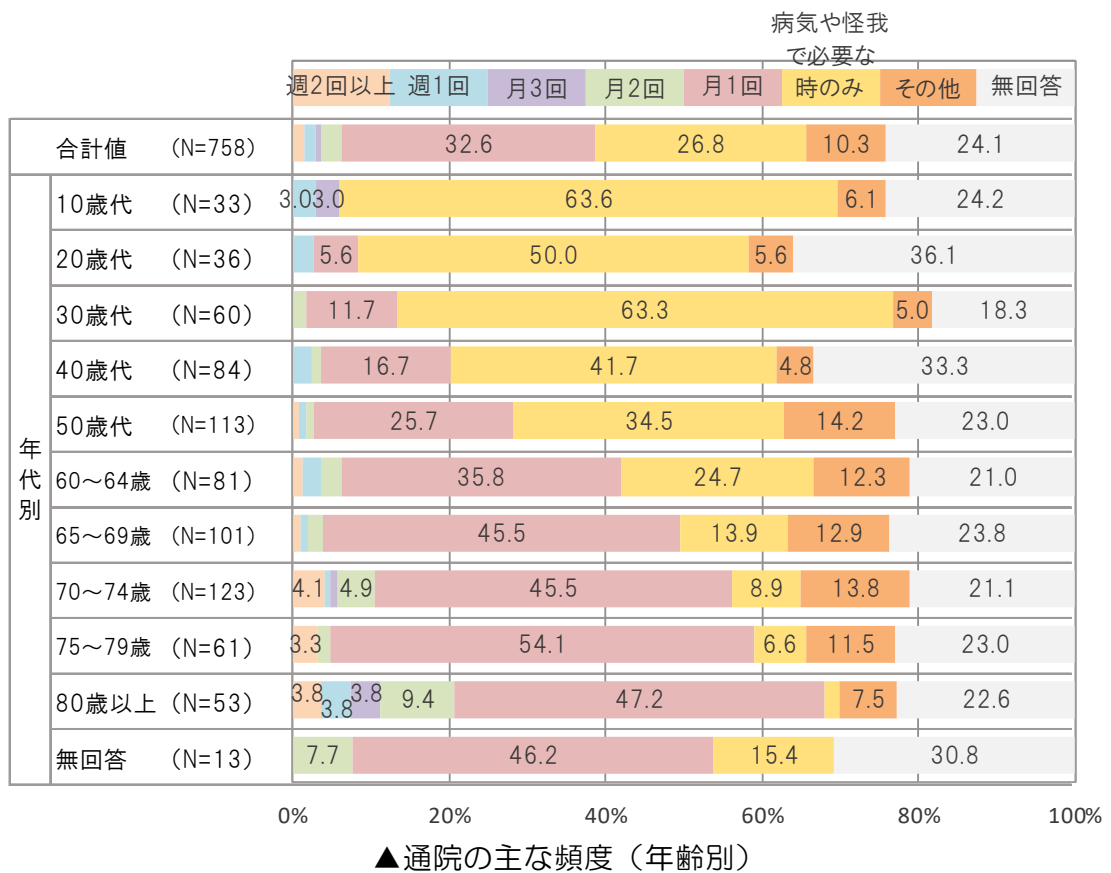
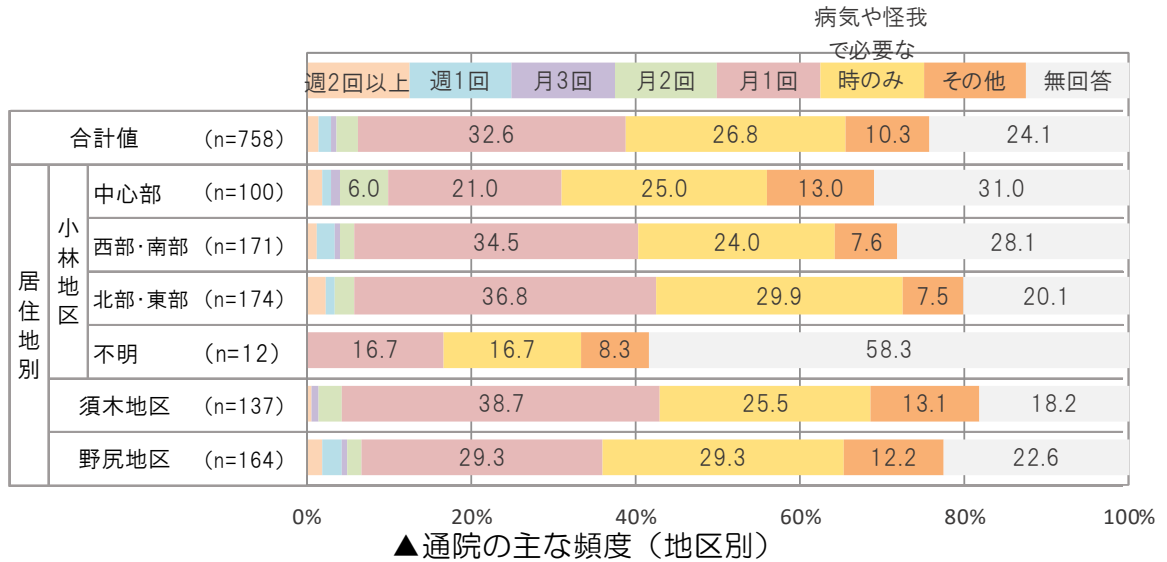
施設名	票数
須木診療所	48
園田病院	40
榎内視鏡内科医院	38
池田病院	30
小林市立病院	29
上田内科	24
前田内科医院	24
ひろた内科クリニック	24
小林中央眼科	19
池井病院	19
よしむら循環器内科クリニック	13
くすもと内科クリニック	13
桑原記念病院	11
押領司病院	11
整形外科前原病院	11

▼通院先の上位施設【野尻】

施設名	票数
押川病院	29
野尻中央病院	23
園田病院	16
上田内科	5
市内病院	5
高崎皮膚科医院	5
小林中央眼科	4
池田病院	4
池井病院	3
よしむら循環器内科クリニック	3
沖内科・小児科医院	2
押領司病院	2
小林市立病院	2
柵山医院	2
整形外科前原病院	2

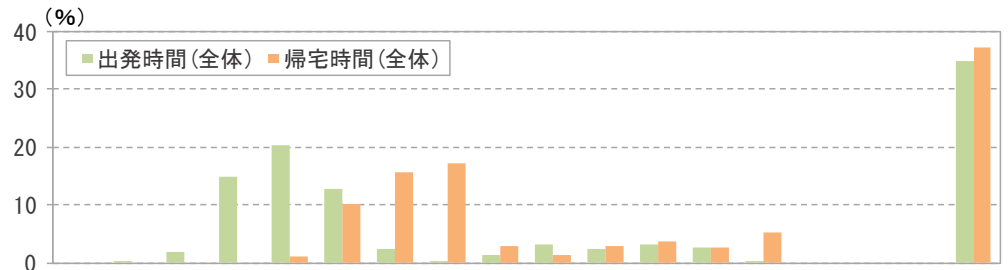
(2) 通院の頻度

○定期的に通院するのは758人のうち294人で、通院の頻度は「月1回(84.0%)」が各地区共通で最も多い。
 ○年齢別にみると、高齢になるにつれて定期的に通院する人の割合が高い。



(3) 通院の主な時間帯

○通院する主な時間帯では、出発時間は「9 時台 (20.3%)」が最も多く、次いで「8 時台 (14.8%)」が多い。帰宅時間は「12 時台 (17.3%)」や「11 時台 (15.6%)」が多く、午前中の時間帯で通院する割合がほとんどとなっている。



サンプル数		5時以前	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時以降	無回答	
出発時間(全体)		758	-	0.1	1.8	14.8	20.3	12.7	2.4	0.1	1.5	3.2	2.4	3.0	2.5	0.3	-	-	-	35.0
小林地区	中心部	100	-	1.0	3.0	10.0	18.0	14.0	2.0	-	2.0	5.0	1.0	2.0	2.0	-	-	-	-	40.0
	西部・南部	171	-	-	2.3	18.7	16.4	9.4	1.8	-	0.6	2.9	2.9	1.8	2.9	0.6	-	-	-	39.8
	北部・東部	174	-	-	0.6	16.7	20.7	17.2	2.9	0.6	1.7	2.3	4.0	3.4	3.4	-	-	-	-	26.4
	不明	12	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	8.3	-	-	-	-	66.7
須木地区		137	-	-	2.2	15.3	26.3	13.1	2.2	-	1.5	2.9	-	3.6	2.2	-	-	-	-	30.7
野尻地区		164	-	-	1.8	12.2	20.1	11.0	3.0	-	1.8	3.7	3.0	3.7	1.8	0.6	-	-	-	37.2
帰宅時間(全体)		758	-	-	-	-	1.2	10.2	15.6	17.3	2.9	1.5	2.9	3.6	2.5	5.3	-	-	-	37.2
小林地区	中心部	100	-	-	-	-	1.0	11.0	18.0	12.0	2.0	2.0	3.0	4.0	2.0	3.0	-	-	-	42.0
	西部・南部	171	-	-	-	-	1.8	9.9	17.0	14.0	2.3	1.2	2.9	3.5	2.9	3.5	-	-	-	40.9
	北部・東部	174	-	-	-	-	1.7	16.7	16.7	16.1	1.7	2.9	2.9	4.0	1.7	6.3	-	-	-	29.3
	不明	12	-	-	-	-	-	16.7	-	8.3	-	-	-	-	-	8.3	-	-	-	66.7
須木地区		137	-	-	-	-	1.5	6.6	16.1	24.1	1.5	0.7	1.5	2.9	4.4	6.6	-	-	-	34.3
野尻地区		164	-	-	-	-	-	5.5	12.2	20.1	6.7	0.6	4.3	3.7	1.8	6.1	-	-	-	39.0

(単位：%)

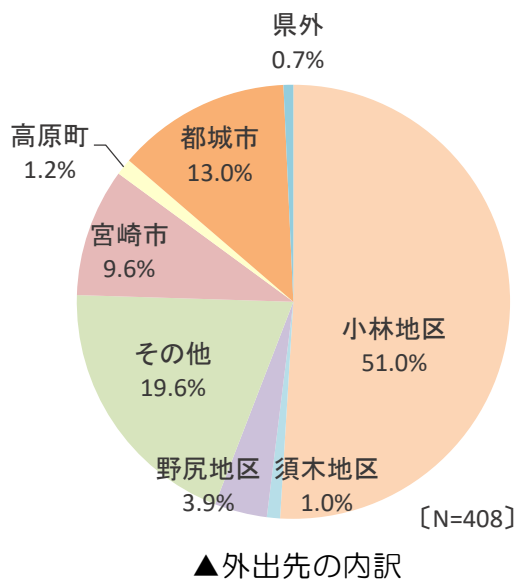
▲通院の主な時間帯

1-4-4 その他用事（娯楽・趣味等）

(1) その他用事での移動特性

○その他の娯楽・趣味等の活動では55.9%が市内の外出先を挙げ、具体的な外出先の上位施設では「イオン（都城・宮崎）」「図書館」「サンキュー」等が挙げられている。
 ○主な交通手段は自動車・バイク（61.0%）となっているが、5.9%が公共交通を利用しており、主に路線バス、タクシー、コミュニティバスが利用されています。

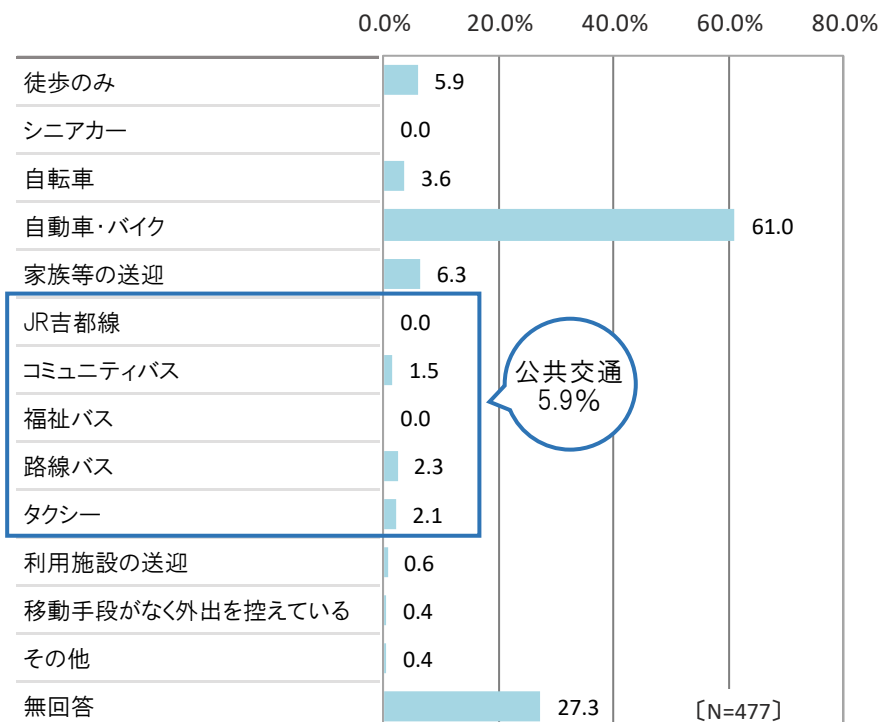
■外出先の内訳



▼外出先の上位施設

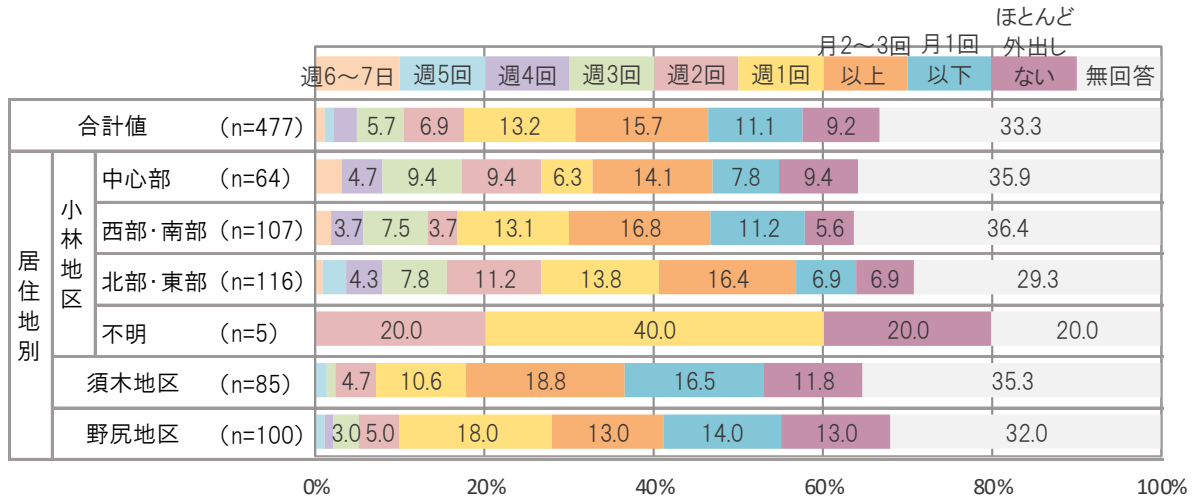
施設名	票数
イオン（都城・宮崎）	56
図書館	14
サンキュー	13
市体育館	12
パチンコ（市内）	11
運動公園	8
小林運動公園	4
十三塚運動公園	7
ナフコ	7
温泉	5
ゴルフ場	5
カラオケ	4
ゲオ	4
ダイナム	4
宮交シティ	4

■外出時の交通手段

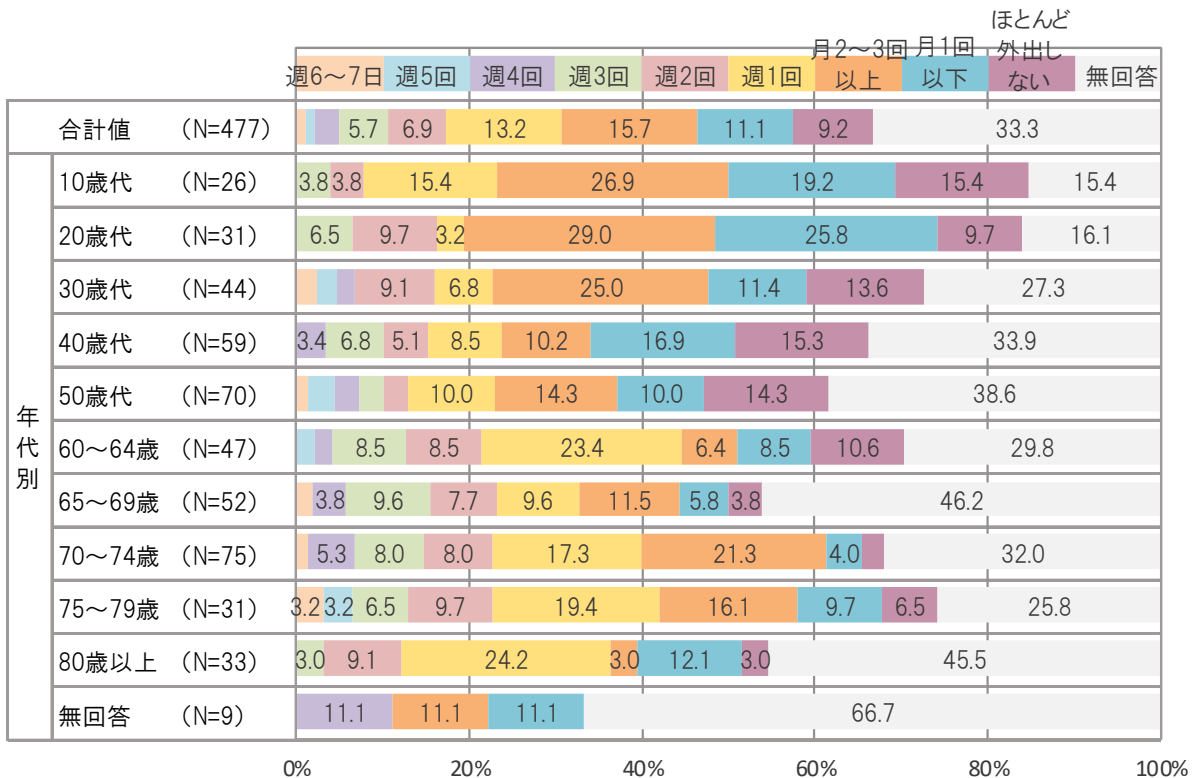


(2) その他用事の外出頻度

○娯楽・趣味等の活動で外出する頻度は「月2～3回(15.7%)」が最も多く、次いで「週1回(13.2%)」が多くなっている。
 ○年齢別にみても、各年代ともに「週1回～月2・3回」の割合が高い。



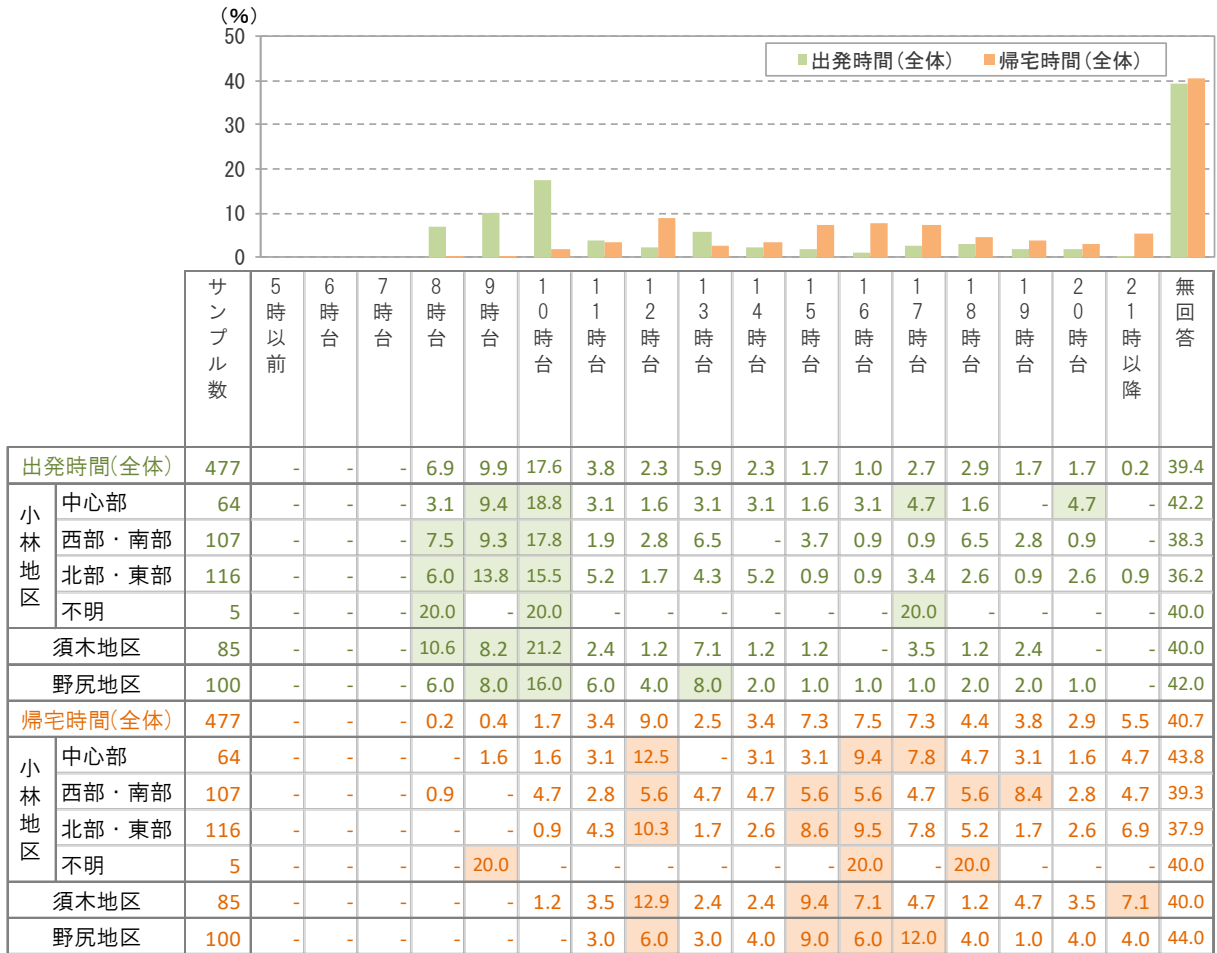
▲その他用事の外出頻度(地区別)



▲その他用事の外出頻度(年齢別)

(3) その他用事の主な外出時間帯

○娯楽・趣味等の活動の主な時間帯では、出発時間は「10時台」の17.6%が最も多く、次いで「9時台」の9.9%となっている。
 ○帰宅時間は「12時台」(9.0%)と午前中に用事を済ませる傾向が多く、次いで「16時台」(7.5%)や「17時台」(7.3%)の夕方にかけての帰宅が見られる。



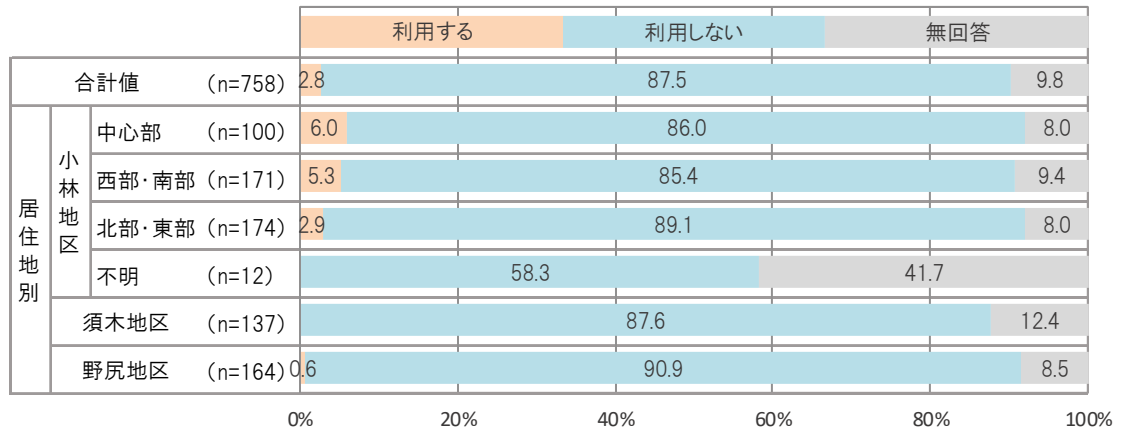
(単位：%)

▲ その他用事の主な外出活動時間帯

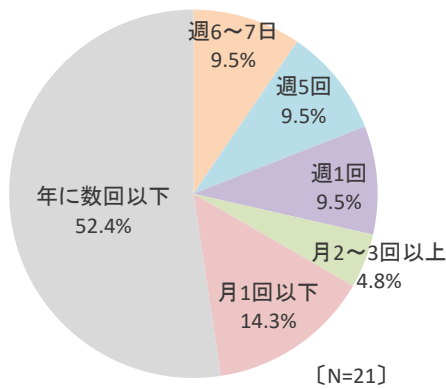
1-5 鉄道（JR 吉都線）の利用状況

1-5-1 鉄道の利用状況

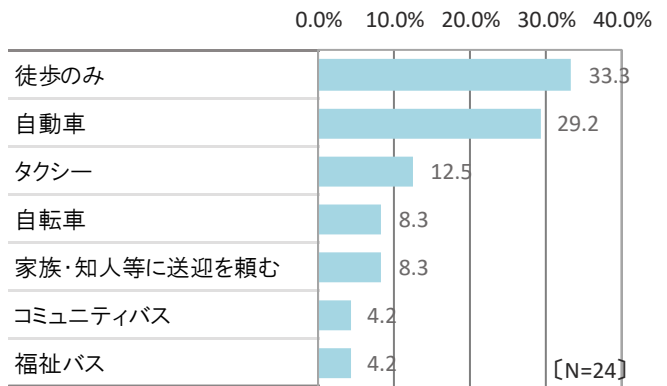
○鉄道（JR 吉都線）の利用率は、全体の2.8%が「利用する」と回答している。
 ○鉄道の利用頻度は、「年に数回以下」（52.4%）が多くを占めており、駅までの主な交通手段は「徒歩のみ」（33.3%）が多く挙げられている。
 ○主に利用する駅は、乗車駅が「小林駅」（85.7%）が最も多くを占めており、降車駅は「都城駅」（31.8%）や「えびの飯野駅」（27.3%）等が挙げられる。



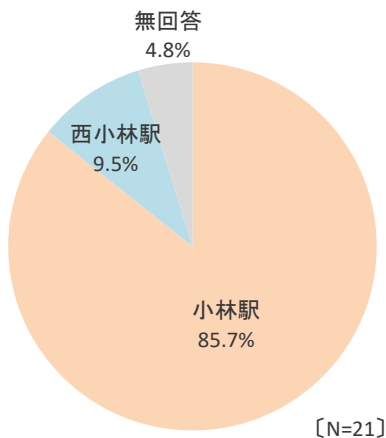
▲鉄道の利用状況（地区別）



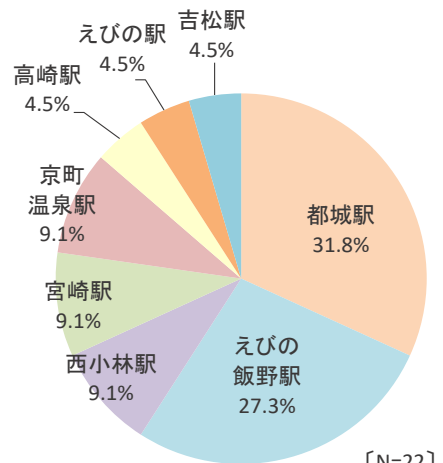
▲利用頻度



▲駅までの交通手段



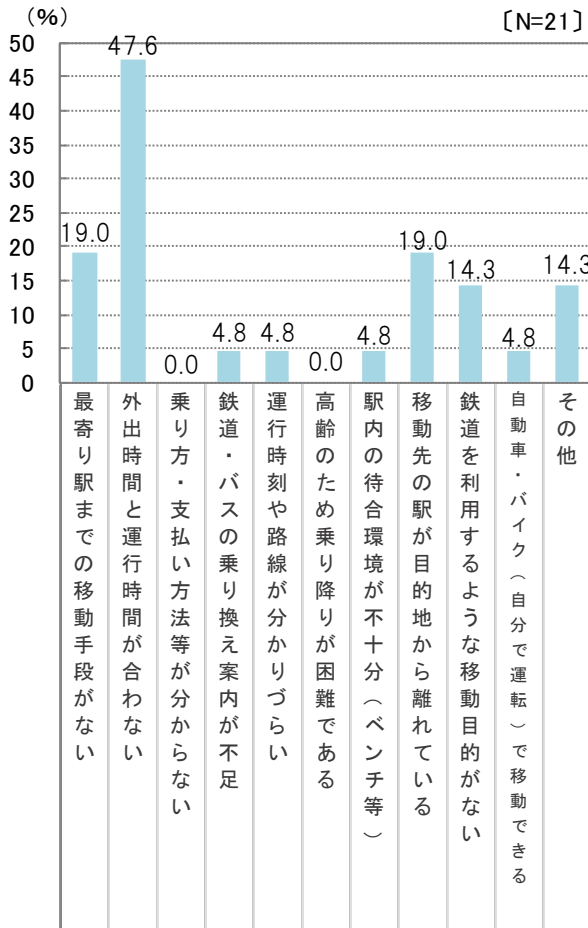
▲主な乗車駅



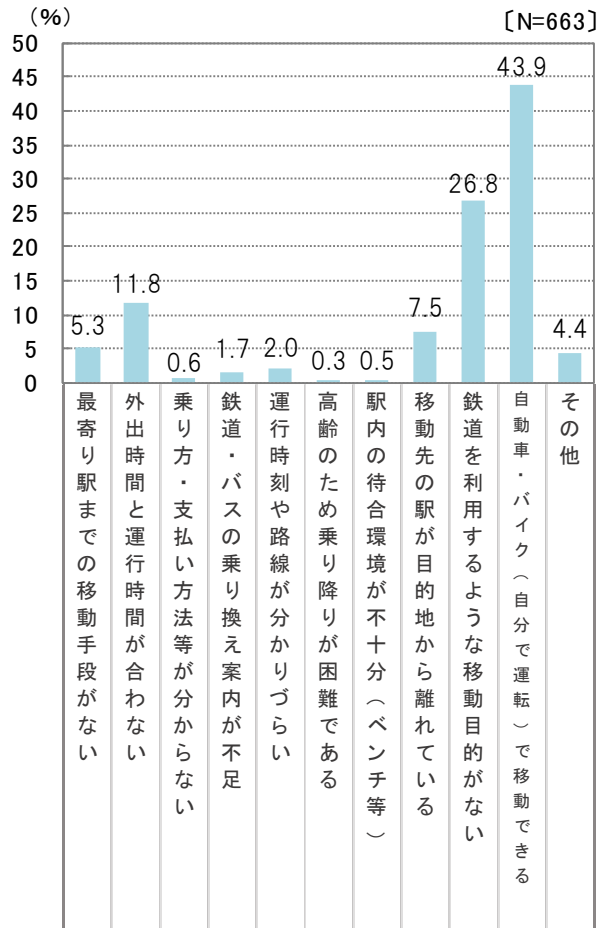
▲主な降車駅

1-5-2 利用時の困りごと・利用しない理由

○鉄道利用時の困りごとには、「外出時間と運行時間が合わない」(47.6%)が最も多く、
 鉄道を利用しない理由には、「自転車・バイク(自分で運転)で移動できる」(43.9%)
 が多く挙げられている。



▲利用時の困りごと(利用者)

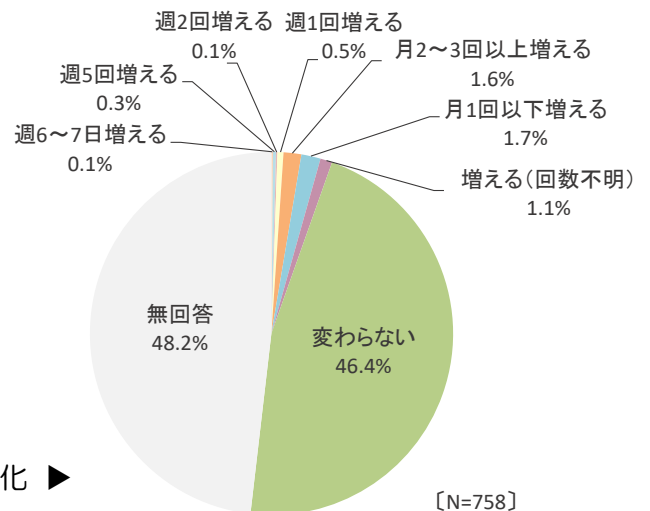


▲利用しない理由(非利用者)

※無回答を除く、複数回答のため合計値は100%を超える

1-5-3 改善後の利用回数の変化

○上記(1-5-2)の内容が改善された場合、鉄道の利用頻度の変化は「変わらない」(46.4%)が最も多くなり、次いで「月1回以下に増える」(1.7%)となっている。

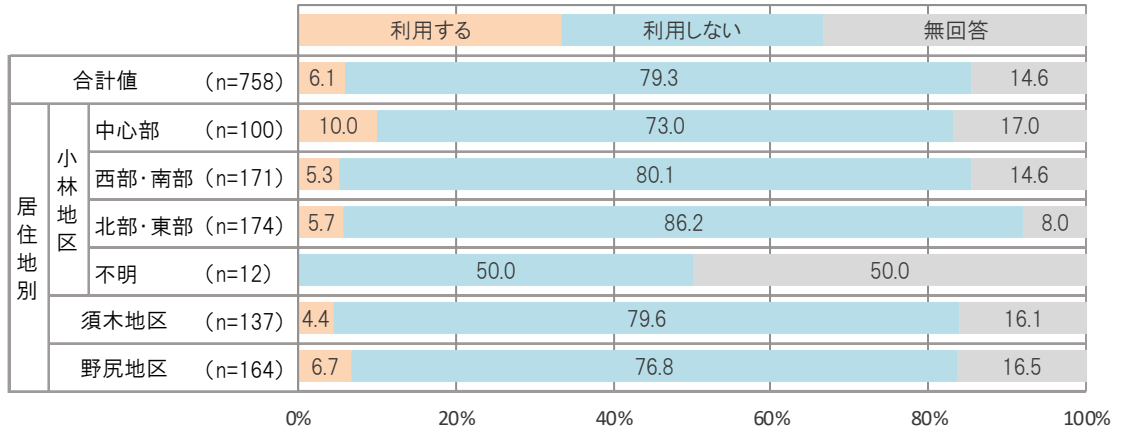


利用回数の変化 ▶

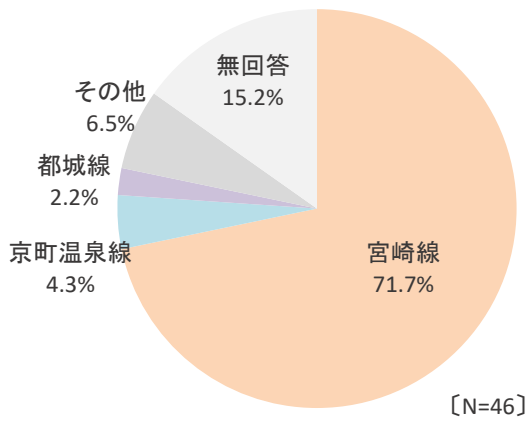
1-6 路線バス（宮崎交通バス）の利用状況

1-6-1 路線バスの利用状況

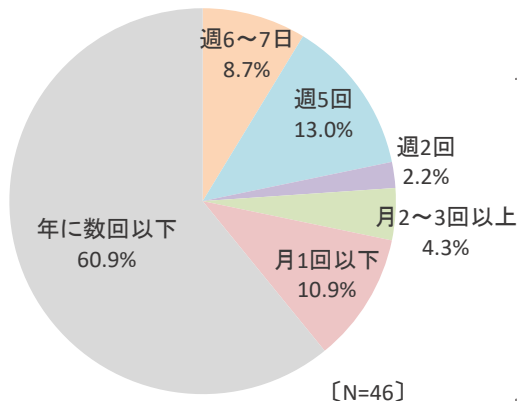
○路線バスの利用率は、全体の6.1%が「利用する」と回答している。
 ○路線バスの利用頻度は、「年に数回以下」（60.9%）が多くを占めており、主な目的地は、「宮崎市」（17.0%）が最も多く挙げられている。
 ○主に利用する路線は、「宮崎線」（71.7%）が最も多くを占めており、次いで「京町温泉線」（4.3%）や「都城線」（2.2%）等が挙げられる。



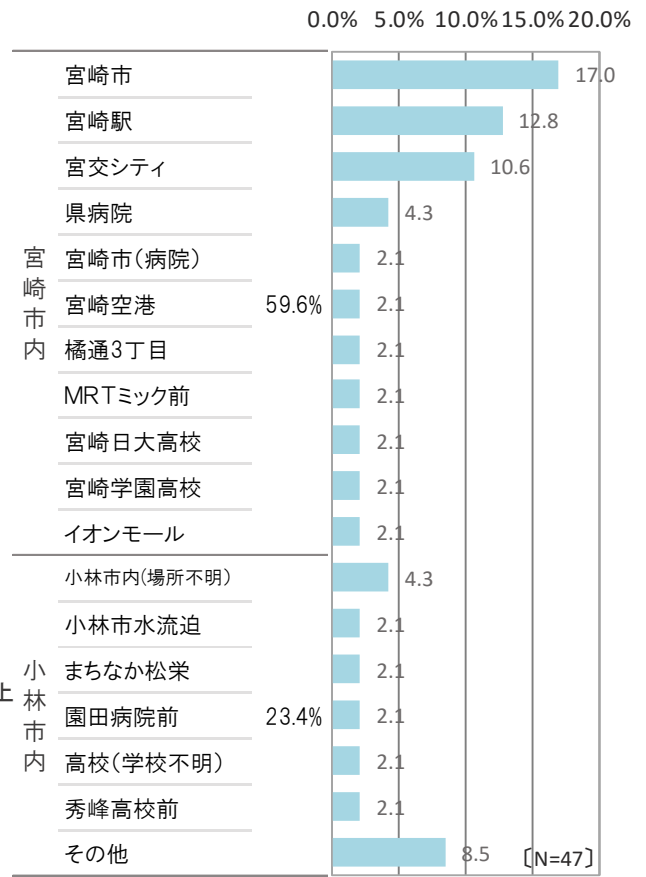
▲路線バスの利用状況（地区別）



▲主な利用路線



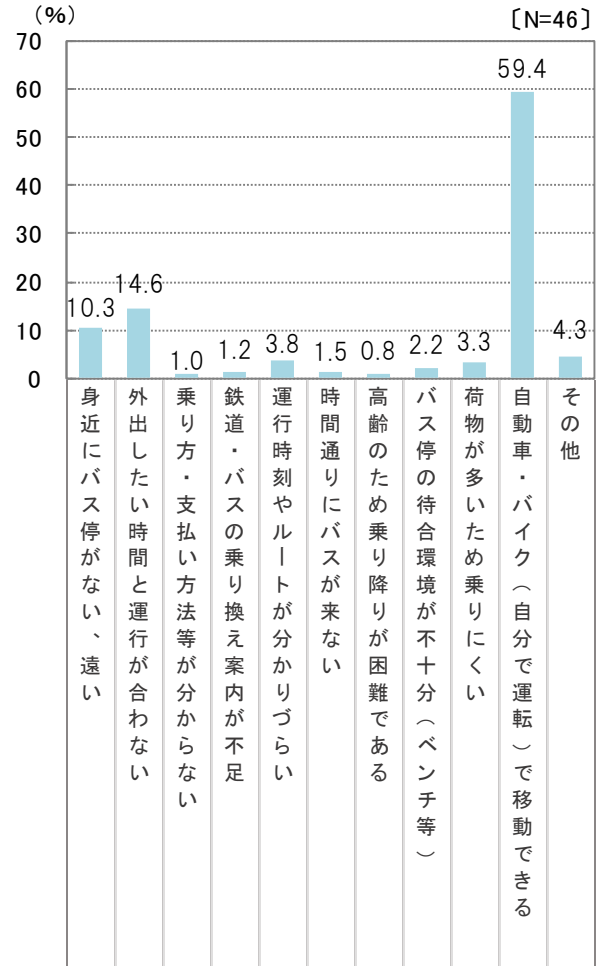
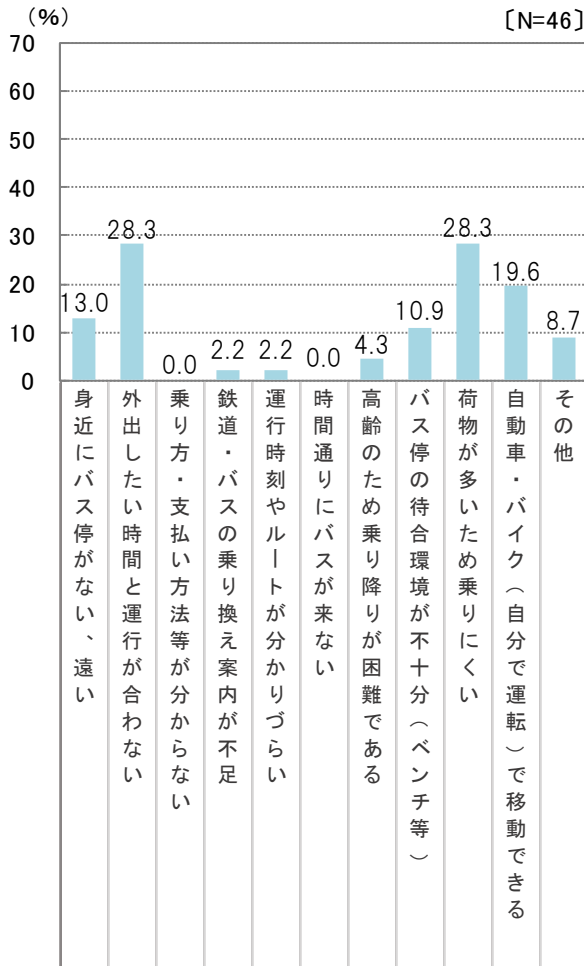
▲利用頻度



▲主な目的地

1-6-2 利用時の困りごと・利用しない理由

○路線バス利用時の困りごとには、「外出時間と運行時間が合わない」、「荷物が多いため乗りにくい」(28.3%) がともに多く、路線バスを利用しない理由には、「自転車・バイク(自分で運転)で移動できる」(59.4%) が多く挙げられている。



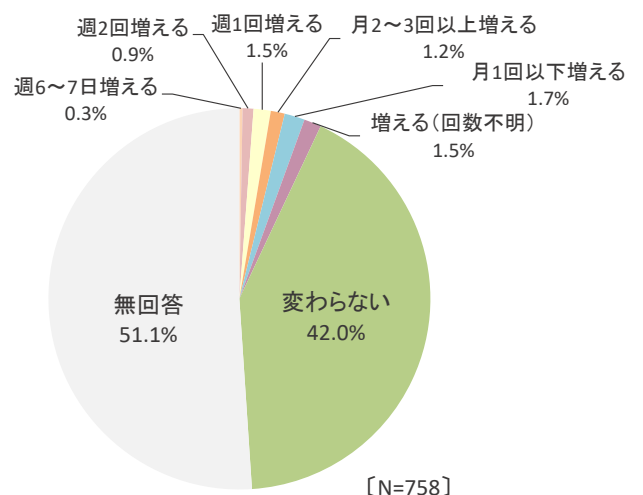
▲利用時の困りごと (利用者)

▲利用しない理由 (非利用者)

※無回答を除く、複数回答のため合計値は100%を超える

1-6-3 改善後の利用回数の変化

○上記(1-6-2)の内容が改善された場合、路線バスの利用頻度の変化は「変わらない」(42.0%) が最も多くなり、次いで「月1回以下増える」(1.7%) となっている。



利用回数の変化 ▶

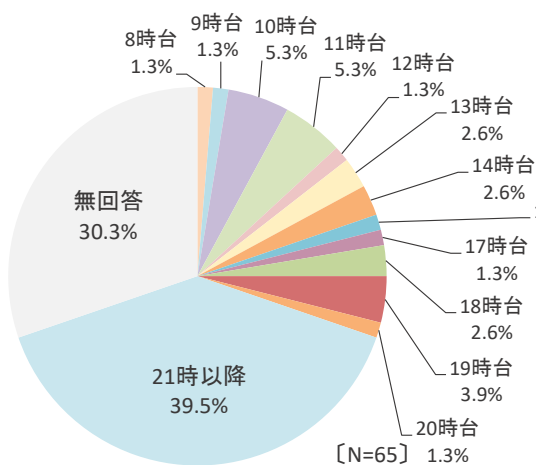
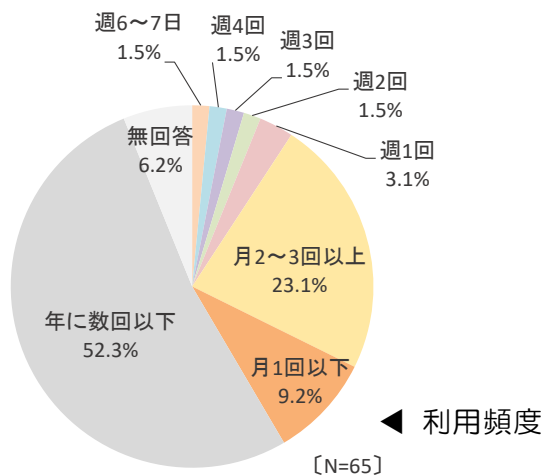
1-7 タクシーの利用状況

1-7-1 タクシーの利用状況

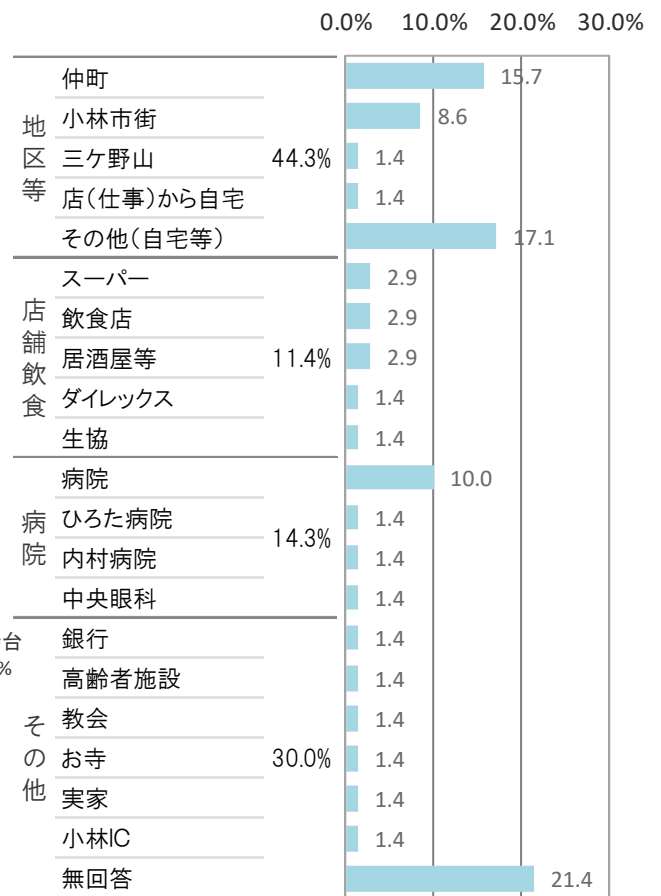
○タクシーの利用率は、全体の8.6%が「利用する」と回答している。
 ○タクシーの利用頻度は、「年に数回以下」(52.3%)が最も多く、主な利用時間帯は「21時以降」(39.5%)の夜間利用が多く見られる。
 ○主な行先は、「仲町」(15.7%)が最も多く、次いで「病院」(10.0%)や「小林市街地」(8.6%)が挙げられる。

		利用する	利用しない	無回答
合計値 (n=758)		8.6	78.9	12.5
居住地別	小林地区			
	中心部 (n=100)	11.0	75.0	14.0
	西部・南部 (n=171)	14.0	76.6	9.4
	北部・東部 (n=174)	9.2	80.5	10.3
	不明 (n=12)	16.7	41.7	41.7
	須木地区 (n=137)	4.4	81.0	14.6
野尻地区 (n=164)	3.7	82.9	13.4	

▲タクシーの利用状況（地区別）



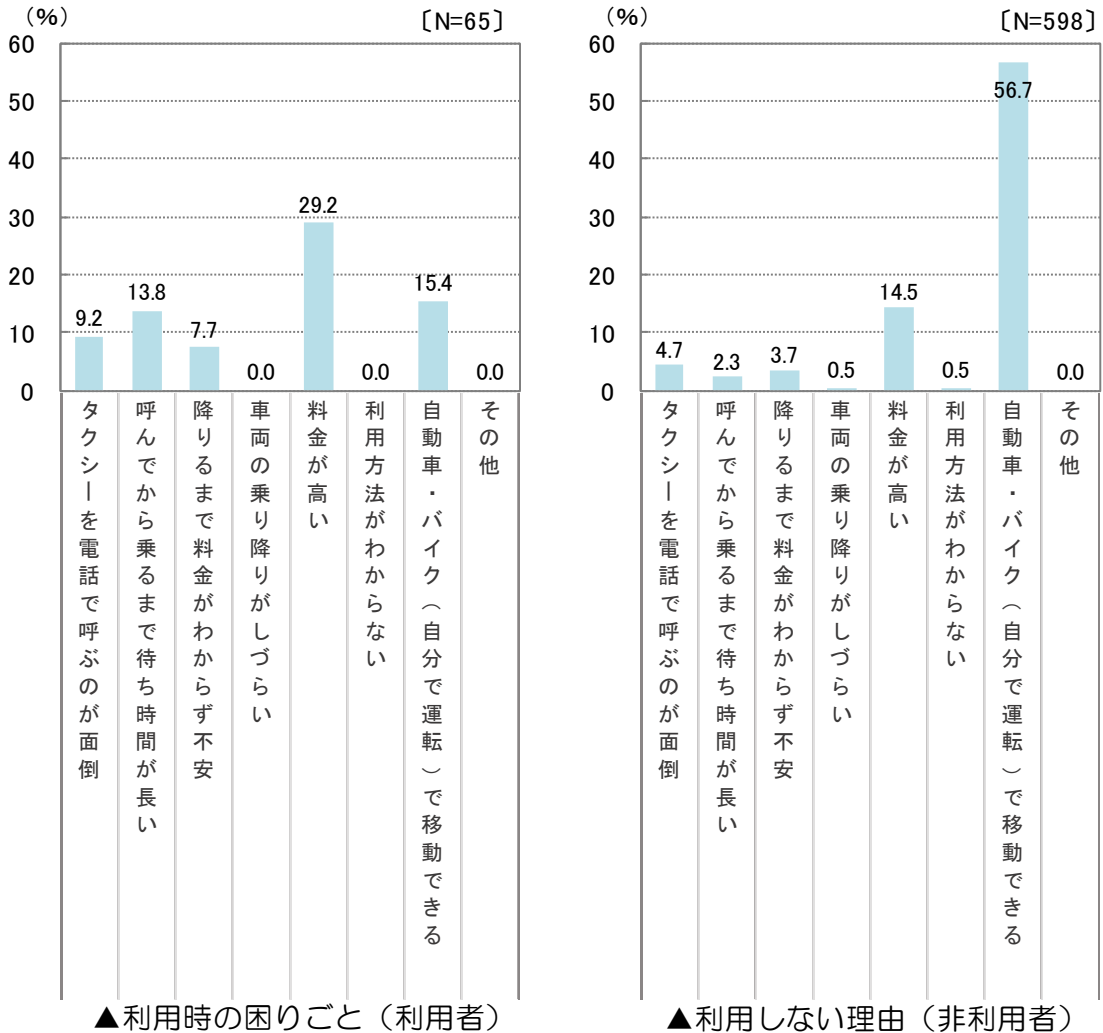
▲主な利用時間帯



▲主な目的地

1-7-2 利用時の困りごと・利用しない理由

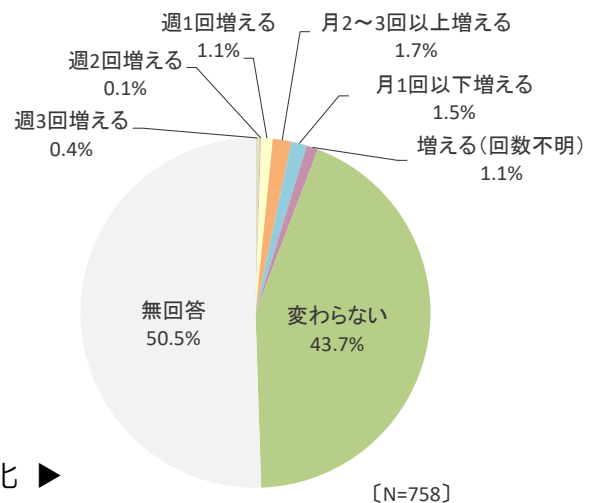
○タクシー利用時の困りごとには、「料金が高い」(29.2%)が最も多く、タクシーを利用しない理由には、「自転車・バイク(自分で運転)で移動できる」(56.7%)が多く挙げられている。



※無回答を除く、複数回答のため合計値は100%を超える

1-7-3 改善後の利用回数の変化

○上記(1-7-2)の内容が改善された場合、タクシーの利用頻度の変化は「変わらない」(43.7%)が最も多くなり、次いで「月2~3回以上増える」(1.7%)となっている。



利用回数の変化 ▶

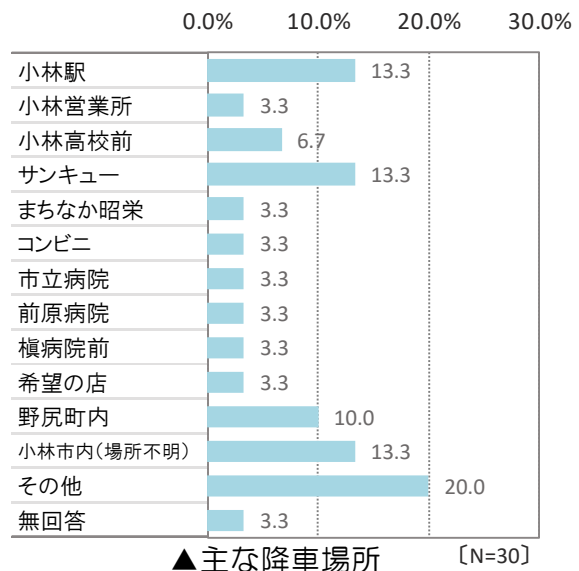
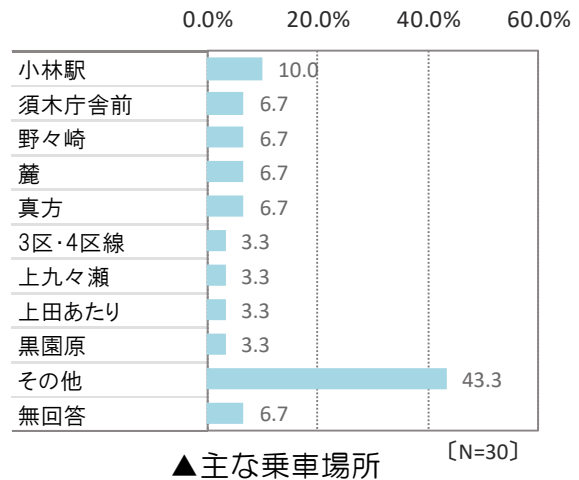
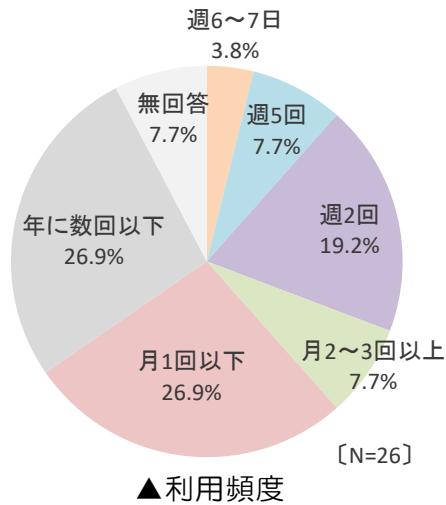
1-8 コミュニティバス・福祉バスの利用状況

1-8-1 コミュニティバス・福祉バスの利用状況

○コミュニティバス・福祉バス利用率は、全体の3.4%が「利用する」と回答している。
 ○コミュニティバス・福祉バスの利用頻度は、「月1回以下」と「年に数回以下」がともに26.9%となっている。
 ○主な利用区間は、乗車場所が「小林駅」(10.0%)が最も多く、降車場所が「小林市内」(13.3%)となっている。

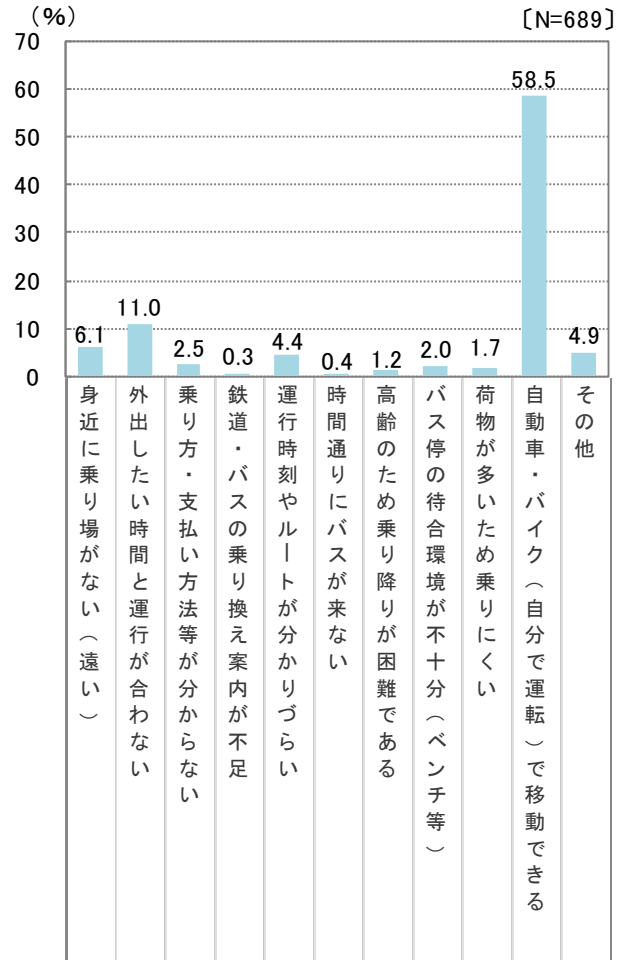
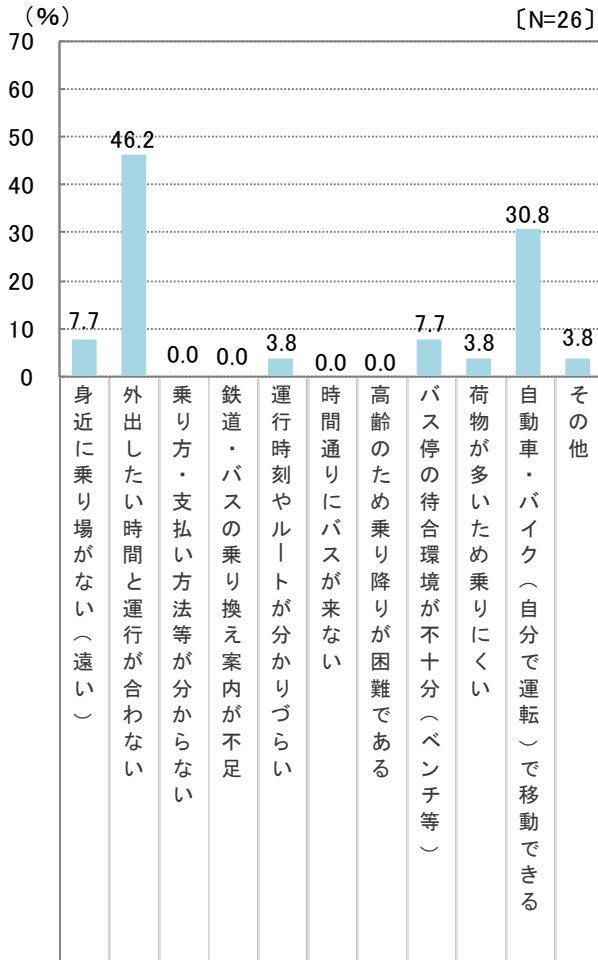
		利用する	利用しない	無回答
合計値 (n=758)		3.4	90.9	5.7
居住地別	小林地区			
	中心部 (n=100)	3.0	94.0	3.0
	西部・南部 (n=171)	2.3	94.2	3.5
	北部・東部 (n=174)	1.1	94.3	4.6
	不明 (n=12)		75.0	25.0
	須木地区 (n=137)	9.5	82.5	8.0
野尻地区 (n=164)	2.4	90.2	7.3	

▲コミュニティバス・福祉バスの利用状況（地区別）



1-8-2 利用時の困りごと・利用しない理由

○コミュニティバス及び福祉バス利用時の困りごとは、「外出したい時間と運行が合わない」(46.2%)が最も多く、利用しない理由には「自動車・バイク(自分で運転)で移動できる」(58.5%)が多く挙げられている。



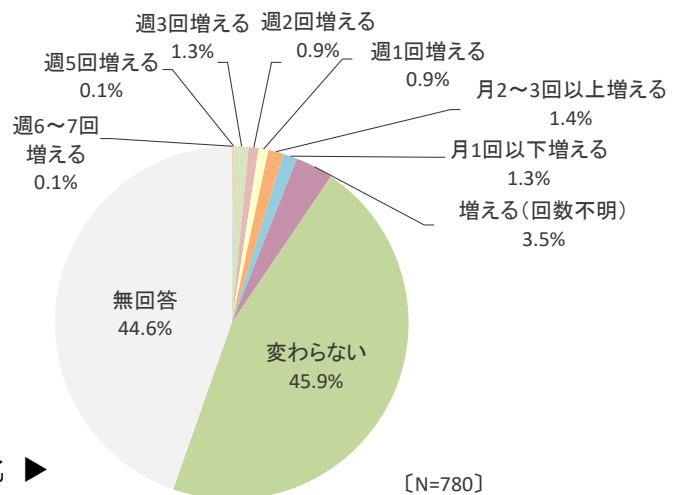
▲利用時の困りごと (利用者)

▲利用しない理由 (非利用者)

※無回答を除く、複数回答のため合計値は100%を超える

1-8-3 改善後の利用回数の変化

○上記(1-8-2)の内容が改善された場合、コミュニティバス・福祉バスの利用頻度の変化は「変わらない」(45.9%)が最も多くなり、次いで「増える(回数不明)」(3.5%)となっている。

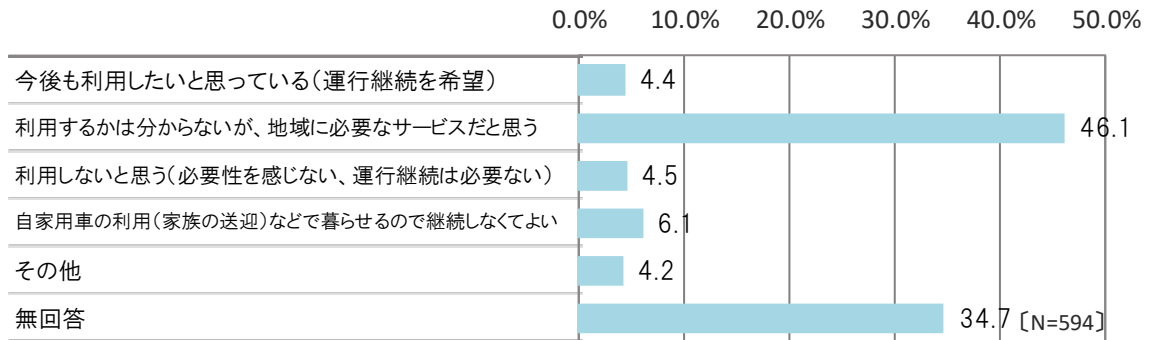


利用回数の変化 ▶

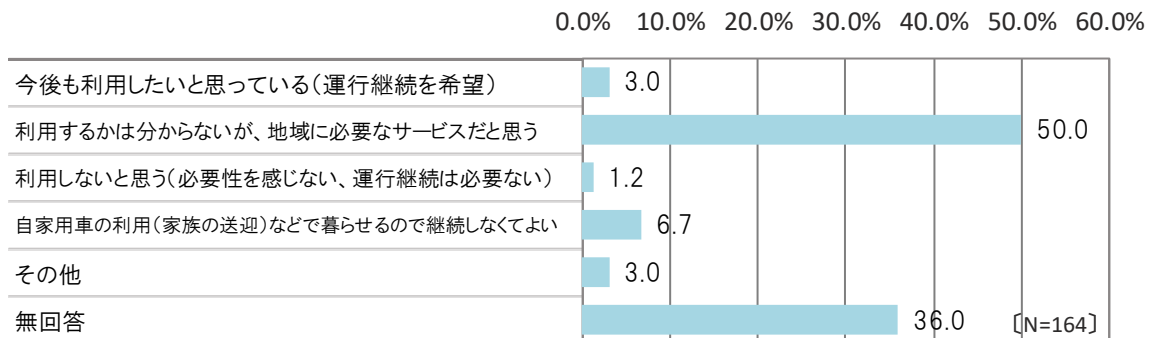
[N=780]

1-8-4 今後のバスの利用意向

○コミュニティバスの利用意向は、「利用するかは分からないが、地域に必要なサービスだと思う」(47.0%)が最も多く、福祉バスにおいても同様の利用意向が50.0%と高い割合を占めている。



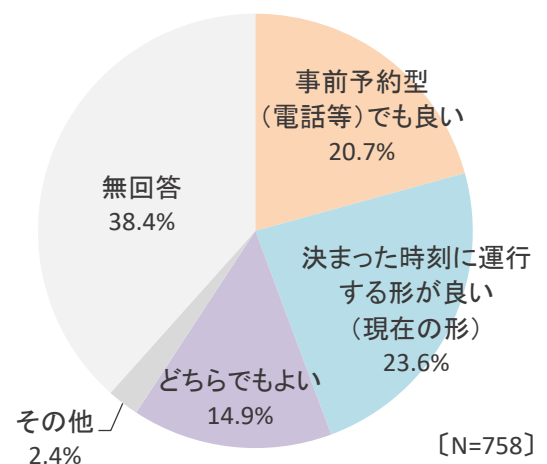
▲コミュニティバスの利用意向



▲福祉バスの利用意向

1-8-5 希望する運行方法

○運行方法については、「決まった時刻に運行する形が良い(現在の形)」(23.6%)が最も多く、次いで「事前予約型(電話等)でも良い」(20.7%)の割合が多く見られる。



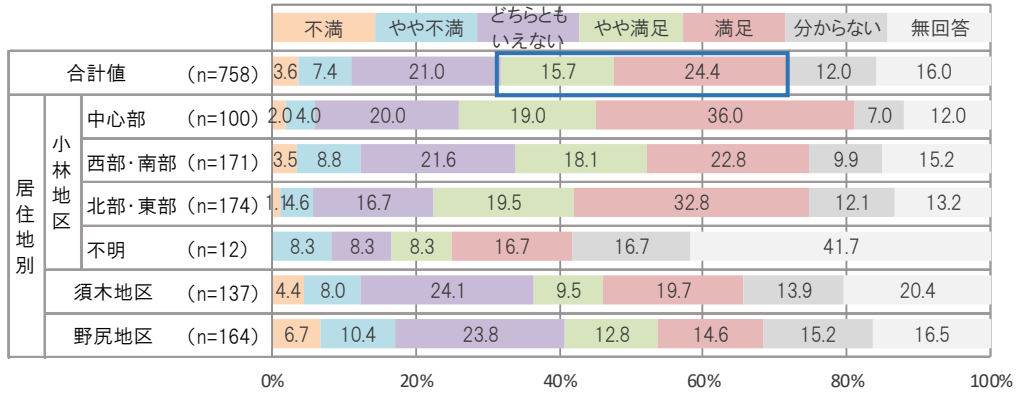
▲希望する運行方法

1-9 生活環境や公共交通の満足度

1-9-1 生活環境の満足度

(1) 買い物のしやすさ

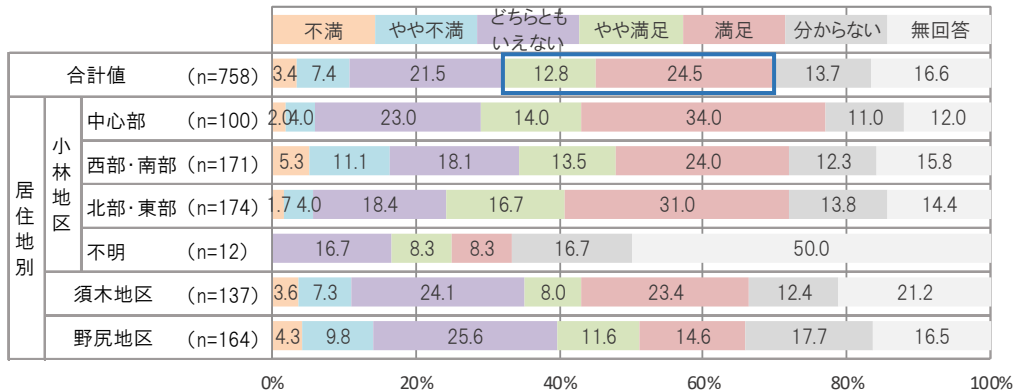
○買い物のしやすさに関する満足度では、全体の40.1%が満足を示しているが、地区別では野尻地区の満足度が低くなっている。



▲買い物しやすさの満足度（地区別）

(2) 医療機関への通院しやすさ

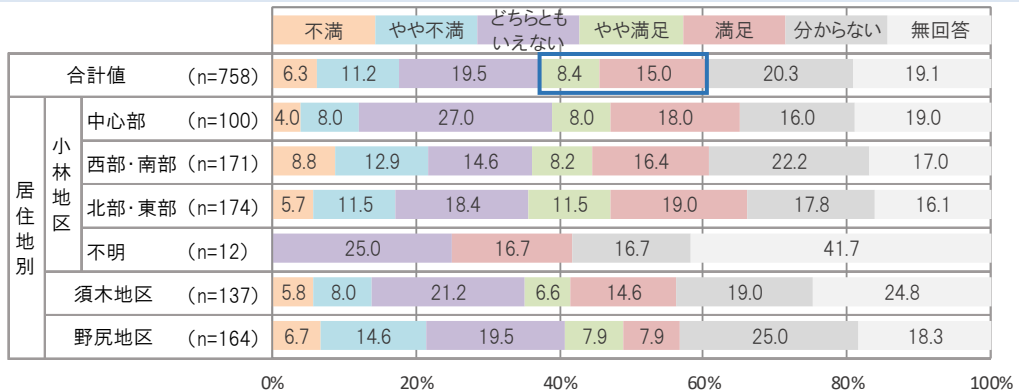
○医療機関への通院しやすさでは、全体の37.3%が満足を示しているが、地区別では野尻地区の満足度が低くなっている。



▲医療機関への通院しやすさの満足度（地区別）

(3) 趣味・娯楽等の行動しやすさ

○趣味・娯楽等の行動しやすさでは、全体の23.4%が満足を示しているが、地区別では野尻地区の満足度が低くなっている。

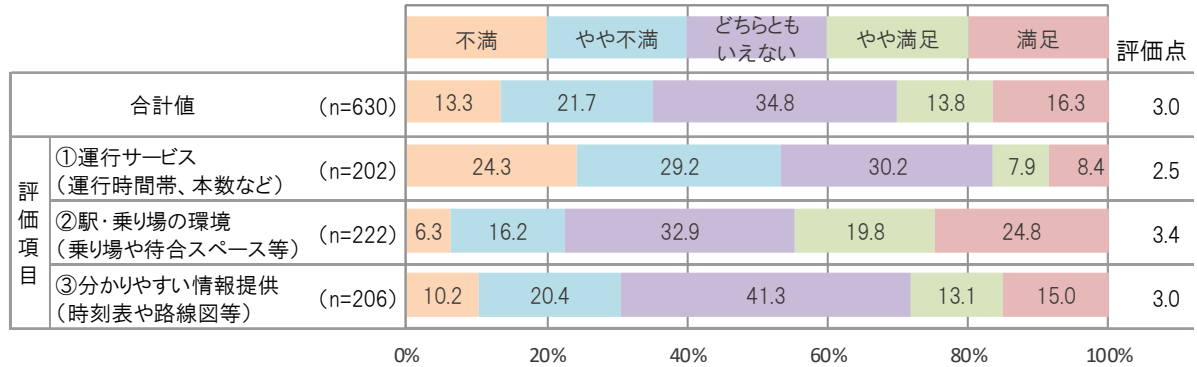


▲趣味・娯楽等の行動しやすさの満足度（地区別）

1-9-2 公共交通の満足度

(1) 鉄道 (JR 吉都線)

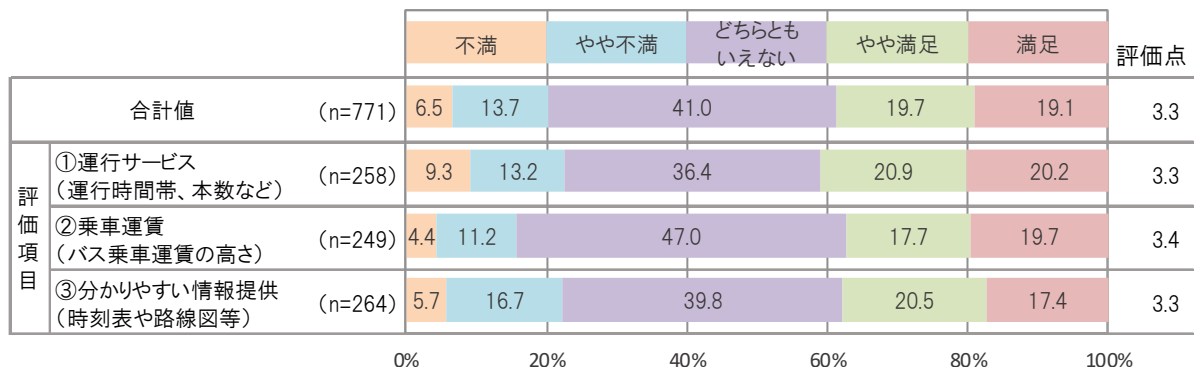
○鉄道について回答頂いた方の満足度は、全体平均で 3.0 点となっている。
○項目別では「運行サービス (運行時間帯、本数など)」の評価が比較的低く、「駅・乗り場の環境 (乗り場や待合スペース等)」の評価が高くなっている。



▲鉄道 (JR 吉都線) の満足度

(2) 高速バス

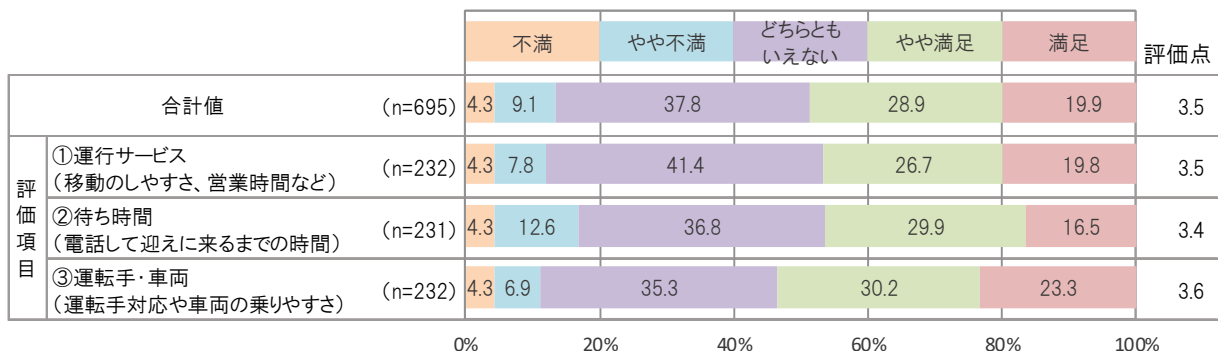
○高速バスについて回答頂いた方の満足度は、全体平均で 3.3 点となっている。
○項目別では「運行サービス」「乗車運賃」「分かりやすい情報提供」の各項目で、平均的な評価点となっている (評価点 3.3~3.4)。



▲高速バスの満足度

(3) タクシー

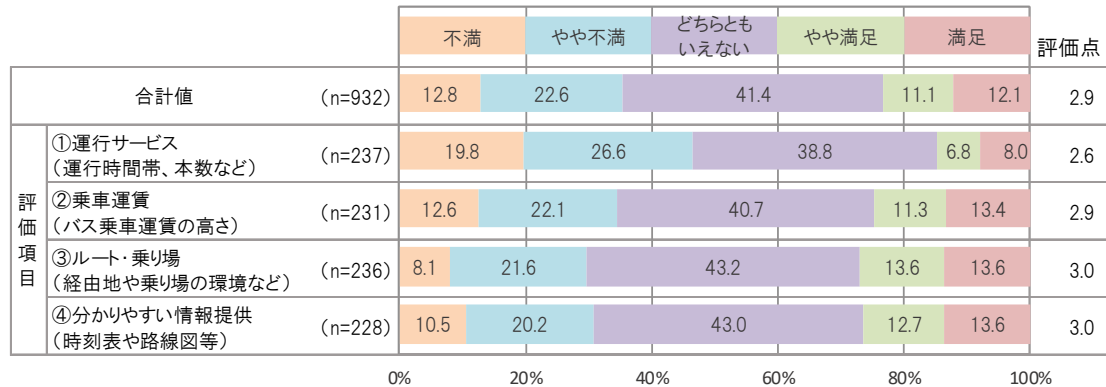
○タクシーについて回答頂いた方の満足度は、全体平均で 3.5 点となっている。
○項目別では「運行サービス」「待ち時間」「運転手・車両」の各項目で、平均的な評価点となっている (評価点 3.4~3.6)。



▲タクシーの満足度

(4) 路線バス

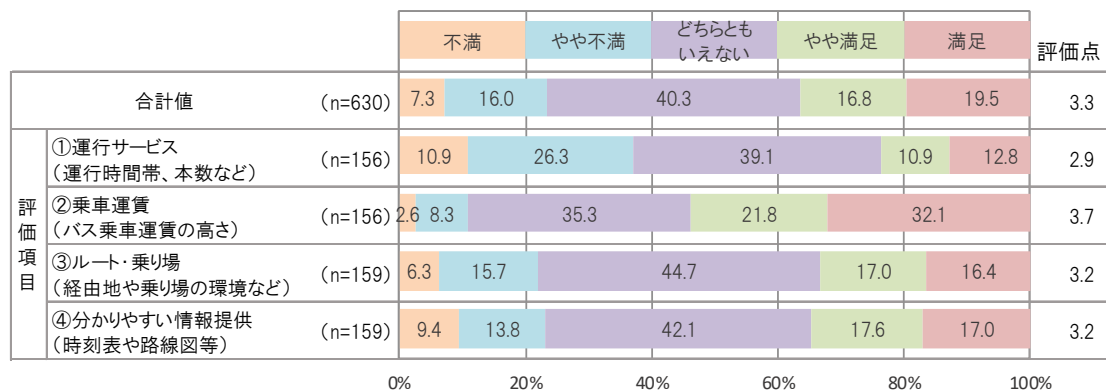
○路線バスについて回答頂いた方の満足度は、全体平均で2.9点となっている。
○項目別では「運行サービス」「乗車運賃」の評価項目が比較的低くなっており、「ルート・乗り場」「わかりやすい情報提供」は平均的な評価点となっている。



▲路線バスの満足度

(5) コミュニティバスおうらい

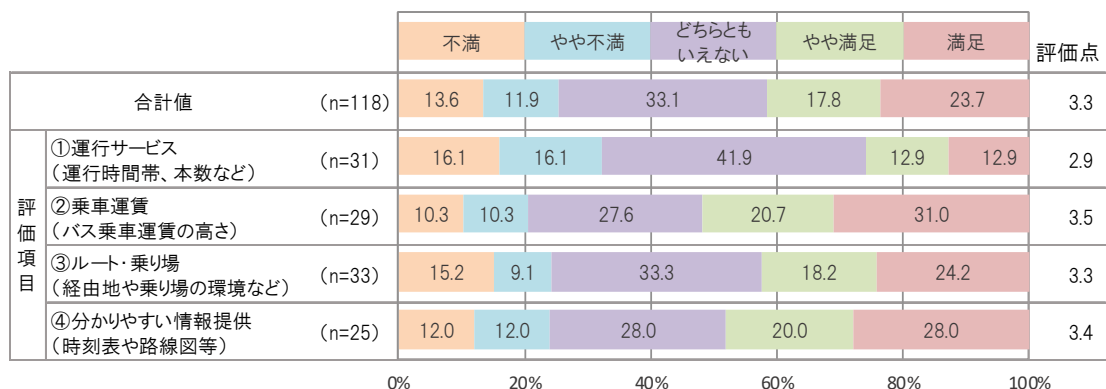
○コミバスについて回答頂いた方の満足度は、全体平均で3.3点となっている。
○項目別では「運行サービス（運行時間帯、本数など）」の項目が比較的低く、「乗車運賃」の評価が比較的高くなっている。



▲コミュニティバスの満足度

(6) 福祉バス

○福祉バスについて回答頂いた方の満足度は、全体平均で3.3点となっている。
○項目別では、コミュニティバスと同様、「運行サービス（運行時間帯、本数など）」の項目が比較的低く、「乗車運賃」の評価が比較的高くなっている。

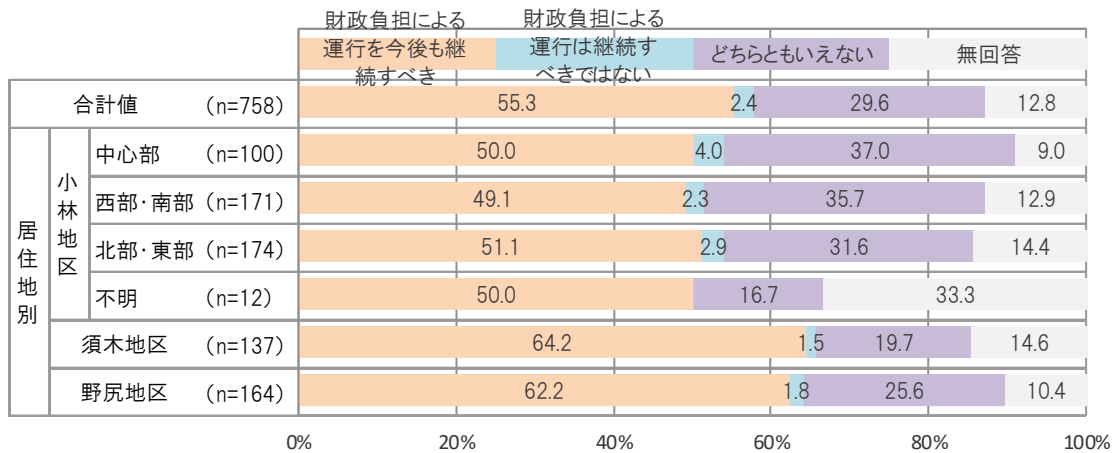


▲福祉バスの満足度

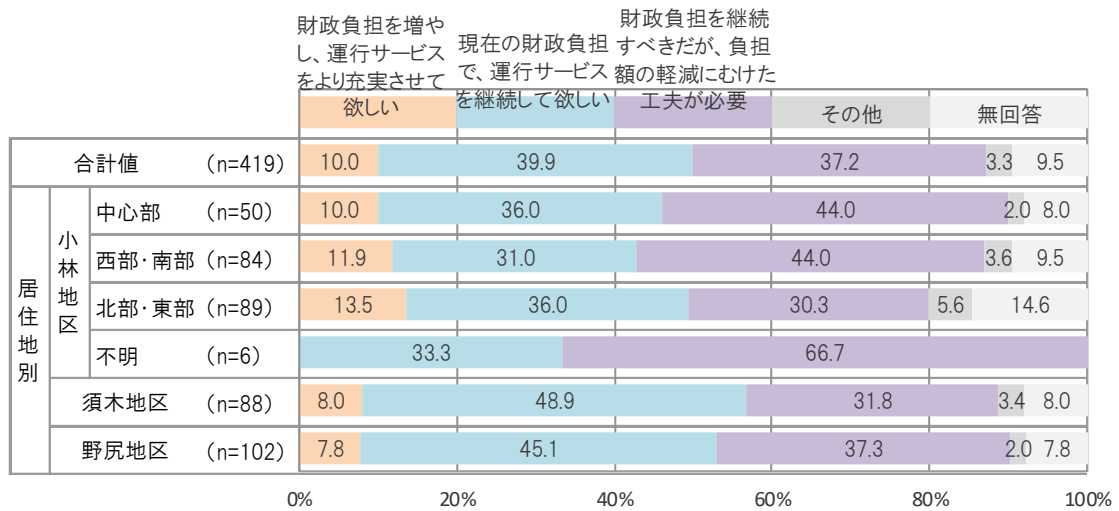
1-10 市の財政負担・今後の取組への意向

1-10-1 市の財政負担への意向

○公共交通に対する財政負担については、全体の 55.3%は「財政負担による運行を今後も継続すべき」と回答しており、移動手段確保の重要性が伺える。
 ○一方、今後の財政負担のあり方では、全体の 39.9%が「現在の財政負担で運行を継続」と多いが、「財政負担を継続すべきだが負担額の軽減に向けた工夫が必要」も 37.2%と同等の割合を占めており、運行の効率化に向けた工夫が求められている。



▲財政負担に対する意向

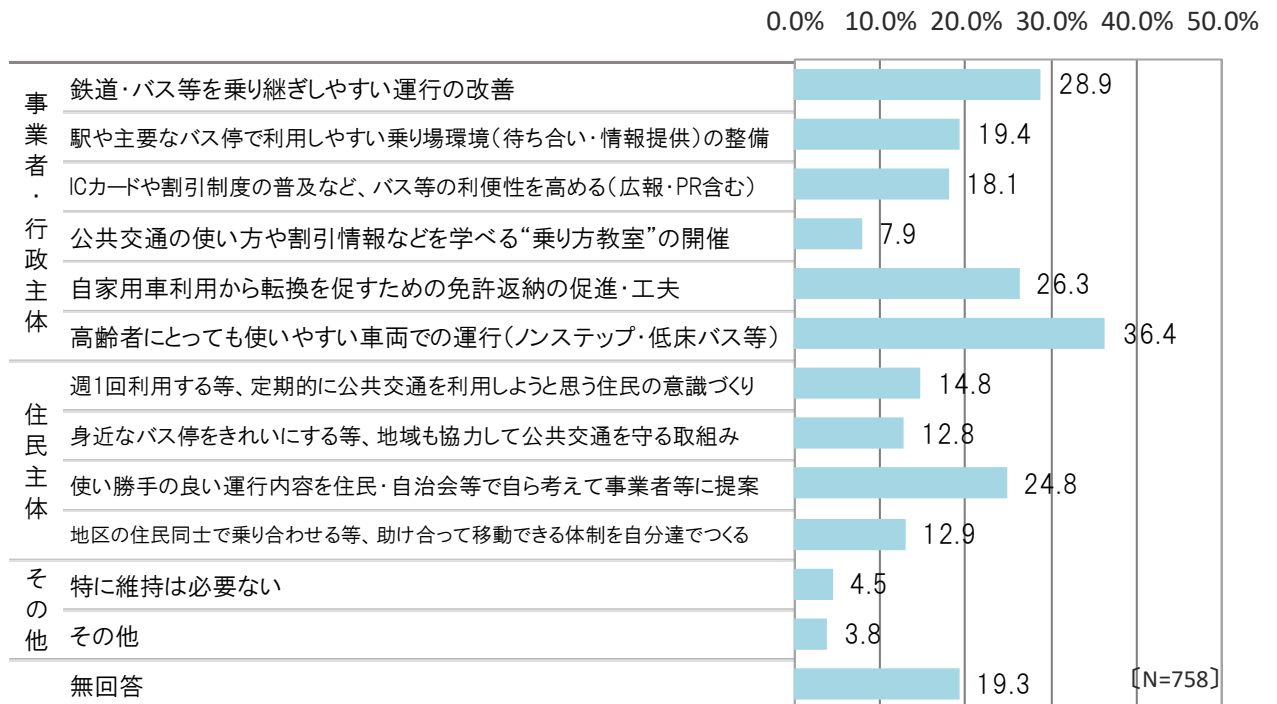


▲今後の財政負担のあり方（「財政負担すべき」回答者のみ）

1-10-2 公共交通の維持・利用向上のための考え

○公共交通の維持・利用向上のための考えは、「ノンステップバスなど、高齢者にとって使いやすい車両導入を進める」(36.4%)が最も多く、次いで「鉄道とバス等の乗り継ぎがしやすいダイヤ改善を行う」(28.9%)となっている。

○上記のほか、住民主体の取組のうち「使い勝手の良い運行内容を住民・自治会等で自ら考えて事業者等に提案」が24.8%と、住民と一緒に考える運行の重要性が伺える。



※複数回答のため合算値は100%を超える

▲公共交通の維持・利用向上のための考え

小林市地域公共交通計画策定支援業務

資料編 2 JR 駅利用者ヒアリング調査

令和 3 年（2021 年）9 月

宮崎県小林市

資料編2 JR駅利用者ヒアリング調査

2-1 調査の概要

2-1-1 目的

JR小林駅・小林バスセンター及びJR西小林駅の施設利用者を対象に、鉄道・駅の利用状況、路線バスの利用状況、公共交通に関するニーズ・利用可能性などの把握を行うためのヒアリング調査を実施した。

2-1-2 調査方法

対象箇所： ①JR小林駅・小林バスセンター ②JR西小林駅
※各調査箇所あたり50票/施設以上を目標

調査期間： 令和3年 7月9日(金)・7月17日(土)
※当初予定の7月10日(土)は荒天のため延期

調査時間： 6:00~19:00(※前後の列車時刻まで滞在)

調査手法： 調査員によるインタビュー形式のヒアリング調査

取得票数： 計267票(JR小林駅：240票、JR西小林駅：27票)



▲JR小林駅(KITTO小林)の様子



▲JR西小林駅の様子

2-1-3 ヒアリング内容

鉄道利用に関するヒアリング調査にご協力をお願いいたします

鉄道の利用状況を把握するために、駅を利用される方に、利用目的や公共交通に期待する事などをお聞きしていますので、ご協力をお願い致します。【調査機関 中央コンサルタツ（小林市総合政策部企画政策課）】

下の設問に従って、ご自身にあてはまるものに 、または具体的な内容をご記入ください。

ご自身の事	問1 住所 <input type="checkbox"/> 市内〔町丁目名：_____ または 郵便番号：_____〕 <input type="checkbox"/> 市外〔_____ 県 _____ 市・町・村〕 ※県内は県名省略
	問2 性別 <input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
	問3 年齢 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 18歳-29歳 <input type="checkbox"/> 30歳代 <input type="checkbox"/> 40歳代 <input type="checkbox"/> 50歳代 <input type="checkbox"/> 60~64歳 <input type="checkbox"/> 65~69歳 <input type="checkbox"/> 70~74歳 <input type="checkbox"/> 75~79歳 <input type="checkbox"/> 80歳以上
	問4 職業 <input type="checkbox"/> 会社員・公務員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 主婦・主夫 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト <input type="checkbox"/> その他〔内容：_____〕
	問5 免許 <input type="checkbox"/> 自動車免許（二輪・原付含む）を持っている <input type="checkbox"/> 持っていない
本日の外出	問6 本日出した目的は何ですか（あてはまるものすべてに <input checked="" type="checkbox"/> を記入）。 <input type="checkbox"/> 買い物 <input type="checkbox"/> 通院 <input type="checkbox"/> 通勤 <input type="checkbox"/> 通学 <input type="checkbox"/> 役場 <input type="checkbox"/> 温泉 <input type="checkbox"/> 趣味・娯楽 <input type="checkbox"/> 観光 <input type="checkbox"/> 金融機関 <input type="checkbox"/> 本屋・ビデオ店 <input type="checkbox"/> その他〔内容：_____〕
	問7 本日の具体的な外出目的地はどこですか。〔施設名：_____〕
鉄道利用	問8 本日は、鉄道を利用します（しました）か。 <input type="checkbox"/> はい〔_____ 駅 ~ _____ 駅〕 <input type="checkbox"/> いいえ
	問9 普段、鉄道の利用頻度はどれくらいですか。 <input type="checkbox"/> 利用する〔週・月 _____ 日程〕 <input type="checkbox"/> 利用しない
	問10 当駅までの（からの）移動手段は何ですか（本日利用するものすべてに <input checked="" type="checkbox"/> を記入）。 <input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> シニアカー <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> バイク <input type="checkbox"/> 自家用車（自分で運転） <input type="checkbox"/> 家族、知人の送迎 <input type="checkbox"/> 路線バス〔宮崎交通〕 <input type="checkbox"/> コミュニティバス <input type="checkbox"/> 施設送迎バス〔施設：_____〕 <input type="checkbox"/> 一般タクシー <input type="checkbox"/> その他〔_____〕
	問11 鉄道（駅）の利用には、ご満足いただけていますか。 <input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 不満〔理由：_____〕 例）バスとの乗り継ぎ時間が合わない / 乗り場やバスの案内を充実してほしい等
路線バス利用	問12 普段、路線バスを利用する事はありますか。 <input type="checkbox"/> ある〔週・月 _____ 日程〕 <input type="checkbox"/> ない
	問13 現在の路線バスの評価を教えてください。 <input type="checkbox"/> 満足している <input type="checkbox"/> 不満がある <input type="checkbox"/> どちらでもない
	問 路線バス利用で困っていること、又は利用しない理由は何ですか（あてはまるものすべてに <input checked="" type="checkbox"/> ）。 <input type="checkbox"/> 自宅からバス停が遠い <input type="checkbox"/> 目的地の近くにバス停がない <input type="checkbox"/> 乗りたい時間帯に便がない <input type="checkbox"/> 乗り方が分からず不安 <input type="checkbox"/> 情報がわかりづらい <input type="checkbox"/> 運賃が高い <input type="checkbox"/> 所要時間が長いから <input type="checkbox"/> 鉄道駅との接続が悪い <input type="checkbox"/> 利用し易い乗り場が少ない <input type="checkbox"/> その他〔_____〕 例）~~時頃に〇〇バス停から△△バス停の運行がほしい / バスの乗換え案内を充実してほしい等
タクシー利用	問14 普段タクシーを利用する事はありますか。 <input type="checkbox"/> ある〔週・月 _____ 日程〕 <input type="checkbox"/> ない
	問15 現在のタクシーの評価を教えてください。 <input type="checkbox"/> 満足している <input type="checkbox"/> 不満がある <input type="checkbox"/> どちらでもない
問 タクシー利用で困っていること、又は利用しない理由は何ですか（あてはまるものすべてに <input checked="" type="checkbox"/> ）。 <input type="checkbox"/> タクシーを呼ぶのが面倒 <input type="checkbox"/> タクシーを呼んでから来るまでに時間がかかる <input type="checkbox"/> 降りるまで料金がわからない不安 <input type="checkbox"/> 料金が安い <input type="checkbox"/> 利用方法がわからない <input type="checkbox"/> その他〔_____〕 例）ICカード支払いがしたい、車両が乗りづらい、人の目が気になる等	

調査員 記入欄

列車 JR 小林駅〔 _____ 方面 _____ 便目〕 時刻 _____ : _____

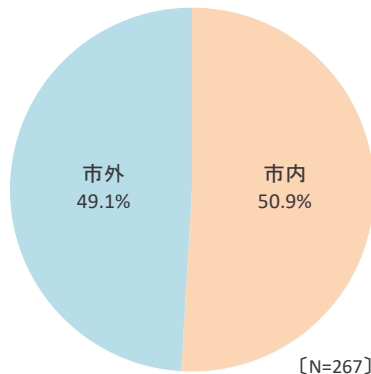
2-1-4 調査結果についての注意点

○各項目に示す調査結果は、グラフ内の回答割合は**小数点第一位で表示（四捨五入）**しており、**合計値が100.0%と一致しないものがある**（0.1%の表示上の誤差）。

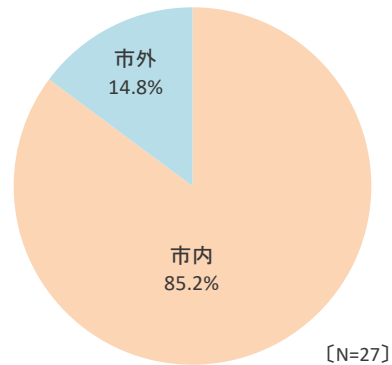
2-2 駅の利用状況・ニーズ

(1) 駅利用者の居住エリア

- 小林駅利用者の居住地は、市内・市外の割合は5割程度と同等になっている。
- 西小林駅利用者の居住地は、市内が85.2%で市内居住者の利用が多い。



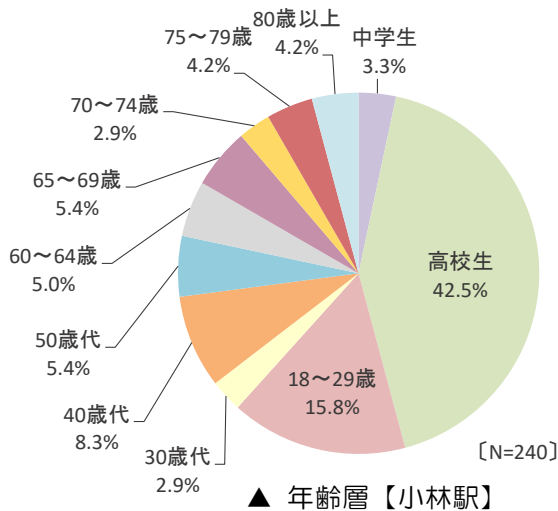
▲ 居住エリア【小林駅】



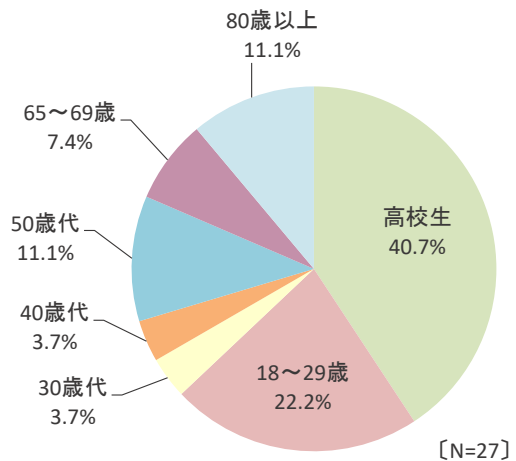
▲ 居住エリア【西小林駅】

(2) 利用者の特徴（年齢層・職業・免許保有状況）

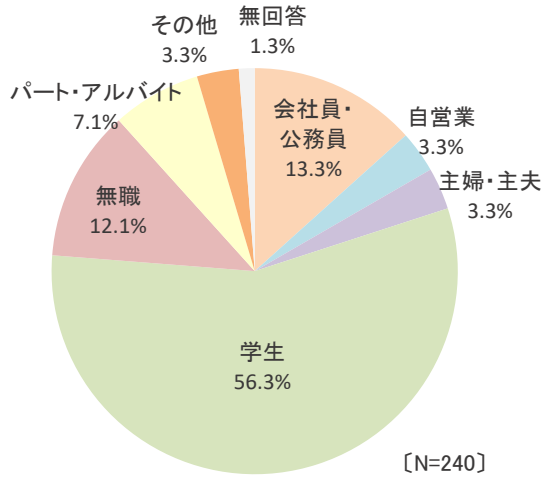
- 小林駅利用者の年齢層は高校生（42.5%）の割合が最も多くなっている。免許保有状況では、全体の約3割は免許を保有しており、高齢者の免許保有状況を見ると53.8%は免許を保有している。
- 西小林駅利用者の年齢層は高校生（40.7%）の割合が最も多くなっている。免許保有状況では、全体の約3割は免許を保有しており、高齢者の免許保有状況を見ると40.0%は免許を保有している。



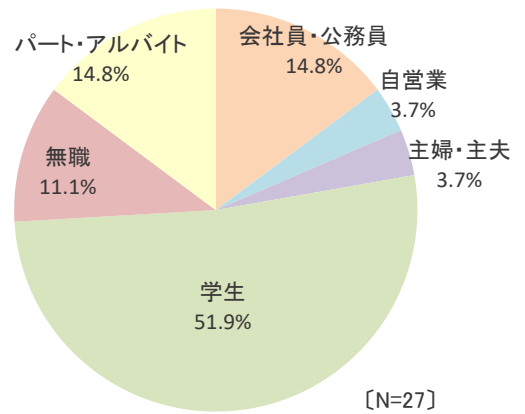
▲ 年齢層【小林駅】



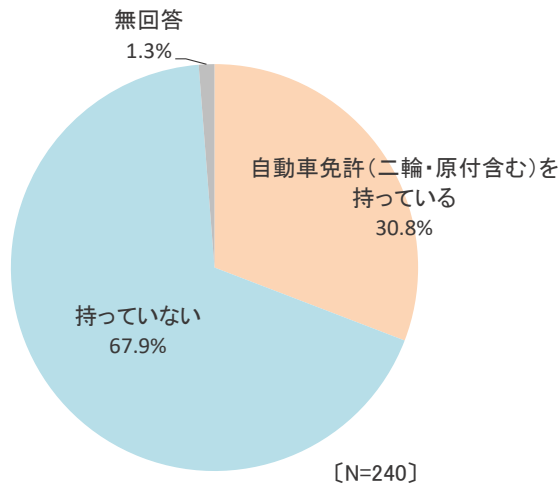
▲ 年齢層【西小林駅】



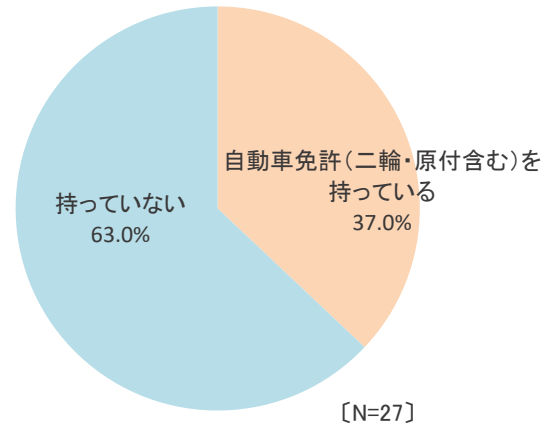
▲ 職業【小林駅】



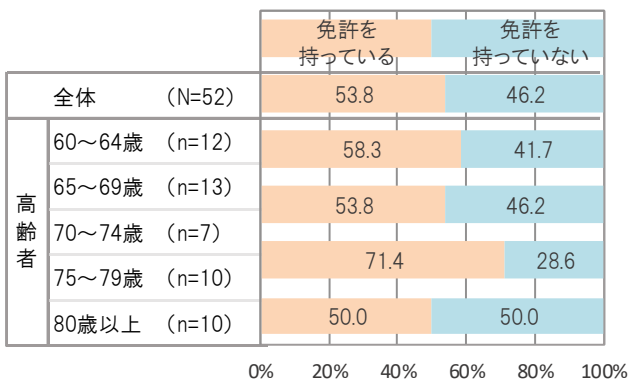
▲ 職業【西小林駅】



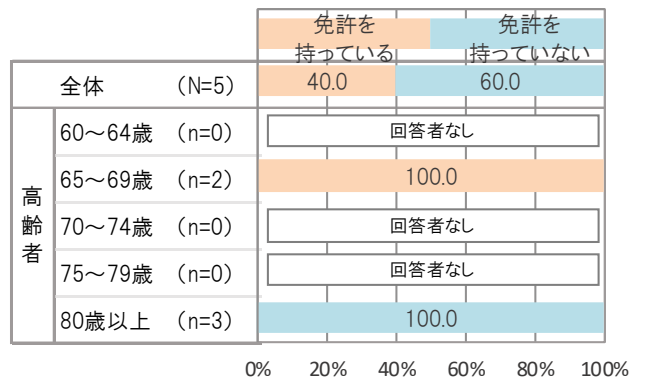
▲ 免許保有状況【小林駅】



▲ 免許保有状況【西小林駅】



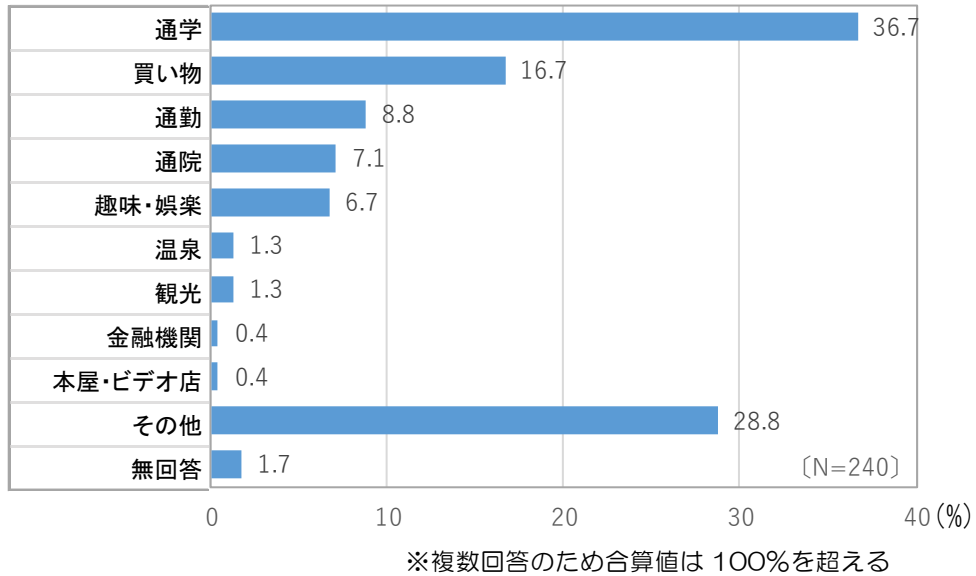
▲ 高齢者の免許保有状況【小林駅】



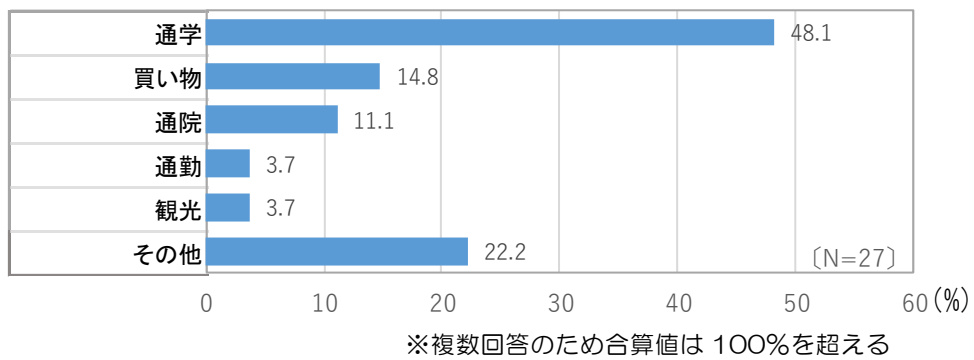
▲ 高齢者の免許保有状況【西小林駅】

(3) 利用者の移動目的

- 小林駅利用者の移動目的は、通学の割合が 36.7%と最も高く、次いで買い物の 16.7%となっている。
- 西小林駅利用者の移動目的は、通学の割合が 48.1%と最も高く、次いで買い物の 14.8%となっている。



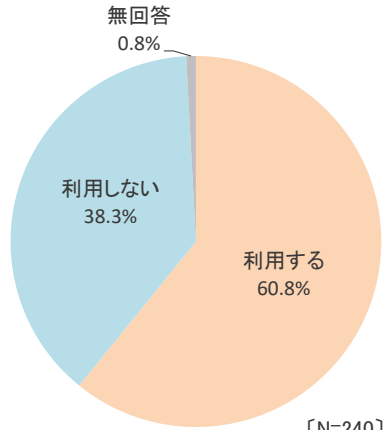
▲ 移動目的【小林駅】



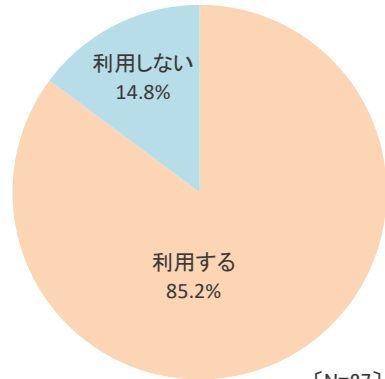
▲ 移動目的【西小林駅】

(4) 鉄道の利用状況・頻度

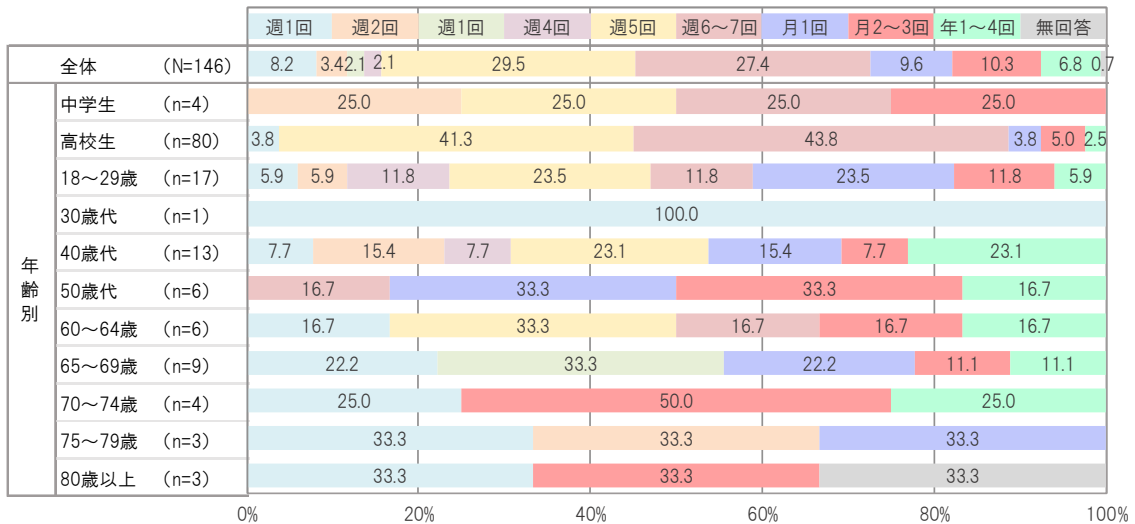
- 小林駅利用者の普段の鉄道利用状況は、60.8%が普段から利用しており、利用頻度は週5回(29.5%)、週6~7回(27.4%)の割合が高くなっている。
- 西小林駅利用者の普段の鉄道利用状況は、85.2%が普段から利用しており、利用頻度は週5回(39.1%)の割合が最も高くなっている。



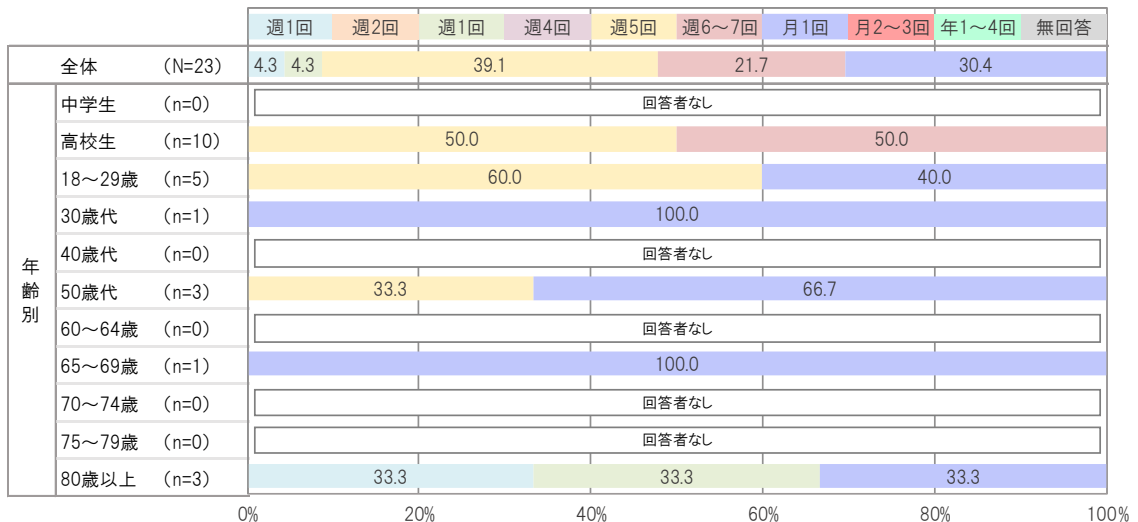
▲ 普段の利用状況【小林駅】



▲ 普段の利用状況【西小林駅】



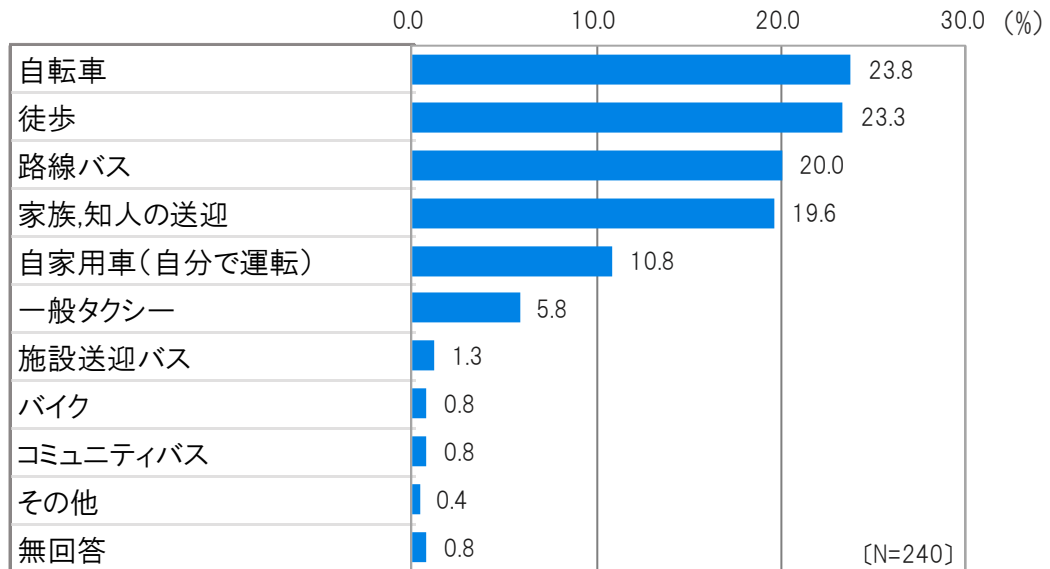
▲ 鉄道の利用頻度【小林駅】



▲ 鉄道の利用頻度【西小林駅】

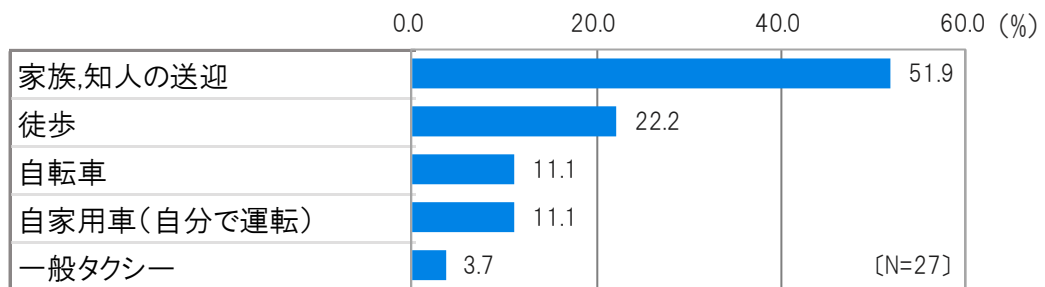
(5) 鉄道の利用パターン

- 小林駅までの（からの）移動手段は、自転車（23.8%）、徒歩（23.3%）、路線バス（20.0%）が多くを占めている。
- 西小林駅までの（からの）移動手段は、家族・知人の送迎（51.9%）が最も多くを占めており、次いで徒歩（22.2%）となっている。



※複数回答のため合算値は100%を超える

▲ 駅までの（からの）移動手段【小林駅】

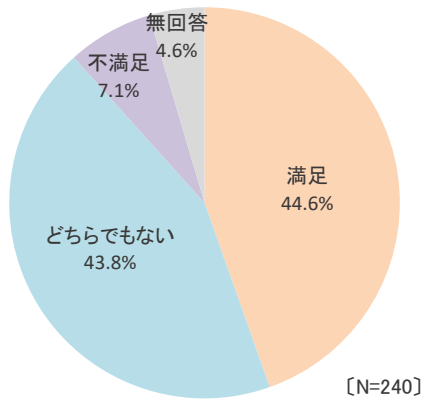


※複数回答のため合算値は100%を超える

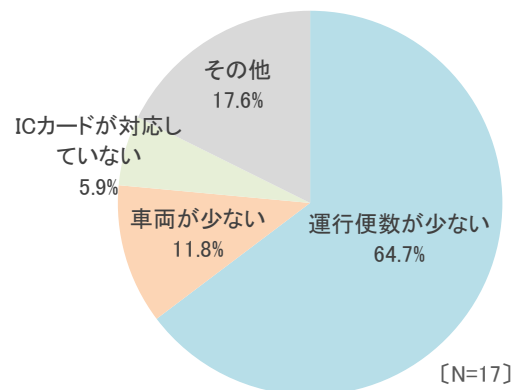
▲ 駅までの（からの）移動手段【西小林駅】

(6) 鉄道・駅利用の満足度

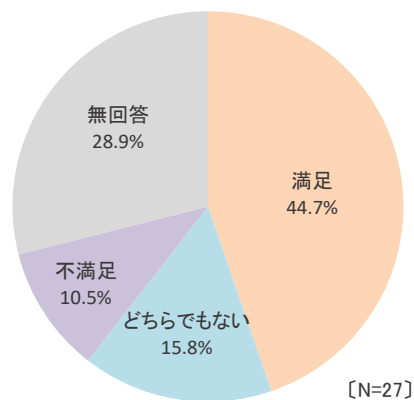
- 小林駅利用者の鉄道・駅の満足度は、44.6%が満足と回答しており、不満足と回答した割合は7.1%となっている。不満足な理由として、運行便数が少ないが全体の約6割を占めている。
- 西小林駅利用者の鉄道・駅の満足度は、44.7%が満足と回答しており、不満足と回答した割合は10.5%となっている。不満足な理由として、運行便数が少ないが全体の5割を占めている。



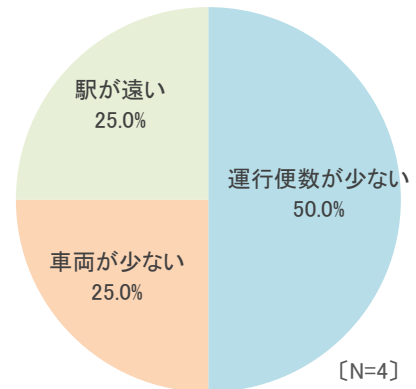
▲ 鉄道・駅利用の満足度【小林駅】



▲ 不満足な理由【小林駅】



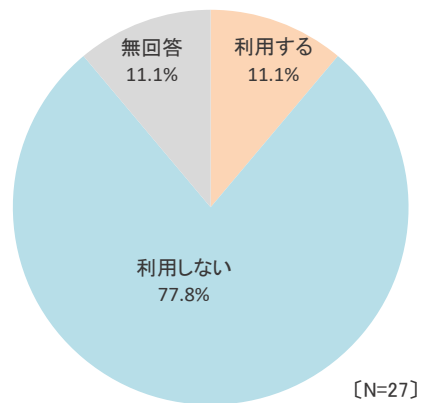
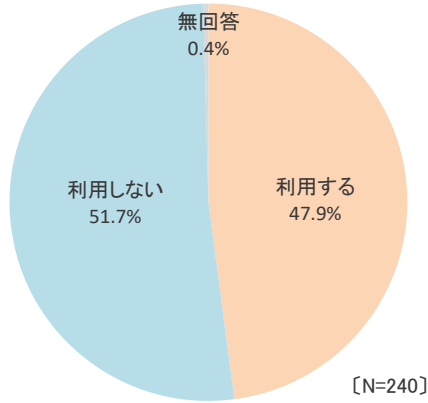
▲ 鉄道・駅利用の満足度【西小林駅】



▲ 不満足な理由【西小林駅】

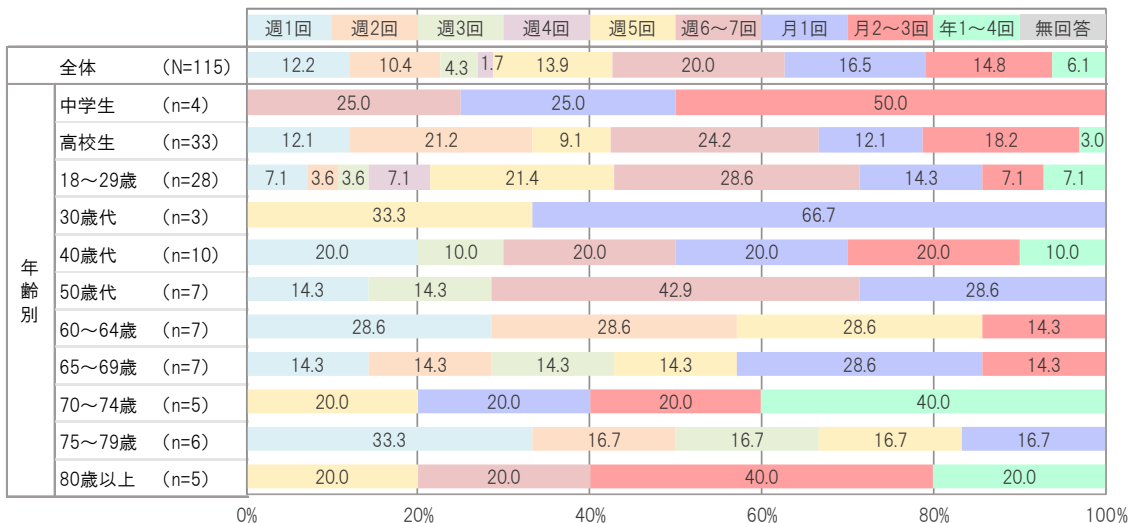
(7) 路線バスの利用状況・利用しない理由

- 小林駅利用者において、普段路線バスを利用することがある方は全体の47.9%となっており、利用頻度は週6~7回(20.0%)の割合が最も多い。
- 西小林駅利用者において、普段路線バスを利用することがある方は全体の11.1%となっており、利用頻度は月1~3回(66.6%)の割合が多い。

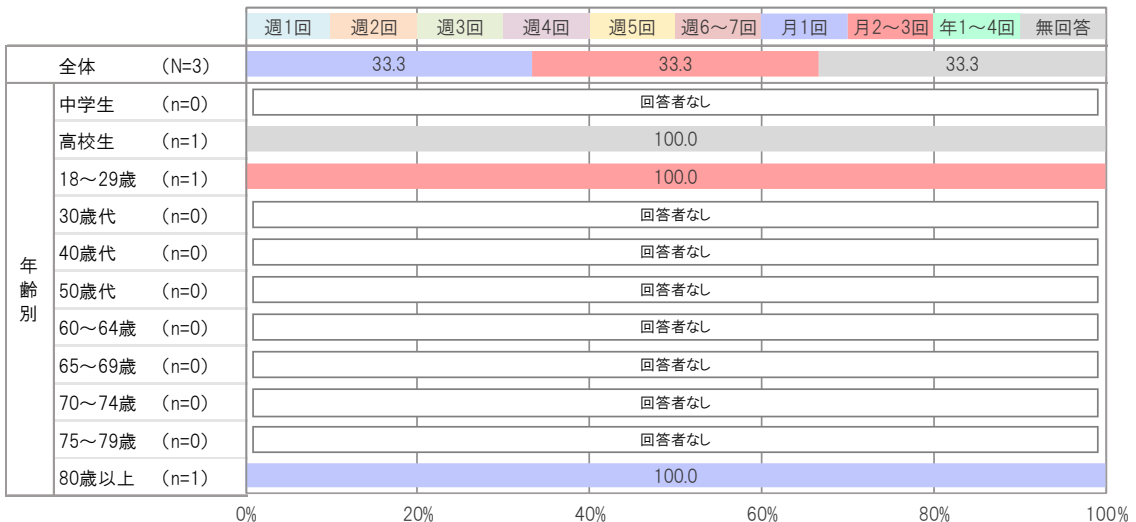


▲ 路線バスの利用状況【小林駅】

▲ 路線バスの利用状況【西小林駅】

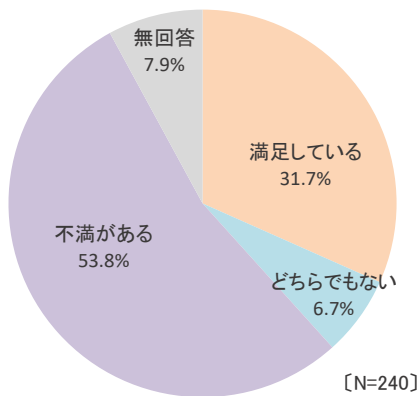


▲ 路線バスの利用頻度【小林駅】

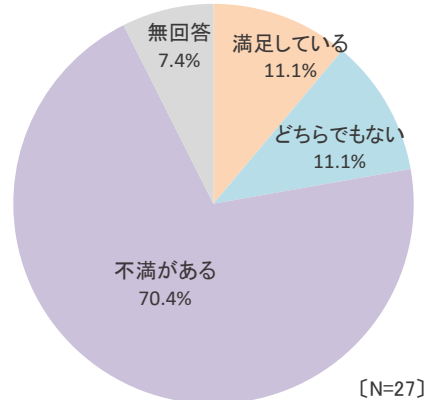


▲ 路線バスの利用頻度【小林駅】

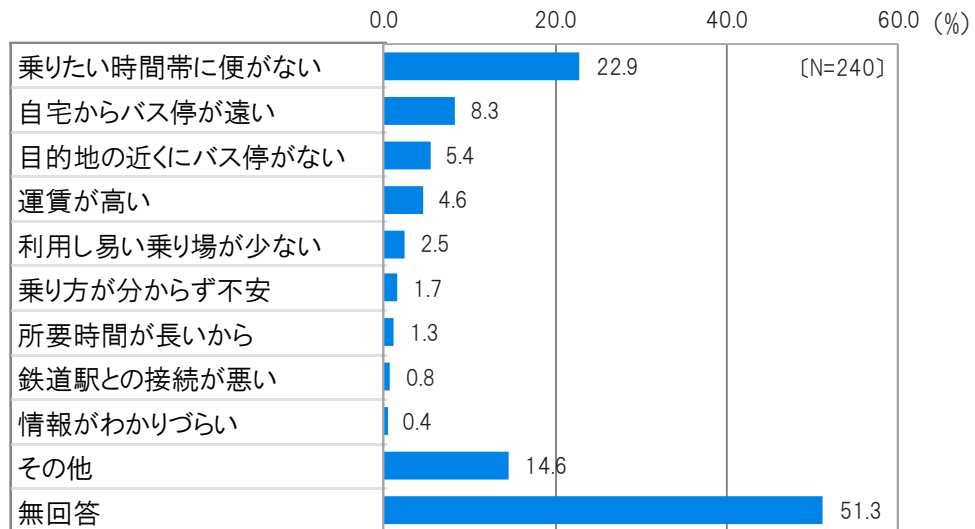
- 小林駅利用者の路線バス評価は、不満がある（53.8%）の割合が最も多く、路線バス利用で困っていること又は利用しない理由では、乗りたい時間帯に便がない（22.9%）が最も多くを占めている。
- 西小林駅の路線バス評価は、不満がある（70.4%）の割合が最も多く、路線バス利用で困っていること又は利用しない理由では、乗りたい時間帯に便がない（37.0%）、自宅からバス停が遠い（33.3%）が多くを占めている。



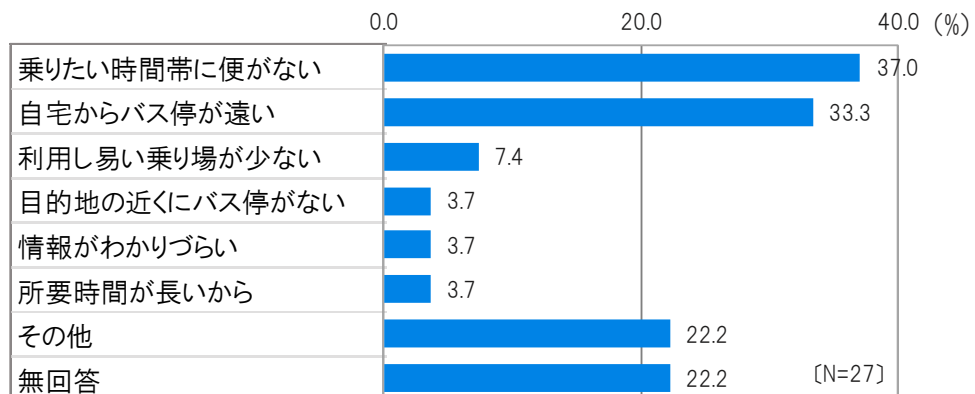
▲ 路線バスの評価【小林駅】



▲ 路線バスの評価【西小林駅】



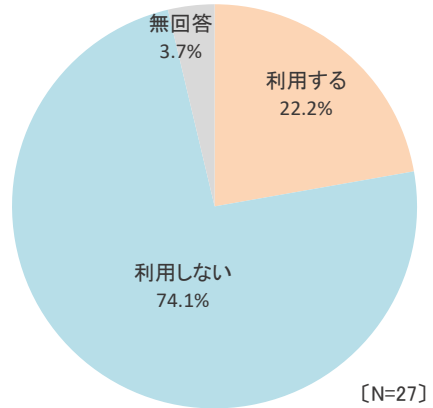
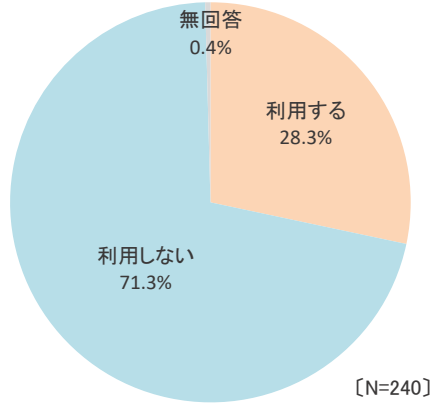
▲ 路線バス利用で困っていること・利用しない理由【小林駅】



▲ 路線バス利用で困っていること・利用しない理由【西小林駅】

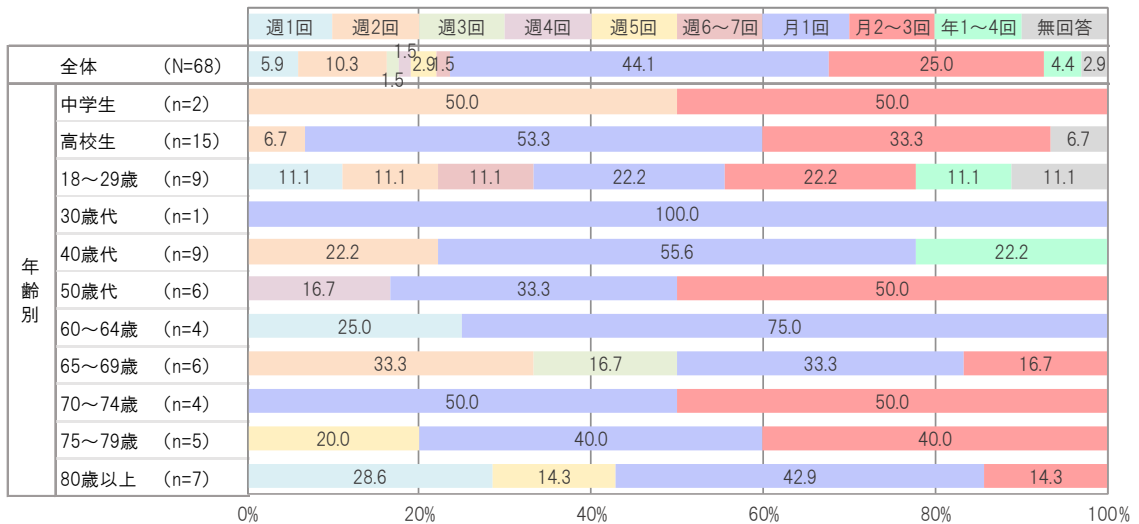
(8) タクシーの利用状況・利用しない理由

- 小林駅利用者において、普段タクシーを利用することがある方は全体の28.3%となっており、利用頻度は月1回(44.1%)の割合が最も多い。
- 西小林駅利用者において、普段タクシーを利用することがある方は全体の22.2%となっており、利用頻度は月1回(66.7%)の割合が最も多い

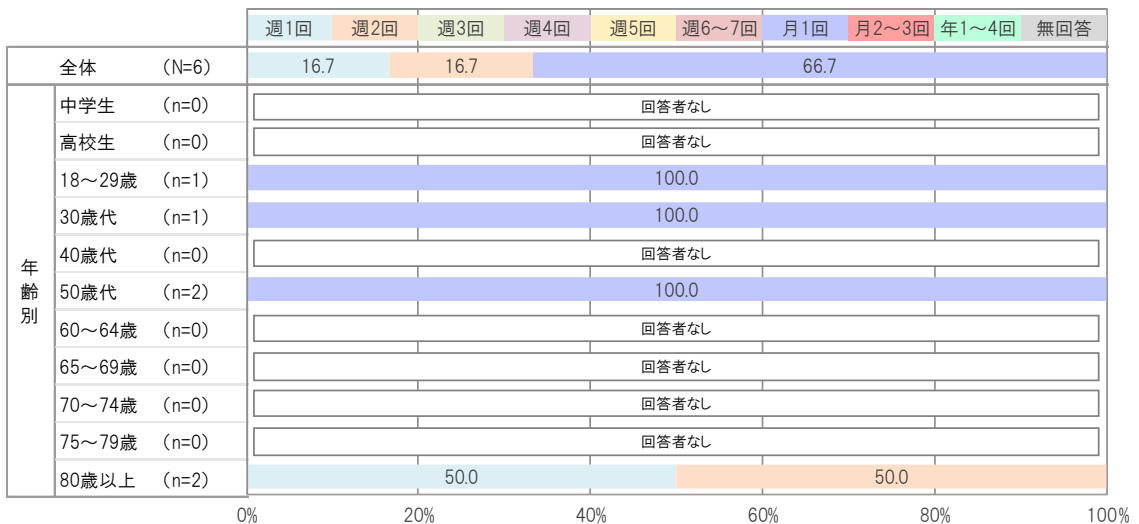


▲ タクシーの利用状況【小林駅】

▲ タクシーの利用状況【西小林駅】

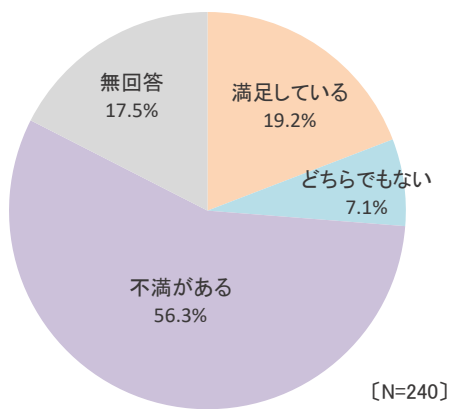


▲ タクシーの利用頻度【小林駅】

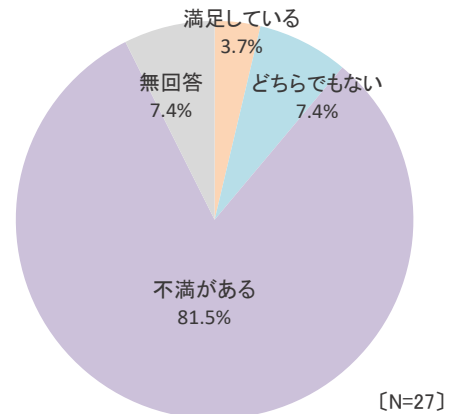


▲ タクシーの利用頻度【西小林駅】

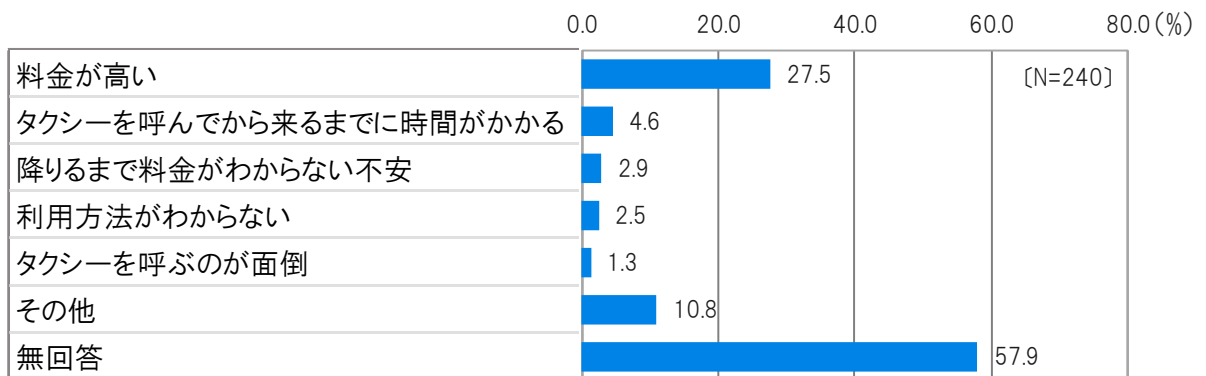
- 小林駅利用者のタクシー評価は、不満がある（56.3%）の割合が最も多く、タクシー利用で困っていること又は利用しない理由では、料金が高い（27.5%）が最も多くを占めている。
- 西小林駅のタクシー評価は、不満がある（81.5%）の割合が最も多く、タクシー利用で困っていること又は利用しない理由では、料金が高い（33.3%）、次いで降りるまで料金がわからない不安（14.8%）となっている。



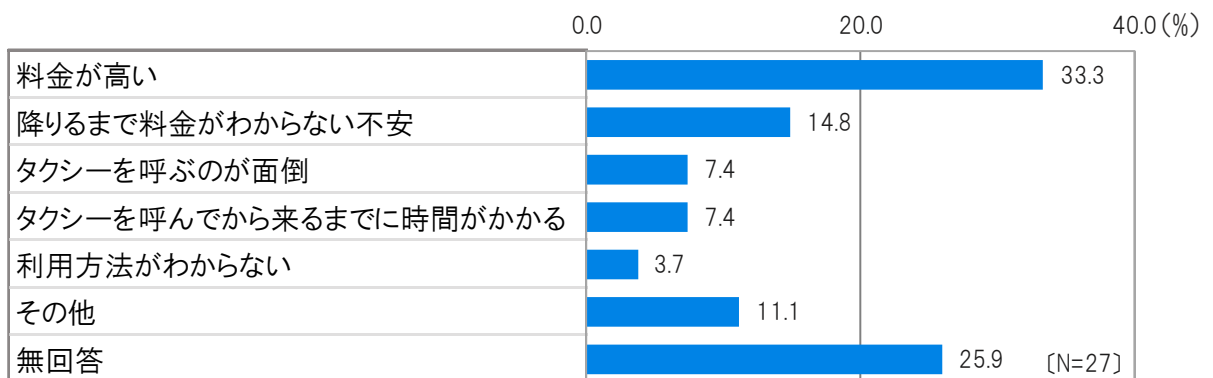
▲ タクシーの満足度【小林駅】



▲ タクシーの満足度【西小林駅】



▲ タクシー利用で困っていること・利用しない理由【小林駅】

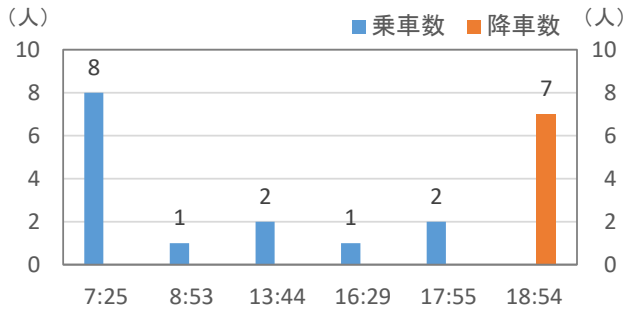


▲ タクシー利用で困っていること・利用しない理由【西小林駅】

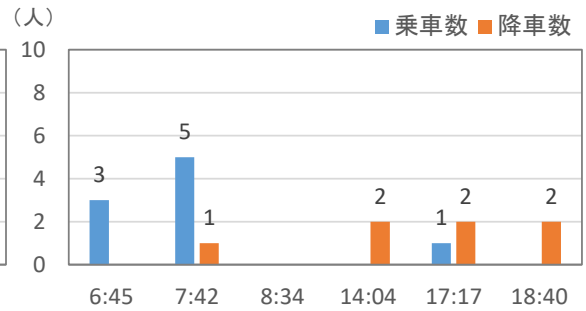
(参考) 西小林駅の利用者数

- 平日における西小林駅の利用者数について、都城方面では 7:25 発の便で乗車数が 8 人と最も多い。吉松方面では 7:42 発の便で乗車数が 5 人と最も多く、学生の通学利用等が想定される。
- 休日における西小林駅の利用者数について、都城方面では 17:55 発の便で乗車数が 4 人と最も多い。吉松方面では 14:04 発の便で乗車数が 2 人と最も多く、買い物等の日常利用が想定される。

〈平日〉

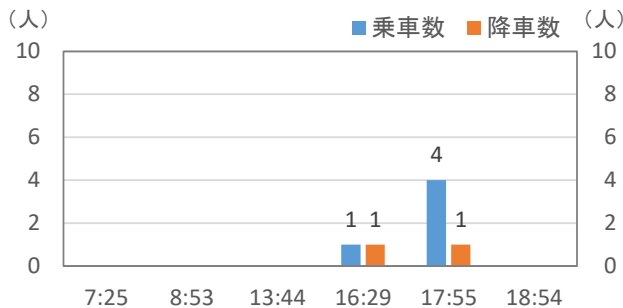


▲ 西小林駅の乗降客数【都城方面】

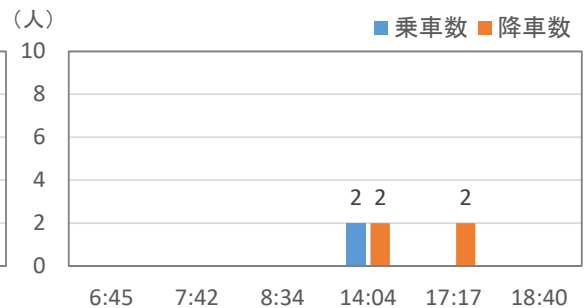


▲ 西小林駅の乗降客数【吉松方面】

〈休日〉



▲ 西小林駅の乗降客数【都城方面】



▲ 西小林駅の乗降客数【吉松方面】

小林市地域公共交通計画策定支援業務

資料編 3 コミュニティバス及び福祉バス
の利用状況・ニーズ

令和 3 年（2021 年）9 月
宮崎県小林市

資料編3 コミュニティバス及び福祉バスの利用状況・ニーズ

3-1 調査の概要

3-1-1 目的

市内の主要な生活路線であるコミュニティバス・福祉バスを対象として、詳細な利用状況や利用者ニーズの把握、現公共交通に関する需要の特定、運行の評価を行うデータを収集するため、調査員の乗り込みによる利用実態・ニーズ把握調査を行った。

3-1-2 調査方法

調査対象： コミュニティバス11路線・福祉バス7路線の全便

調査期間： 令和3年7月8日（木）・7月9日（金）・7月17日（土）
※当初予定の7月10日（土）は荒天のため延期

調査手法： 調査員の乗り込みによるバス停毎の乗降客数のカウント、
インタビュー形式の利用者ヒアリング調査

成果物： 路線別・時間帯別の利用率
（利用が多い区間 / 空バス区間 / 乗・降パターン抽出等）
利用者の特性分析
（年齢/性別/居住地/利用目的・外出施設/頻度/改善の期待など）



▲コミュニティバス（おうらい）の様子



▲福祉バス（野尻・内山地区）の様子

3-1-3 ヒアリング内容

ヒアリング調査票	
<p>下の設問に従って、ご自身にあてはまるものに <input checked="" type="checkbox"/>、または具体的な内容をご記入ください。</p>	
ご自身の事	<p>問1 住所 <input type="checkbox"/>市内〔町丁目名：_____ または 郵便番号：_____〕 <input type="checkbox"/>市外〔_____ 県 _____ 市・町・村〕 ※県内は県名省略</p> <p>問2 職業 <input type="checkbox"/>会社員・公務員 <input type="checkbox"/>自営業 <input type="checkbox"/>主婦・主夫 <input type="checkbox"/>学生 <input type="checkbox"/>無職 <input type="checkbox"/>パート・アルバイト <input type="checkbox"/>その他〔内容：_____〕</p> <p>問3 免許 <input type="checkbox"/>自動車免許（二輪・原付含む）を持っている <input type="checkbox"/>持っていない</p>
本日の外出	<p>問4 本日出した目的は何ですか（あてはまるものすべてに <input checked="" type="checkbox"/> を記入）。 <input type="checkbox"/>買い物 <input type="checkbox"/>通院 <input type="checkbox"/>役場 <input type="checkbox"/>温泉 <input type="checkbox"/>通学 <input type="checkbox"/>通勤 <input type="checkbox"/>趣味・娯楽 <input type="checkbox"/>金融機関 <input type="checkbox"/>本屋・ビデオ店 <input type="checkbox"/>その他〔内容：_____〕</p> <p>問5 本日出する具体的な目的地はどちらですか。〔施設名：_____〕</p>
バス等の利用	<p>問6 普段、このバスをどれくらいの頻度で利用しますか。〔週・月 _____ 日程度〕</p> <p>問7 本日まで利用される移動手段はどれですか（利用する（した）ものすべてに <input checked="" type="checkbox"/> を記入）。 <input type="checkbox"/>徒歩 <input type="checkbox"/>シニアカー <input type="checkbox"/>自転車 <input type="checkbox"/>バイク <input type="checkbox"/>自家用車（自分で運転） <input type="checkbox"/>家族、知人の送迎 <input type="checkbox"/>鉄道（JR） <input type="checkbox"/>路線バス〔宮崎交通〕 <input type="checkbox"/>施設送迎バス〔施設：_____〕 <input type="checkbox"/>一般タクシー <input type="checkbox"/>その他〔_____〕</p> <p>問8 このバスの運行内容には、ご満足いただけていますか。 ●運行ルート・行き先 <input type="checkbox"/>満足 <input type="checkbox"/>普通 <input type="checkbox"/>不満足〔理由：_____〕 ●運行本数（便数） <input type="checkbox"/>満足 <input type="checkbox"/>普通 <input type="checkbox"/>不満足〔理由：_____〕 ●運行時間帯 <input type="checkbox"/>満足 <input type="checkbox"/>普通 <input type="checkbox"/>不満足〔理由：_____〕 ●バス停の待合環境 <input type="checkbox"/>満足 <input type="checkbox"/>普通 <input type="checkbox"/>不満足〔理由：_____〕 ●車両（大きさ、乗り心地） <input type="checkbox"/>満足 <input type="checkbox"/>普通 <input type="checkbox"/>不満足〔理由：_____〕 ●情報の分かりやすさ <input type="checkbox"/>満足 <input type="checkbox"/>普通 <input type="checkbox"/>不満足〔理由：_____〕</p> <p>問9 このバスに改善を期待することはありますか（あてはまるものすべてに <input checked="" type="checkbox"/> を記入）。 <input type="checkbox"/>運行本数を増やしてほしい <input type="checkbox"/>駅との接続を良くして欲しい <input type="checkbox"/>待ちやすい乗り場の改善 <input type="checkbox"/>乗り降りしやすい車両の確保 <input type="checkbox"/>路線バスと乗継ぎし易いダイヤ <input type="checkbox"/>わかりやすい情報提供 <input type="checkbox"/>停留所以外での自由な乗降 <input type="checkbox"/>温泉等の娯楽施設に行けるバス <input type="checkbox"/>乗り場近くの駐輪場の充実 <input type="checkbox"/>その他〔_____〕</p>
タクシー利用	<p>問10 普段タクシーを利用する事はありますか。 <input type="checkbox"/>ある〔週・月 _____ 日程度〕 <input type="checkbox"/>ない</p> <p>問 タクシー利用で困っていること、又は利用しない理由は何ですか（あてはまるものすべてに <input checked="" type="checkbox"/>）。 <input type="checkbox"/>タクシーを呼ぶのが面倒だから <input type="checkbox"/>タクシーを呼んでから来るまでに時間がかかる <input type="checkbox"/>降りるまで料金がわからない不安 <input type="checkbox"/>料金が安い <input type="checkbox"/>利用方法がわからない <input type="checkbox"/>その他〔_____〕</p>
鉄道利用	<p>問11 普段、鉄道（JR）を利用する事はありますか。 <input type="checkbox"/>ある〔_____ 駅 / 週・月 _____ 日程度〕 <input type="checkbox"/>ない</p> <p>問 鉄道利用で困っていること、又は利用しない理由は何ですか（あてはまるものすべてに <input checked="" type="checkbox"/>）。 <input type="checkbox"/>自宅から駅までが遠い <input type="checkbox"/>目的地が駅から遠い <input type="checkbox"/>鉄道の運行本数が少ない <input type="checkbox"/>運賃が高い <input type="checkbox"/>所要時間が長いから <input type="checkbox"/>バスと鉄道の接続が悪い <input type="checkbox"/>鉄道を使うような移動目的がない <input type="checkbox"/>その他〔_____〕</p>
<p>----- ご協力ありがとうございました。その他、ご意見があればご記入ください。 -----</p> <div style="border: 1px dashed black; height: 50px; width: 100%;"></div>	

3-1-4 調査結果についての注意点

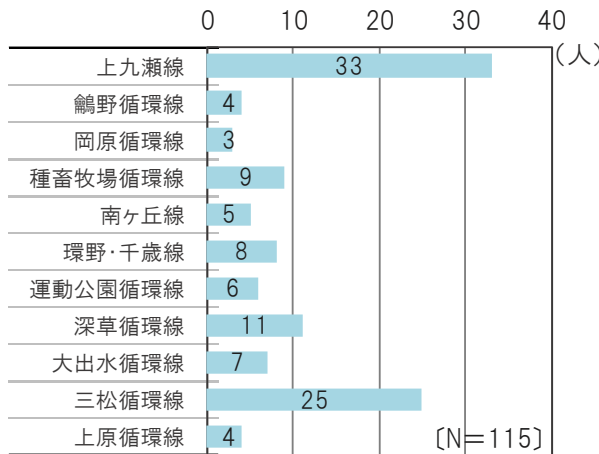
○各項目に示す調査結果は、グラフ内の回答割合は**小数点第一位で表示（四捨五入）**しており、**合計値が100.0%と一致しないものがある**（0.1%の表示上の誤差）。

3-2 ヒアリング結果

3-2-1 各路線の利用者数

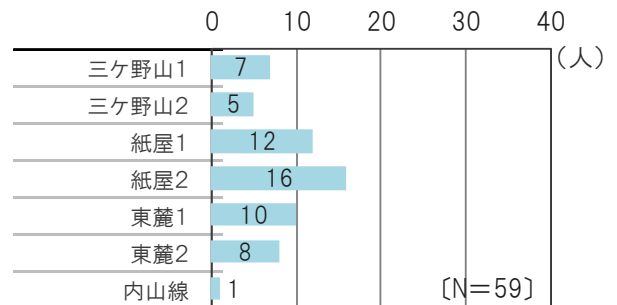
○コミュニティバスでは、「上九瀬線」や「三松循環線」の利用者数が多く、バス停別は各路線が集まる「小林駅」を中心に、「前原病院前」「小林原」の利用が多い。
○福祉バスでは、「紙屋2」や「紙屋1」の利用者数が多く、バス停別は野尻地区の中心である「野尻庁舎」「ゆーぱるのじり」の利用が多い。

■コミュニティバス（おうらい）

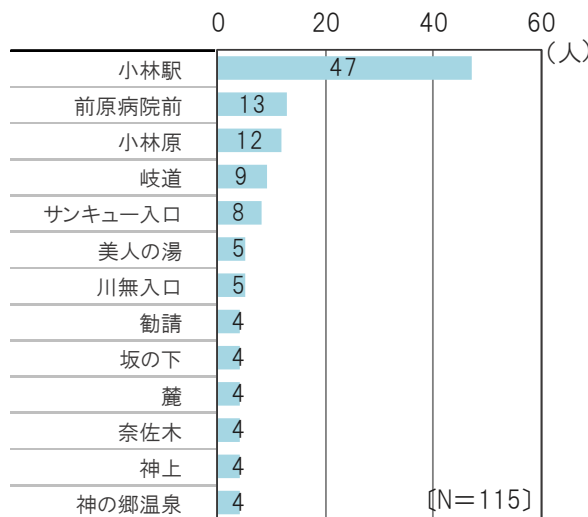


▲路線別利用者数【コミバス】

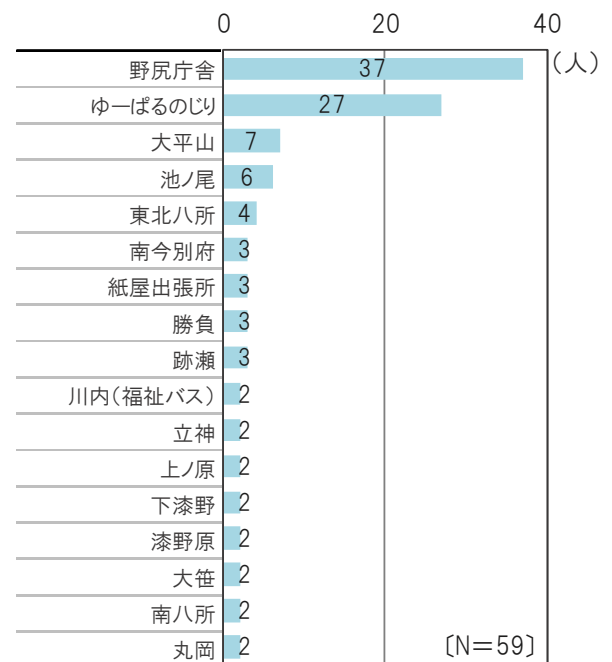
■福祉バス（野尻・内山地区）



▲路線別利用者数【福祉バス】



▲バス停別利用者数【コミバス】

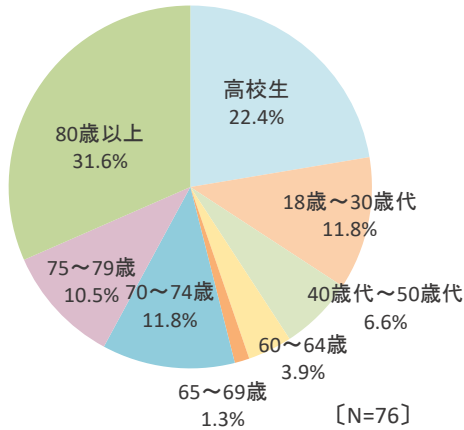


▲バス停別利用者数【福祉バス】

3-2-2 利用者の特徴

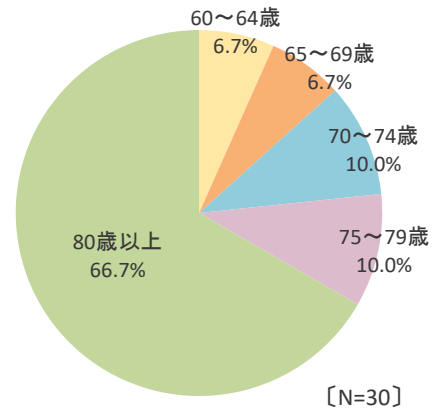
○コミュニティバスは、一部の路線（上九瀬線、三松循環線）で高校生や18歳～30歳代等の若い年代が利用し、その他路線は60歳代以上の高齢者を中心に利用される。
 ○福祉バスは、全ての利用者が60歳代以上の高齢者となっている。
 ○両バスに共通して、運転免許を持っていない方が利用者となっている（8割以上）。

■コミュニティバス（おうらい）

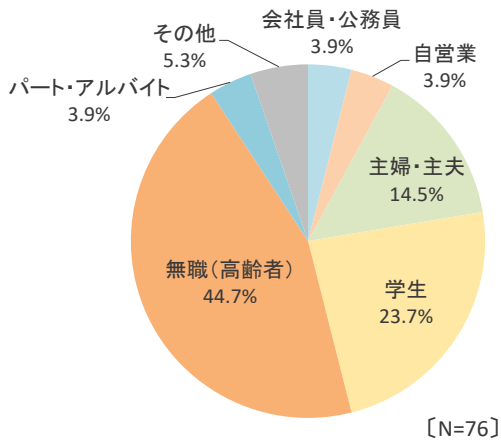


▲年齢層【コミバス】

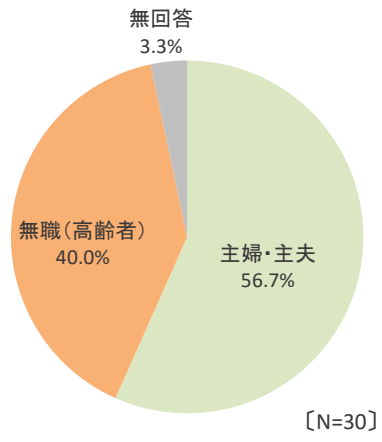
■福祉バス（野尻・内山地区）



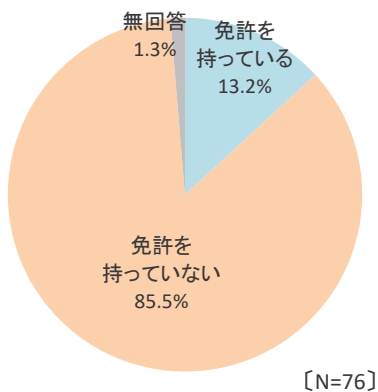
▲年齢層【福祉バス】



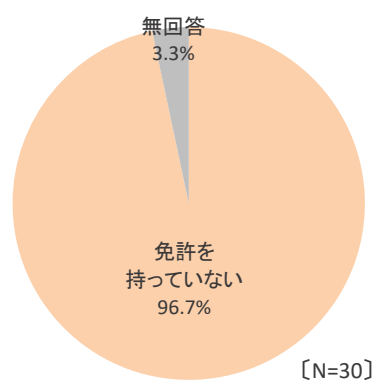
▲職業【コミバス】



▲職業【福祉バス】



▲免許保有状況【コミバス】

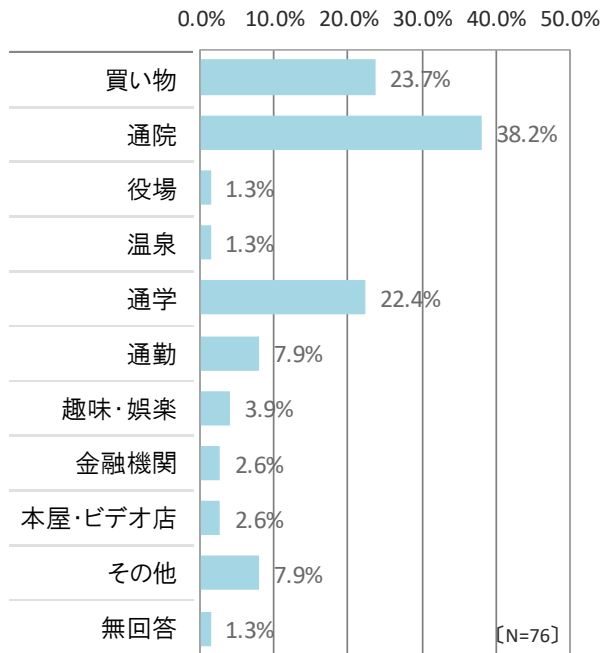


▲免許保有状況【福祉バス】

3-2-3 利用者の移動目的

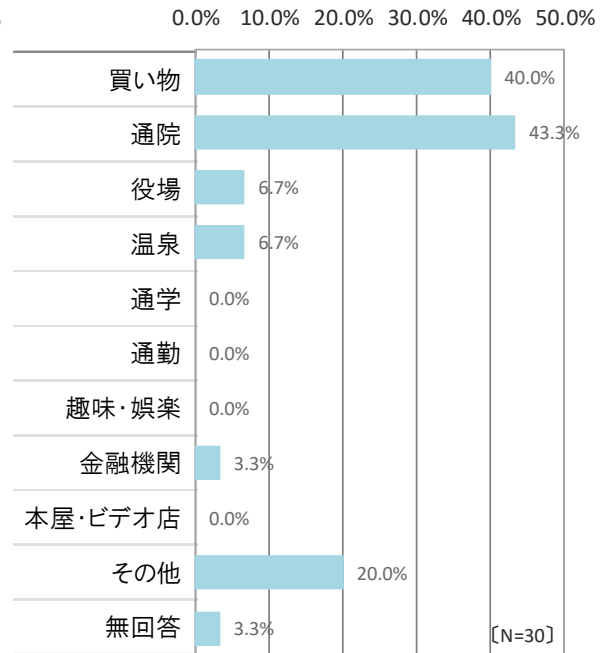
○コミュニティバスは、「通院」と「買い物」が多く、行き先は前原病院やサンキュー小林店、園田病院、ダイレックス等への移動が多くなっている。
 (上九瀬線は、小林秀峰高校、小林西高校、小林高校などの通学利用がある)
 ○福祉バス、「通院」と「買い物」が多く、行き先は押川病院や希望の店、野尻中央病院、農協、ゆ〜ぱるのじり、コメリ等への移動が多くなっている。

■コミュニティバス（おうらい）



▲移動の目的【コミバス】

■福祉バス（野尻・内山地区）



▲移動の目的【福祉バス】

※複数回答のため合算値は100%を超える

▼目的施設（上位）【コミバス】

施設名		票数	
店舗・飲食	サンキュー小林店	4	11
	ダイレックス	3	
	ケンタッキーフライドチキン	2	
	トライアル	2	
病院	前原病院	7	18
	園田病院	3	
	宮崎医院	2	
	小林泌尿器科クリニック	2	
	立山整形外科医院	2	
	池井病院	2	
高校	小林秀峰高校	7	15
	高校（学校不明）	4	
	小林西高校	2	
	小林高校	2	
その他	ひなもり園	2	4
	あさひの里	2	

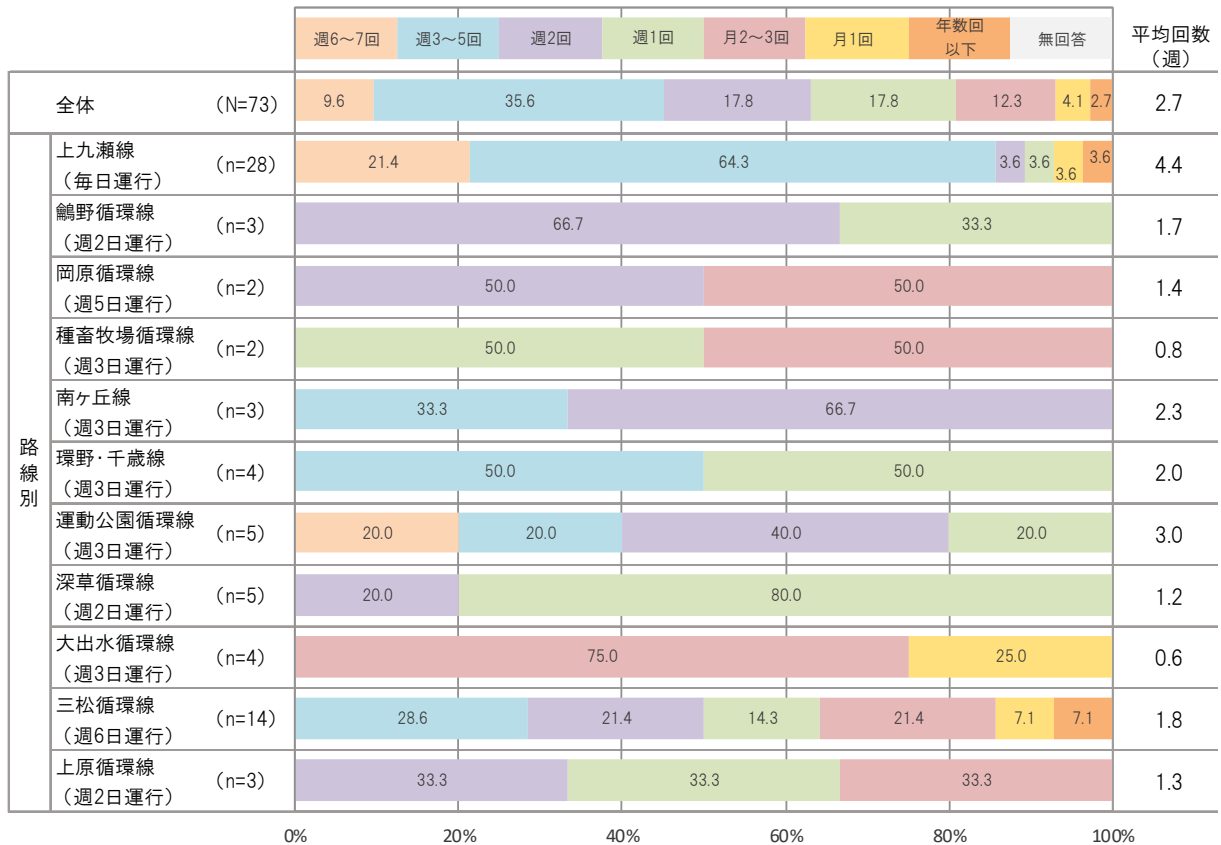
▼目的施設（全）【福祉バス】

施設名		票数	
店舗・飲食	希望の店	7	14
	ゆ〜ぱるのじり	3	
	コメリ	3	
	ダイレックス	1	
病院	押川病院	8	14
	野尻中央病院	4	
	高崎皮膚科医院	1	
	県立病院	1	
役所・金融	野尻庁舎	2	4
	宮崎銀行野尻出張所	1	
その他	郵便局	1	4
	農協	3	
	墓参り（川内共同墓地）	1	

3-2-4 バスの利用頻度

■コミュニティバス（おうらい）

○コミュニティバスは、全体の週あたり平均回数が2.7回、高校生利用のある上九瀬線のほか、運動公園循環線、南ヶ丘線、環野・千歳線の利用頻度が高くなっている。
 ○上九瀬線や鷺野循環線、南ヶ丘線などの一部の路線では、運行日に毎回利用する固定客層が確認できる（運動公園循環線は他路線を含め毎日利用する方が存在）。



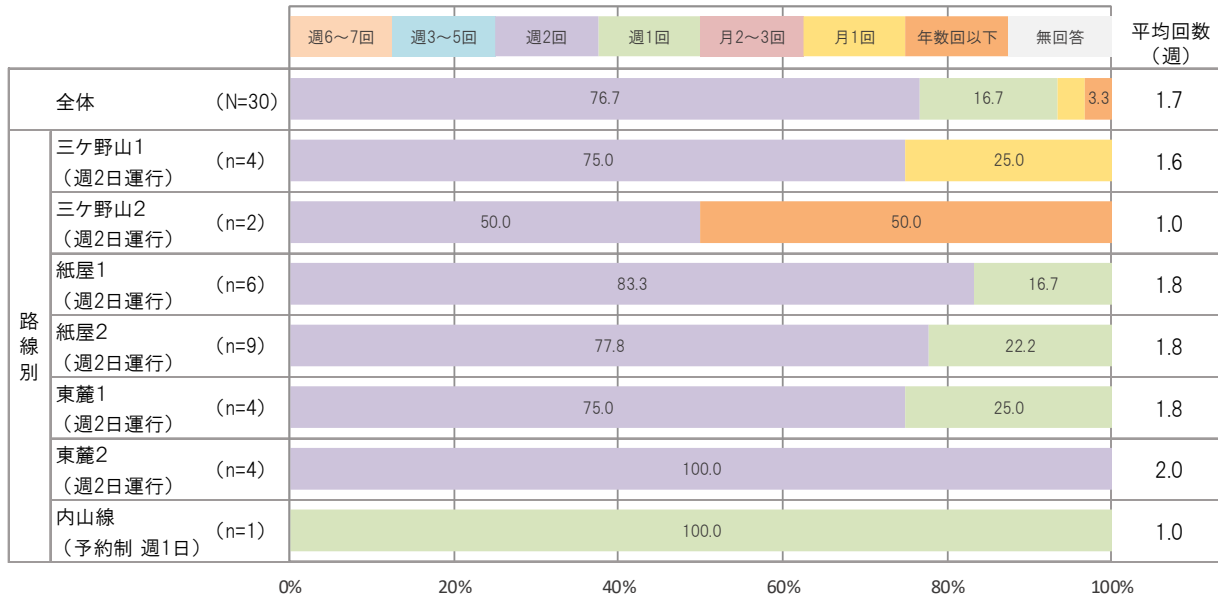
▲バスの利用頻度【コミバス】

(参考) コミュニティバス各路線の運行状況

施設名	運行日数	便数	曜日・運休
上九瀬線	毎日運行	10 便/日	月曜～日曜 (日祝は6 便/日)
鷺野循環線	週2 日運行	2 便/日	毎週月曜・木曜 (祝日運休)
岡原循環線	週5 日運行	3 便/日	月曜～金曜 (土日祝運休)
種畜牧場循環線	週3 日運行	3 便/日	月・木・土 (祝日運休)
南ヶ丘線	週3 日運行	6 便/日	火曜・木曜・土曜 (祝日運休)
環野・千歳線	週3 日運行	6 便/日	月曜・水曜・金曜 (祝日運休)
運動公園循環線	週3 日運行	3 便/日	月曜・水曜・金曜 (祝日運休)
深草循環線	週2 日運行	2 便/日	火曜・木曜 (祝日運休)
大出水循環線	週3 日運行	2 便/日	月曜・水曜・金曜 (祝日運休)
三松循環線	週6 日運行	6 便/日	月曜～土曜 (祝日運休) ※月曜・水曜・金曜は5 便/日
上原循環線	週2 日運行	2 便/日	火曜・木曜 (祝日運休)

■福祉バス（野尻・内山地区）

○福祉バスは、全体の週当たり平均回数が1.7回、いずれの路線の利用者も利用頻度は同等で、週2回利用する方の割合が高い。
 ○内山線の週1回利用者を含め、ほとんどが運行日に毎回利用する固定客層である。



▲バスの利用頻度【福祉バス】

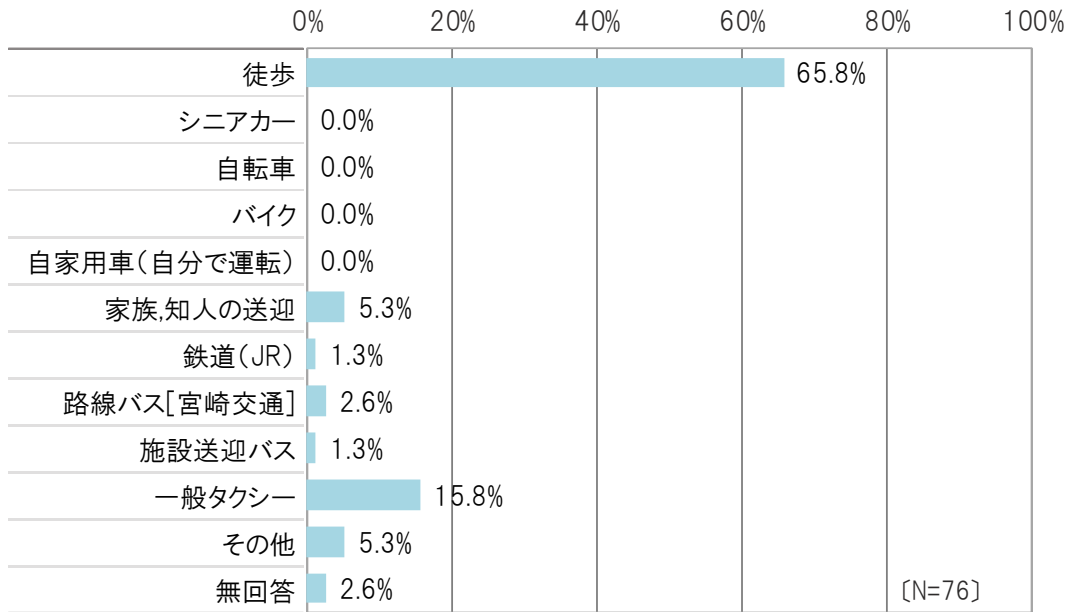
(参考) 福祉バス各路線の運行状況

施設名	運行日数	便数	曜日・運休
三ヶ野山① (東柿川内行き)	週2日運行	4便/日	水曜・土曜 (祝日運休)
三ヶ野山② (西原行き)	週2日運行	4便/日	月曜・木曜 (祝日運休)
紙屋① (東新村行き)	週2日運行	4便/日	火曜・金曜 (祝日運休)
紙屋② (南今別府行き)	週2日運行	4便/日	月曜・木曜 (祝日運休)
東麓① (大平山行き)	週2日運行	4便/日	火曜・金曜 (祝日運休)
東麓② (丸岡行き)	週2日運行	4便/日	水曜・土曜 (祝日運休)
内山線	週1日運行	2便/日	金曜 (祝日は翌土曜に振替)

3-2-5 バスの利用パターン

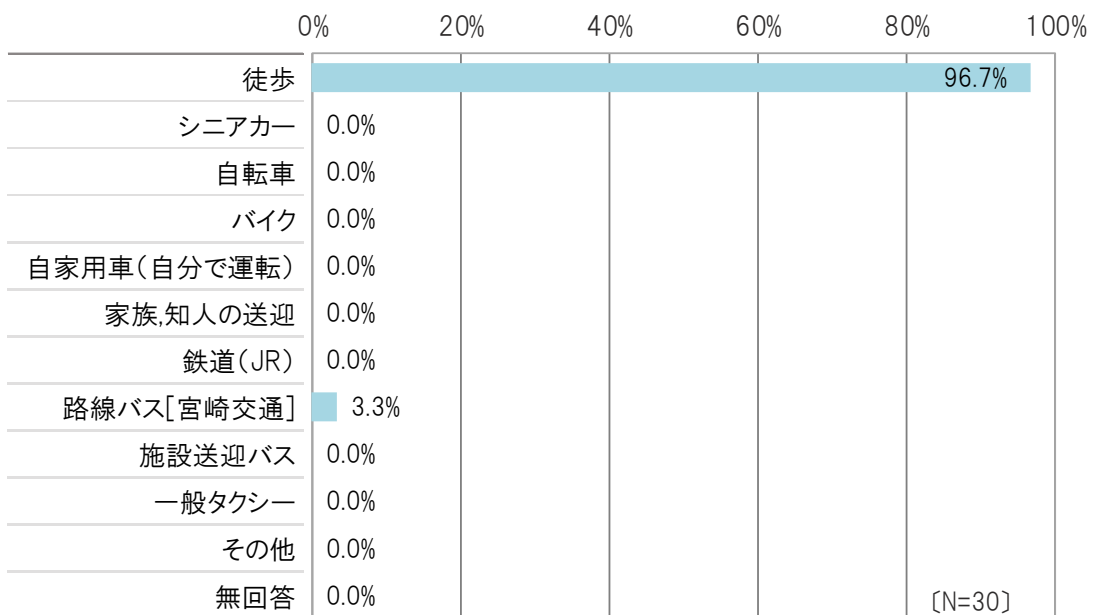
○コミュニティバスは、徒歩圏内にバスが運行する方の利用が多く、一部の利用者は、行きはコミュニティバス、帰りは家族等の送迎・一般タクシーを利用している。
○福祉バスは、ほぼ全ての方が徒歩圏内にバスが運行する方に利用者が限定されている。

■コミュニティバス（おうらい）



▲当日利用した交通手段（複数選択）【コミバス】

■福祉バス（野尻・内山地区）

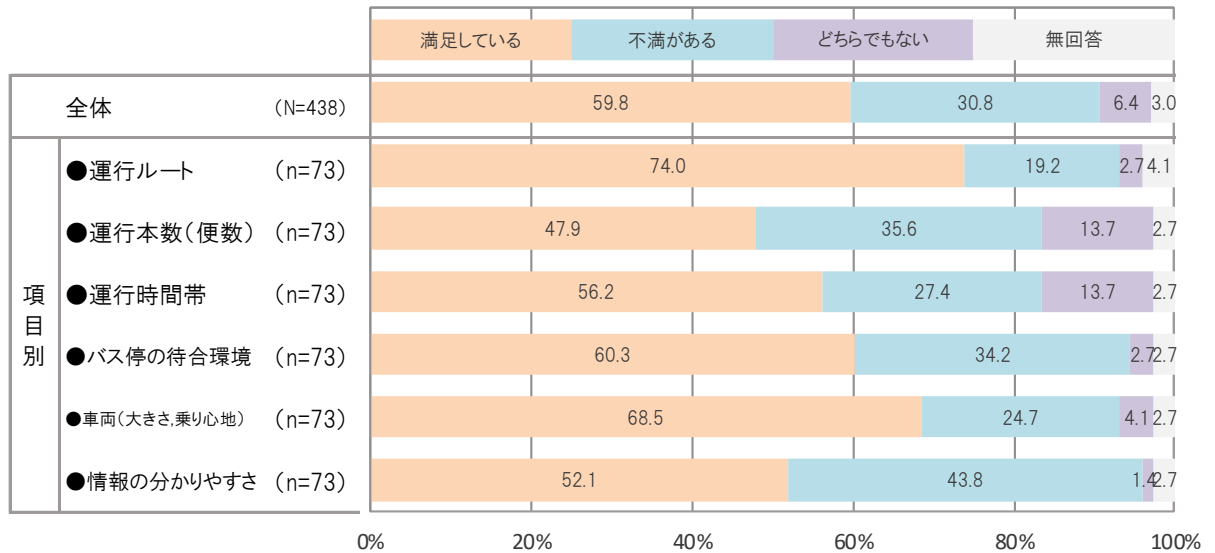


▲当日利用した交通手段（複数選択）【福祉バス】

3-2-6 運行内容の満足度

○コミュニティバスは、「満足している」が全体の約6割で、助かっている等の意見が寄せられる一方、情報のわかりやすさ、運行本数（便数）や時間帯、バス停の待合環境等については一部の不満足意見が確認される。

■コミュニティバス（おうらい）



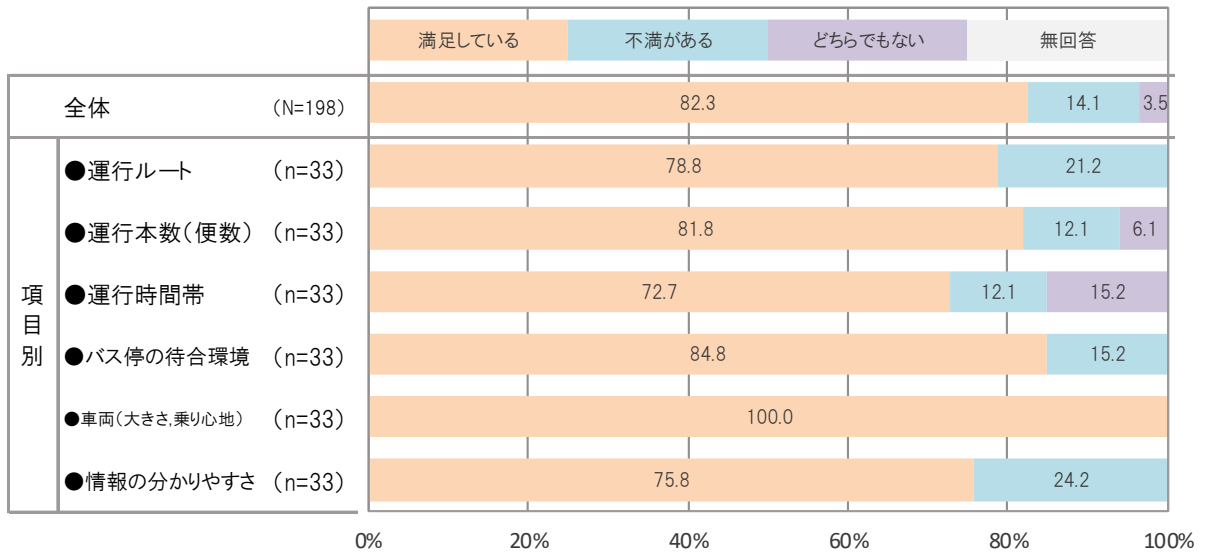
▲バスの満足度【コミバス】

▼不満足の原因（抜粋）【コミバス】

項目	不満足意見	路線名
情報の わかり やすさ	来たのか、遅れているのかわからない。	深草循環線
	遅れた時にわからない。本数が少なくどうしようかと思う。	深草循環線
	具体的な行先がわかりにくい。	三松循環線
	以前、違う形のバスが来た時に悩んだ。	上九瀬線
運行 本数 ・ 時間帯	曜日を増やしてほしい。	深草循環線
	利用者が少ないので、合わせるしかないと思っている。	深草循環線
	本当はもう少しほしい（昼前の時間）。	深草循環線
	なかなか合わない。16時以降があればいい。	三松循環線
	9時30分から昼の間に1便あったらいい。	三松循環線
	10時台の便を増やしてほしい。	上九瀬線
	上九瀬の8時～13時の間がない。	上九瀬線
	JRに合った時間にしてほしい。	上九瀬線
	部活の関係で、夜もう1本遅い便があると有り難い。	上九瀬線
	20時台の便をつくってほしい。	上九瀬線
	昼からの本数があるといい（小林からの便）。	運動公園循環線
	運行本数を増やしてほしい（せめて午後も）。	大出水循環線
多くなることを希望する。	種畜牧場循環線	
バス停	バス停が遠い。	三松循環線
	ホームセンターやまさきにあってほしい。	三松循環線
	屋根があるといい。小屋が壊れている。	上九瀬線

■福祉バス（野尻・内山地区）

○福祉バスは、「満足している」が全体の約8割で、行きたい所に行ける、助かっている等の意見が寄せられる。一部の利用者は、運行本数（便数）や時間帯について不満足意見が確認される。



▲バスの満足度【福祉バス】

▼不満足の原因【福祉バス】

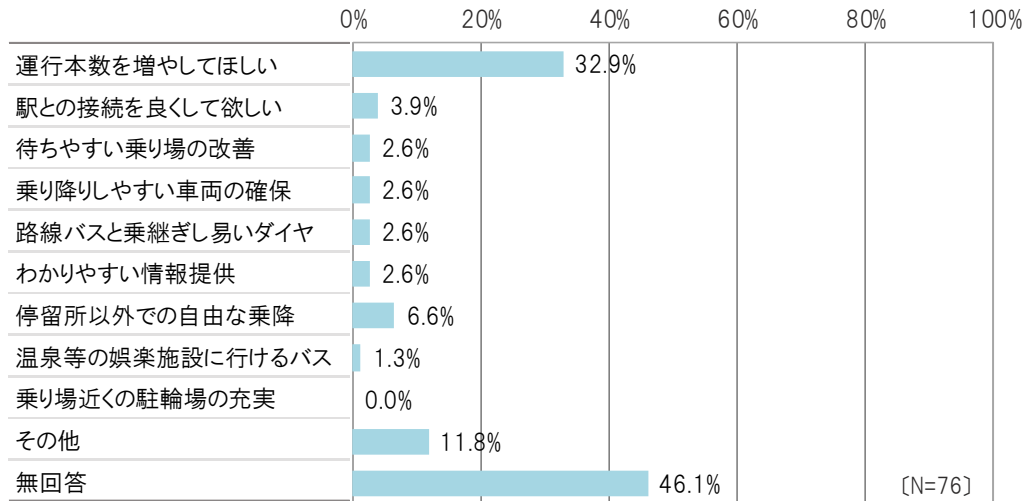
項目	不満足意見	路線名
情報	(理由は無回答)	-
ルート	(理由は無回答)	-
バス停	(理由は無回答)	-
運行本数・時間帯	増やしてほしい。1日中走ってほしい。	三ヶ野山1
	もっと早い時間帯があるといい。	三ヶ野山2
	バスの時間がきちんと来ない。	紙屋2
	小林駅まで行く遅い便があるといい。	東麓2
	待ち時間を短くしてほしい。冬は寒い。	内山線

▼その他寄せられている意見【福祉バス】

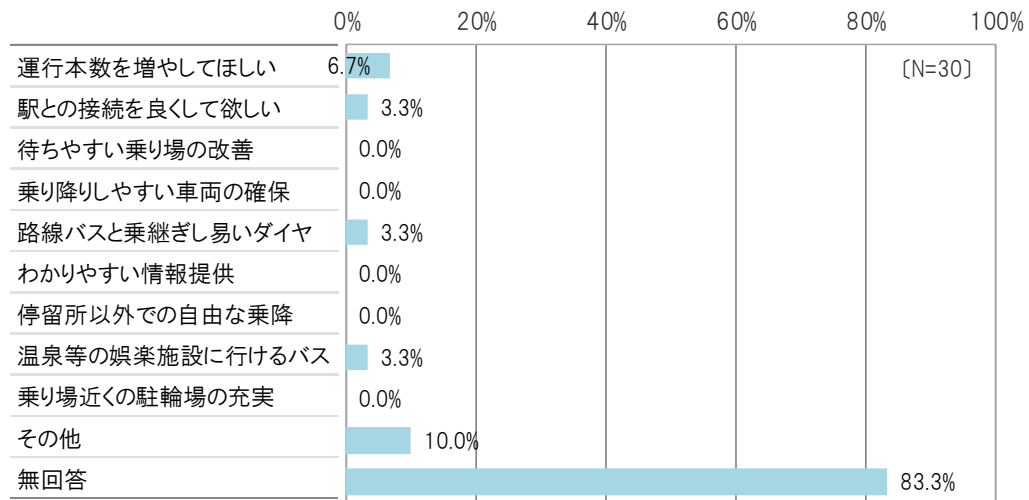
項目	意見内容	路線名
満足意見	行きたい所に行ける。	東麓2
	とても運転手が親切で全部満足。助かっている。	三ヶ野山1
	何も困っていない。	東麓2
	バス停にはベンチもあって良い。	三ヶ野山2
	バス停が自宅から近い。	紙屋2他 多数
	車もきれいで乗り心地がいい。	東麓2

3-2-7 改善を期待する内容

○コミュニティバスは、改善内容の回答がない方は約5割であるが、その他では運行本数の増便が多く、上九瀬線は駅との接続向上等の意見が挙げられている。
 ○福祉バスは、改善期待の回答がない方は約8割で、その他では運行本数の増便等について一部から意見が挙げられている。



▲バスに改善を期待する内容【コミバス】



▲バスに改善を期待する内容【福祉バス】

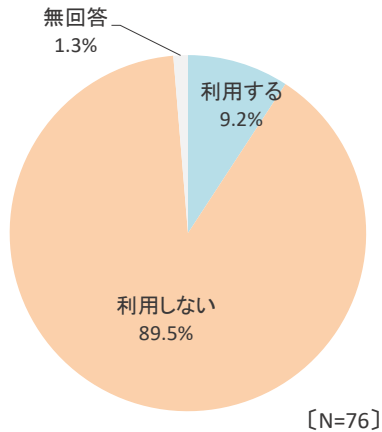
▼その他意見の内容【コミバス・福祉バス】

項目	意見内容	路線名
その他意見	せめて11時頃に1本だけ増やしてほしい。	深草循環線
	運行ルートの変更	三松循環線
	乗る人がたくさん増えると改善できると思う。ただ、利用者の数を考えると現状のままだと思う。	上原循環線
	サンキューまでであるといい。	上九瀬線
	帰りのバス車両の大きさをもう少し大きいバスにしてほしい。	上九瀬線
	女性の運転手の運転が怖い。	南ヶ丘線
	いつでも乗りたい時に乗れるように、いつも走ってほしい。	三ヶ野山1
荷物を置く場所があるといい。	紙屋2	

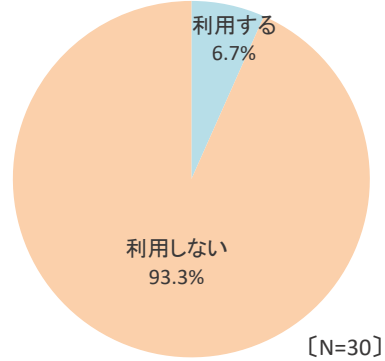
参考 鉄道・タクシーの利用状況

○利用者のうち、普段鉄道を「利用する」方は全体の1割未満で、主な意見は「鉄道を使うような移動目的がない」といった意見が確認される。
 ○一方、利用者の6~7割は普段タクシーを「利用する」と回答しており、「料金が高い」や「来るまでに時間がかかる」といった意見が確認される。

■ 普段の鉄道の利用状況



▲ 普段の鉄道利用
【コミバス利用者】

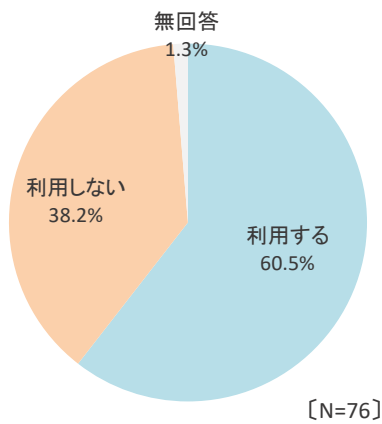


▲ 普段の鉄道利用
【福祉バス利用者】

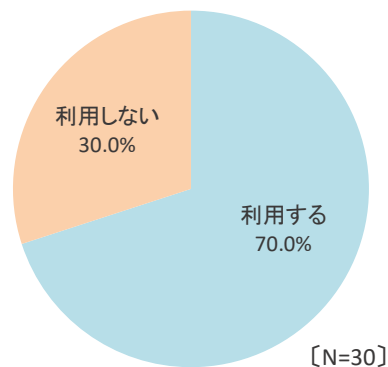
(困っている事または利用しない理由)

- ・ 鉄道を使うような移動目的がない
- ・ 自宅から駅までが遠い
- ・ 鉄道の運行本数が少ない
- ・ バスと鉄道の接続が悪い

■ 普段のタクシーの利用状況



▲ 普段のタクシー利用
【コミバス利用者】



▲ 普段のタクシー利用
【福祉バス利用者】

(困っている事または利用しない理由)

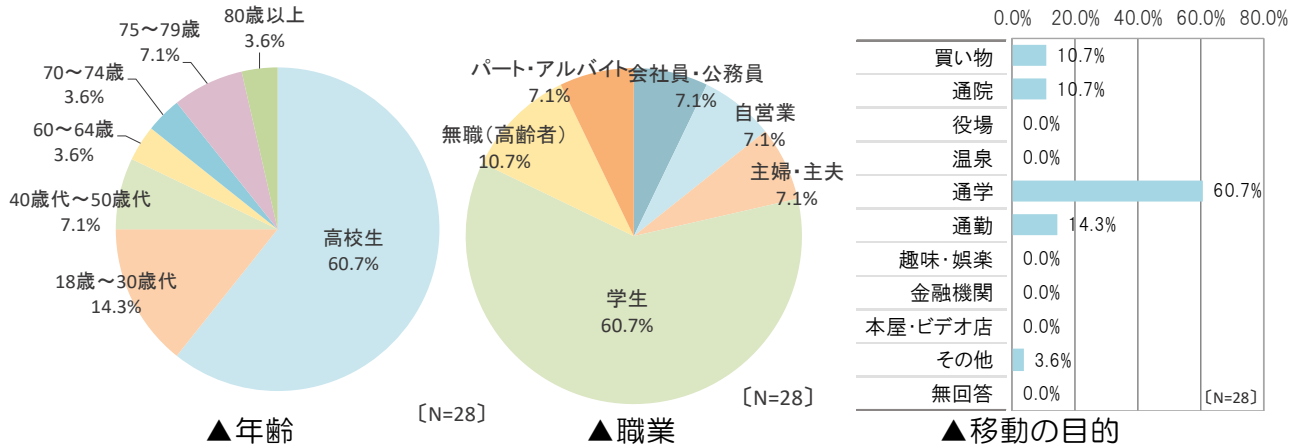
- ・ 料金が高い
- ・ タクシーを呼んでから来るまでに時間がかかる
- ・ タクシーを呼ぶのが面倒
- ・ 利用方法がわからない

3-3 各路線の利用状況・ニーズ

3-3-1 上九瀬線

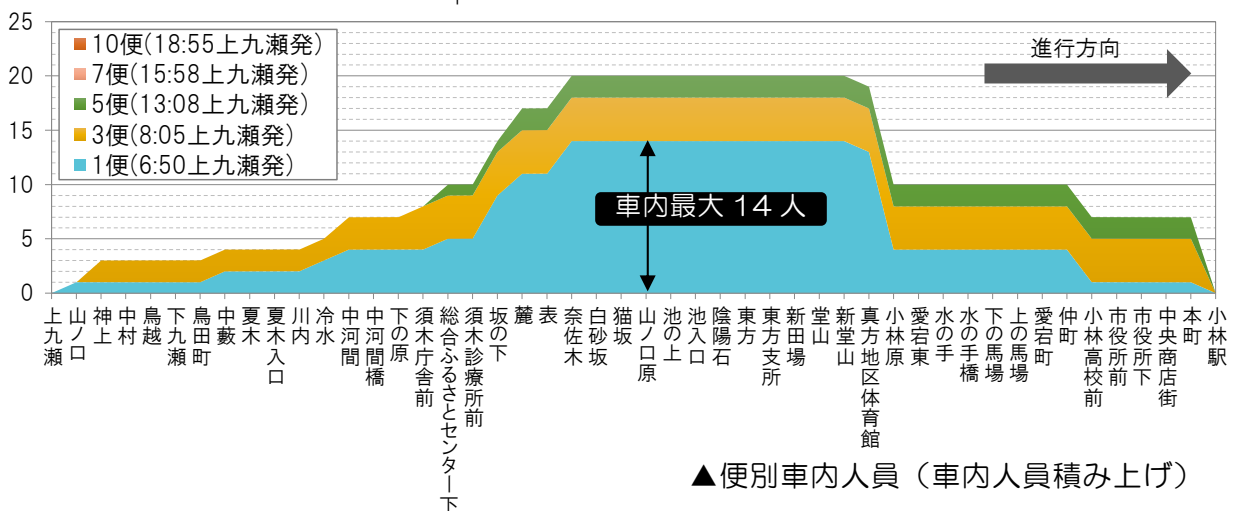
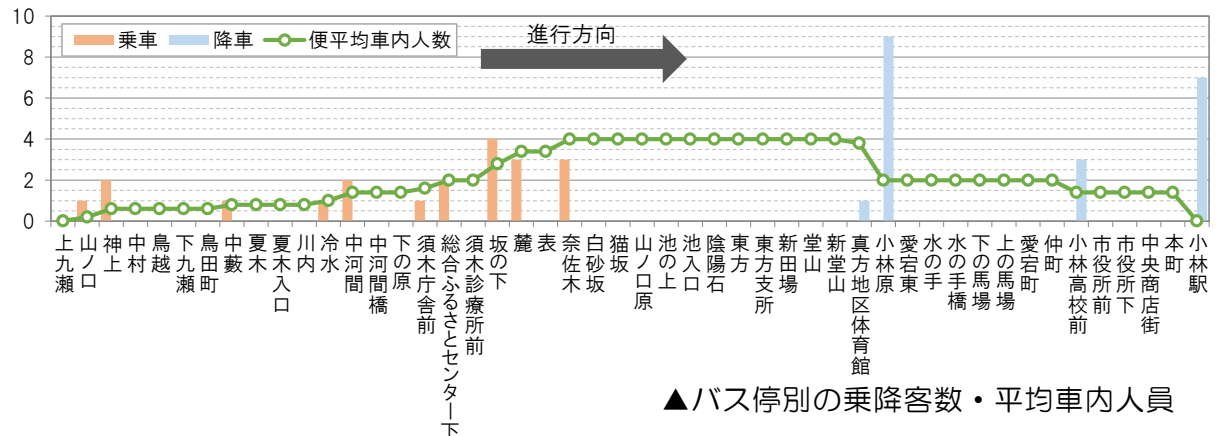
○高校生利用のある路線であり、そのほか買い物や通院、通勤の目的で利用される。
 ○主に冷水～奈佐木間の乗車が多く、小林原や小林高校、小林駅で降車している。
 （全便のうち、1便目6:50上九瀬発の車内人員14人が最大値）

(1) 利用者の特徴

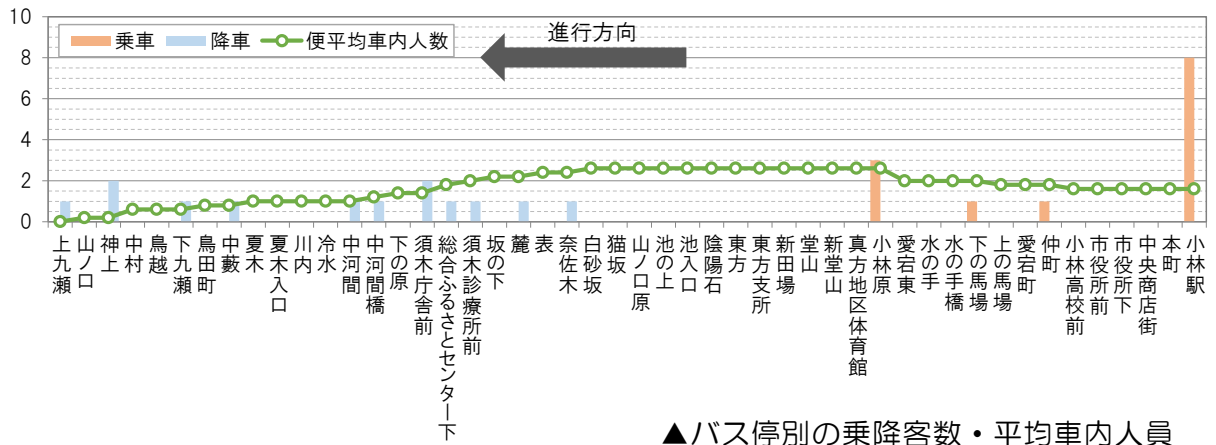


(2) バス停毎の乗降客数

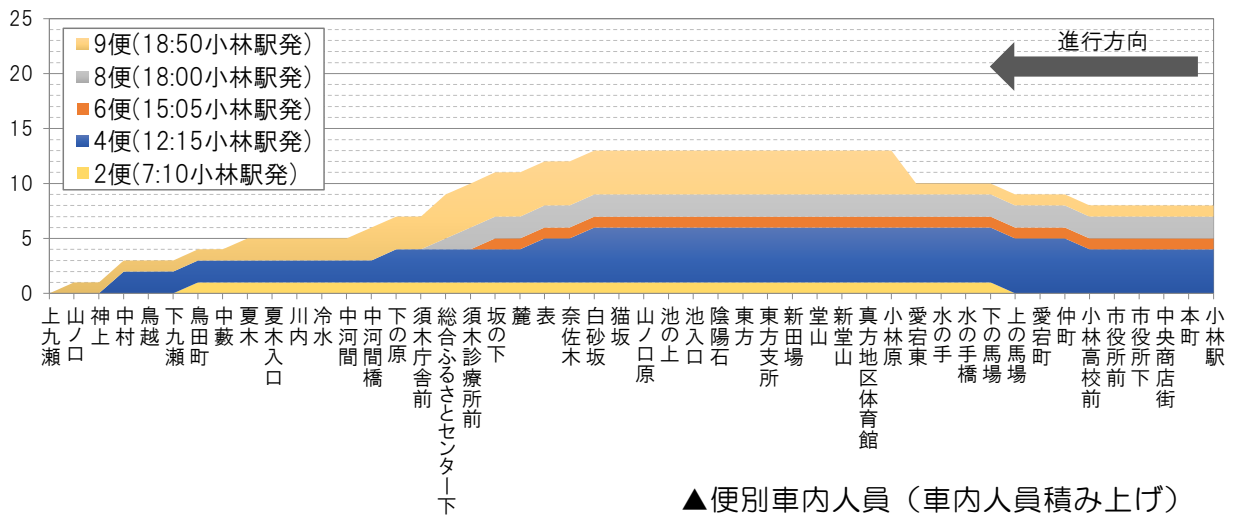
■上り方向 (上九瀬 ⇒ 小林駅)



■下り方向（小林駅 ⇒ 上九瀬）



▲バス停別の乗降客数・平均車内人員

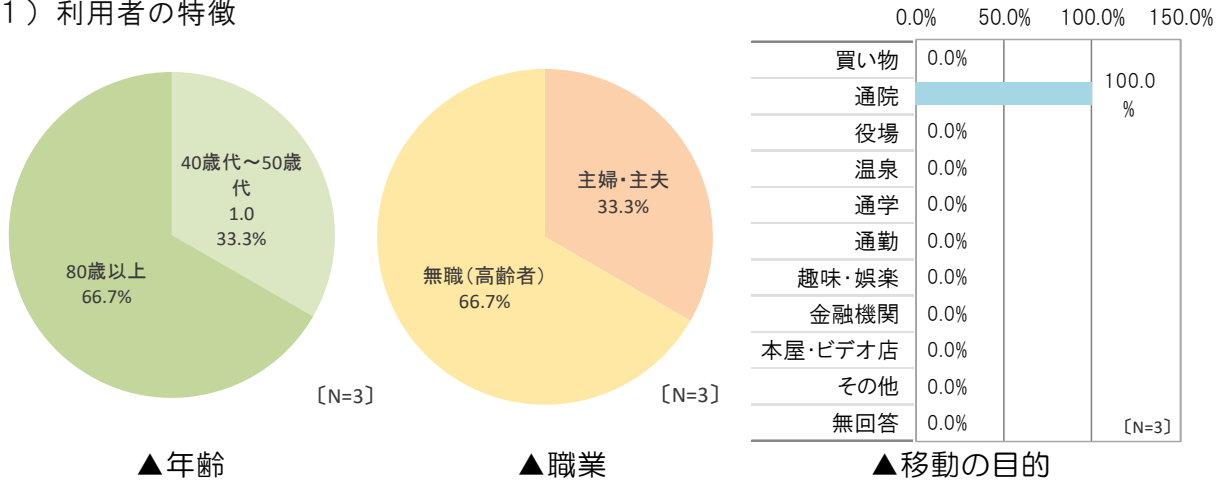


▲便別車内人員 (車内人員積み上げ)

3-3-2 鷓野循環線

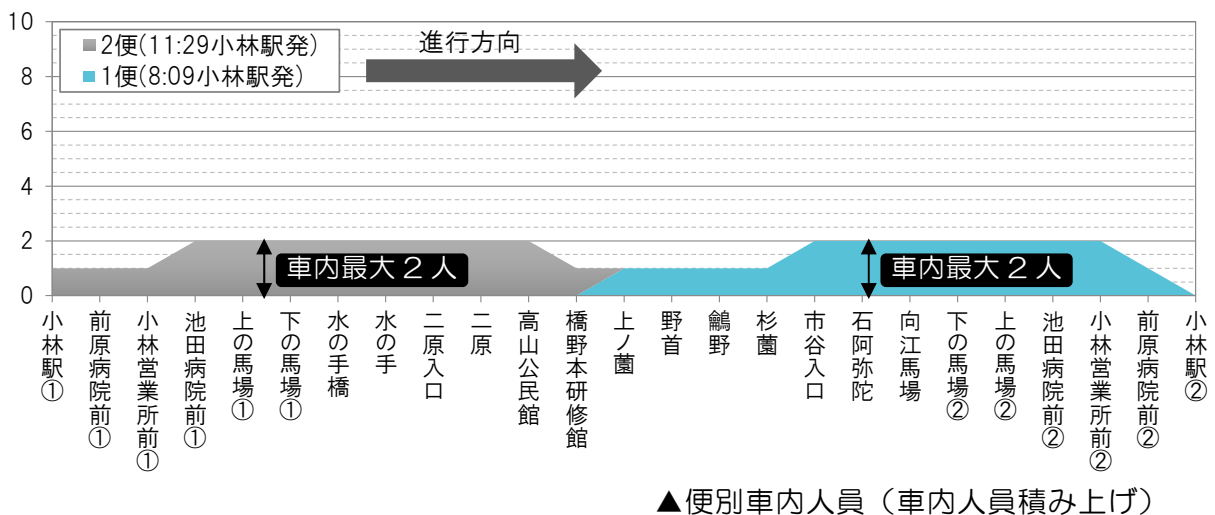
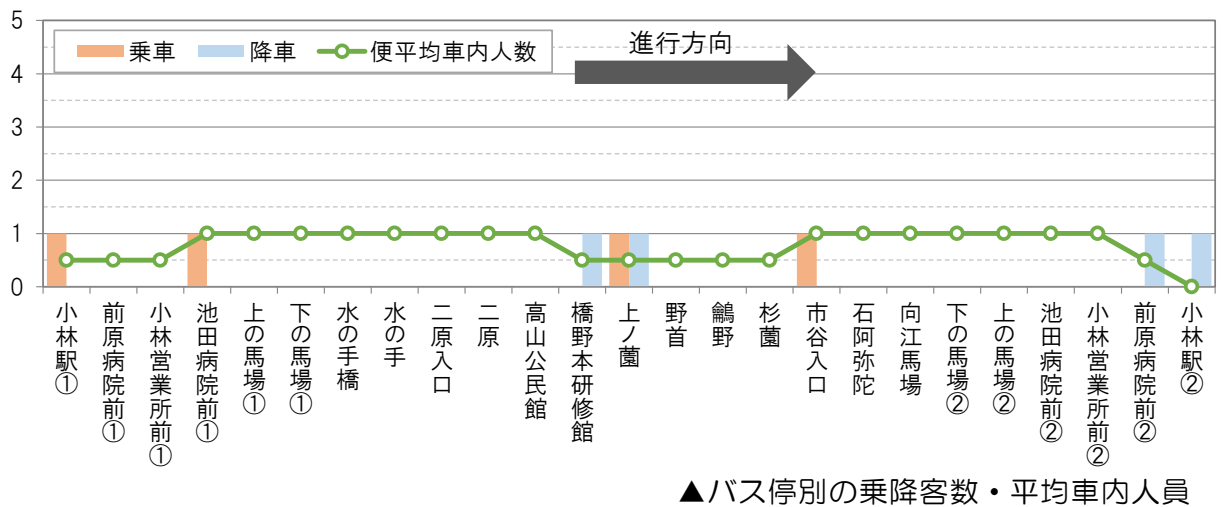
○高齢者や主婦層（40～50歳代）等4名が利用し、通院の目的で利用される。
 ○上ノ園周辺や市谷入口からの乗車があり、小林駅、前原病院前で降車している。
 （全便のうち1便目8:09発・2便目11:29発それぞれで車内人員2人が最大値）

(1) 利用者の特徴



※上記はヒアリングに回答頂いた方のみ

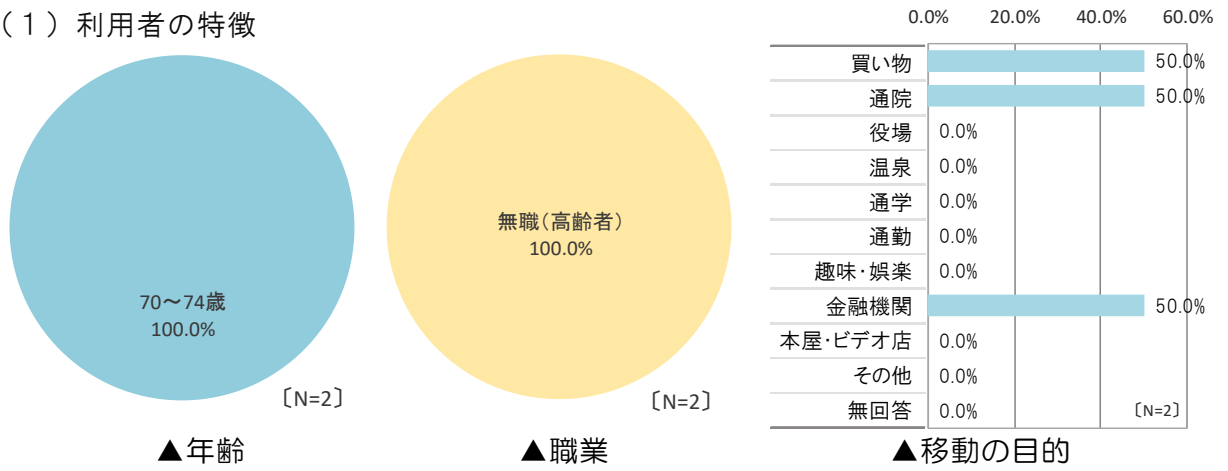
(2) バス停毎の乗降客数



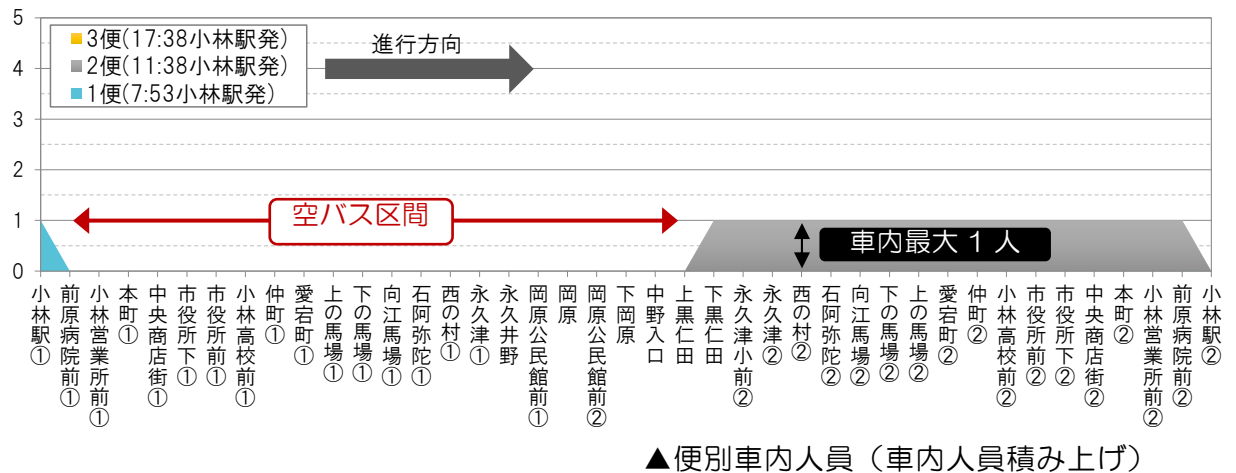
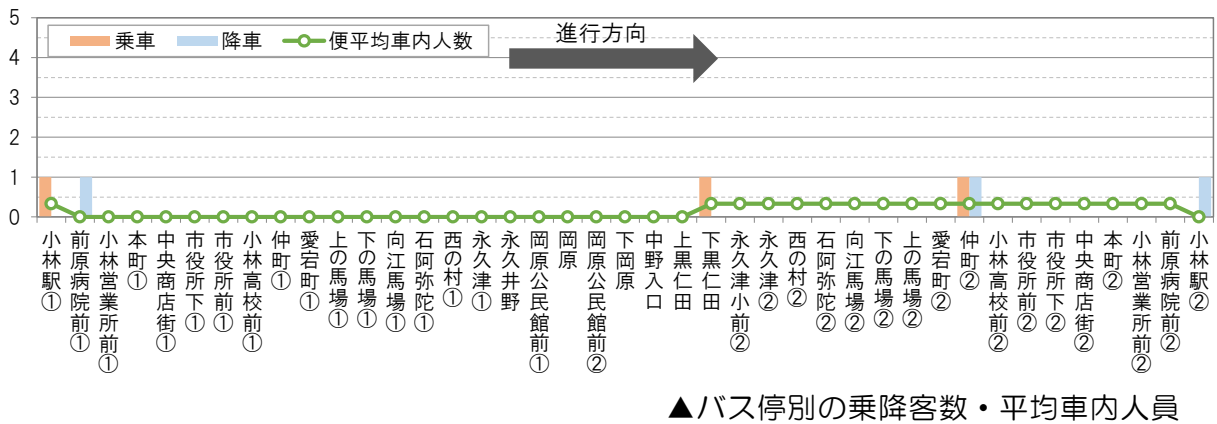
3-3-3 岡原循環線

○高齢者（70歳代）3名が利用し、買い物や通院、金融機関の目的で利用される。
 ○下黒仁田～仲町、仲町～小林駅、小林駅～前原病院の乗降がある（空バス区間あり）。
 （利用0人の便あり、全便のうち1便目・2便目それぞれで車内人員1人が最大値）

(1) 利用者の特徴



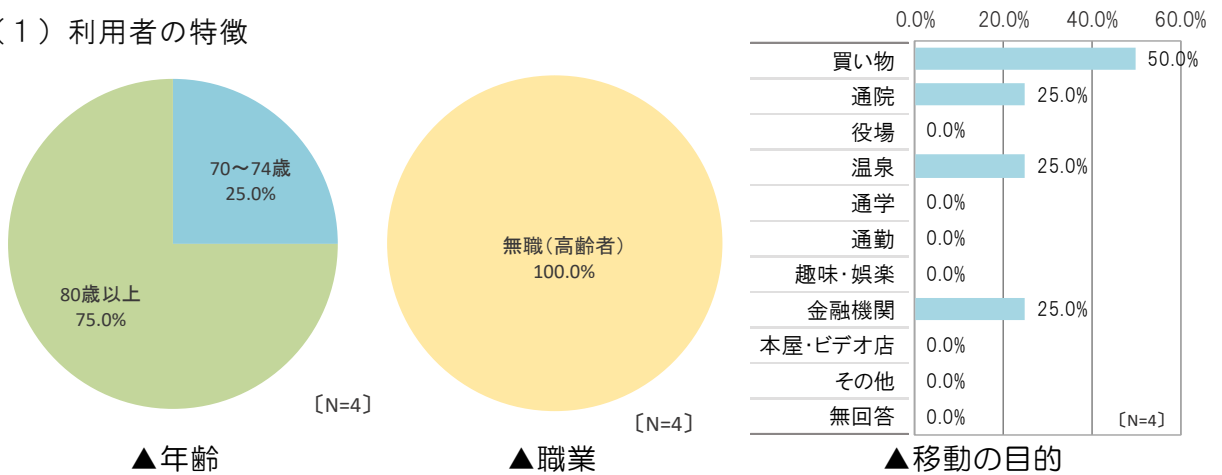
(2) バス停毎の乗降客数



3-3-4 種畜牧場循環線

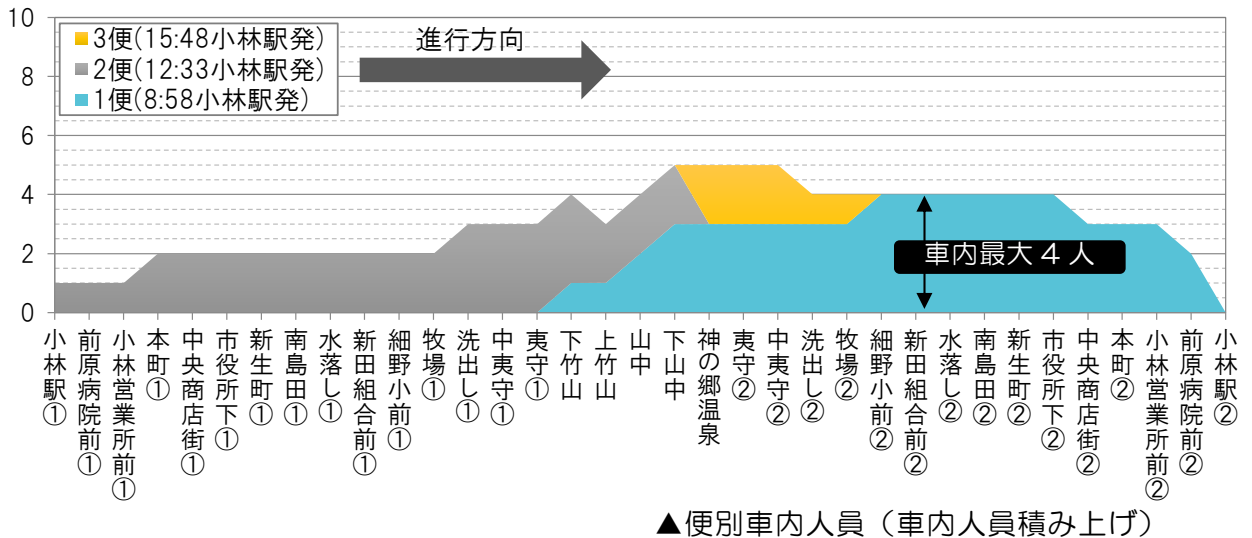
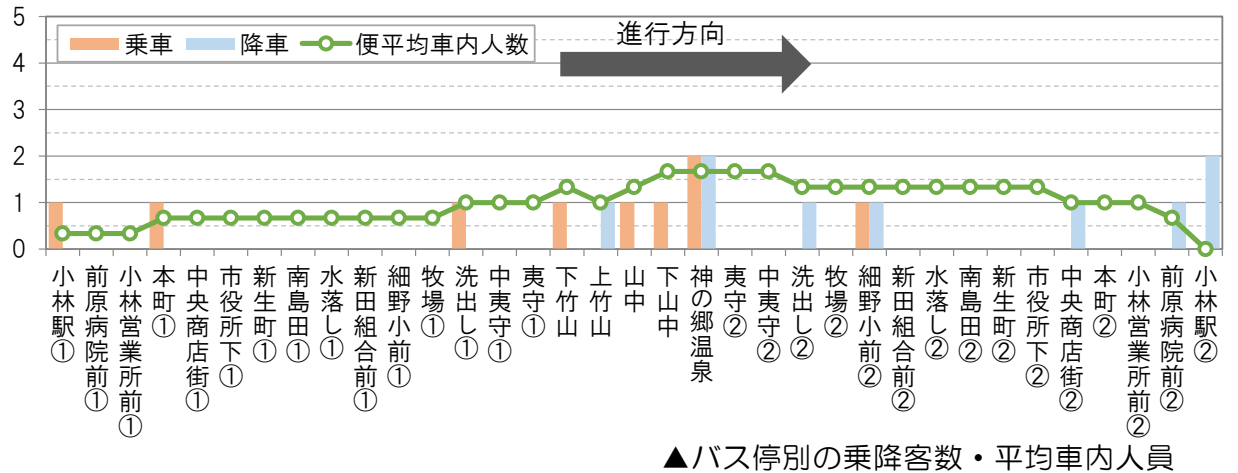
○高齢者（70～80歳代）の9名が利用し、買い物や通院、金融機関のほか、温泉施設の目的で利用されている。
 ○主に冷水～奈佐木間の乗車が多く、小林原や小林高校、小林駅で降車している。
 （全便のうち1便目8:58小林駅発の車内人員4人が最大値）

(1) 利用者の特徴



※上記はヒアリングに回答頂いた方のみ

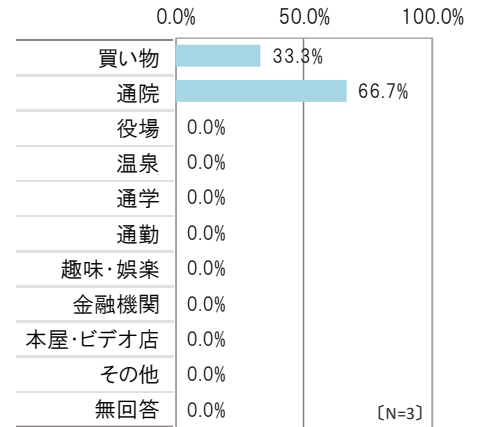
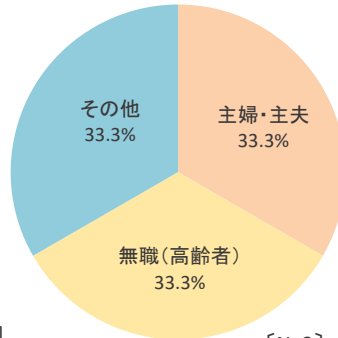
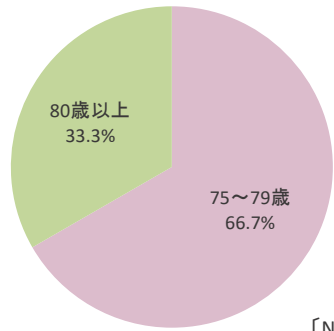
(2) バス停毎の乗降客数



3-3-5 南ヶ丘線

○高齢者（70～80歳代）の5名が利用し、買い物や通院の目的で利用される。
 ○主に大王～鍛冶屋間で乗車し、新生町や前原病院で降車している（利用0人の便あり）。
 （利用0人の便あり、全便のうち2便目南ヶ丘中央発の車内人員3人が最大値）

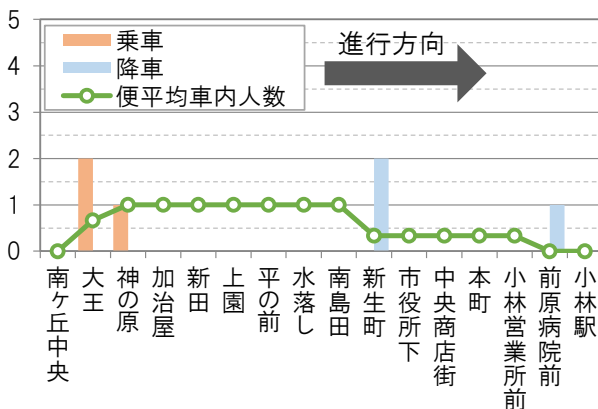
(1) 利用者の特徴



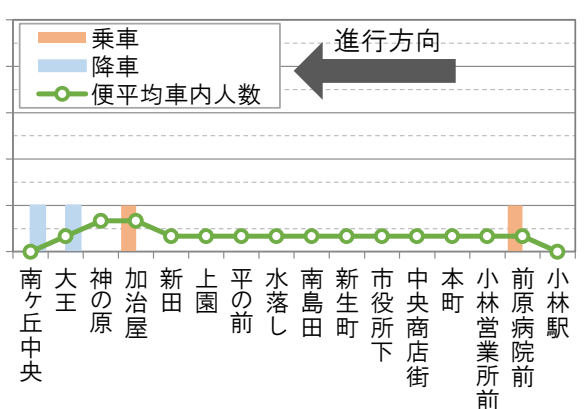
※上記はヒアリングに回答頂いた方のみ

(2) バス停毎の乗降客数

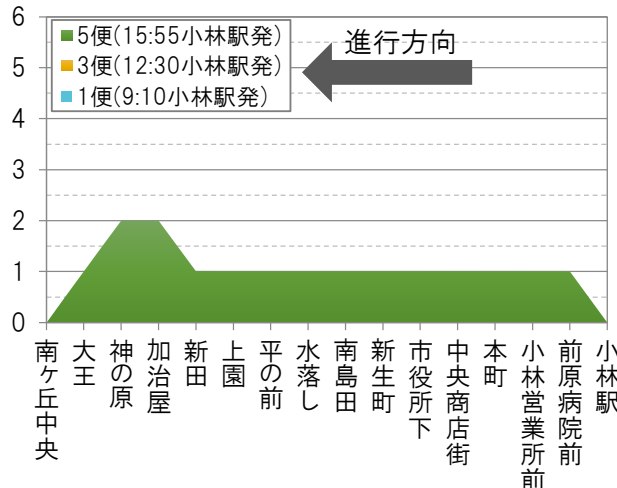
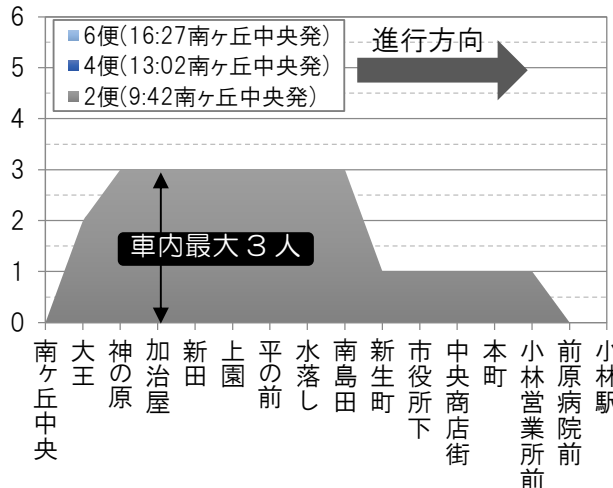
■上り方向（南ヶ丘中央 ⇒ 小林駅）



■下り方向（小林駅 ⇒ 南ヶ丘中央）



▲バス停別の乗降客数・平均車内人員



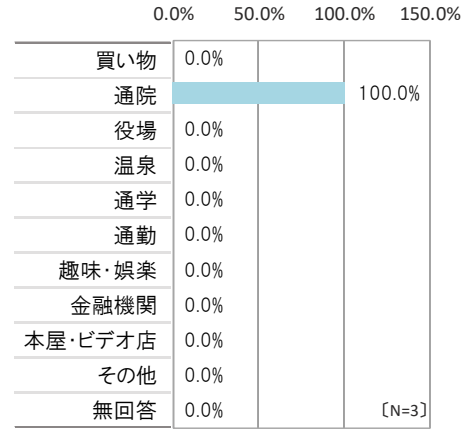
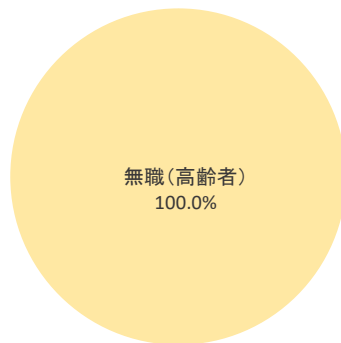
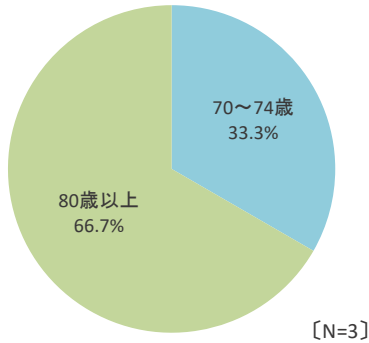
▲便別車内人員（車内人員積み上げ）

3-3-6 環野・千歳線

○高齢者（70～80歳代）の8名が利用し、通院の目的で利用される。

○主に出の山入口～孝の子入口間で乗車し、南町や市役所下、小林営業所、小林駅で降車している（利用0人の便あり、2便目9:37千歳発の車内人員4人が最大値）。

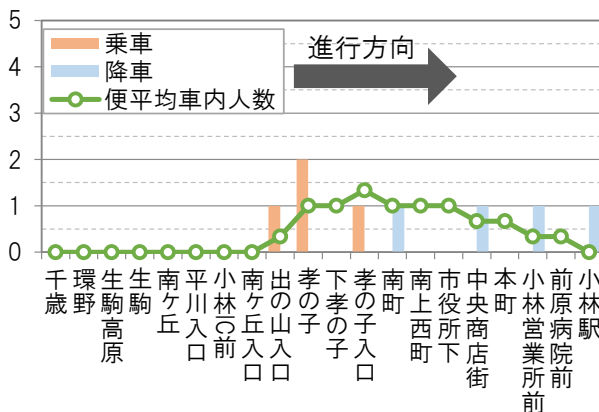
(1) 利用者の特徴



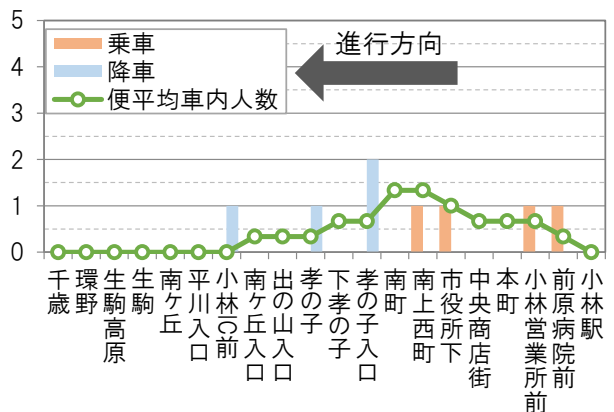
※上記はヒアリングに回答頂いた方のみ

(2) バス停毎の乗降客数

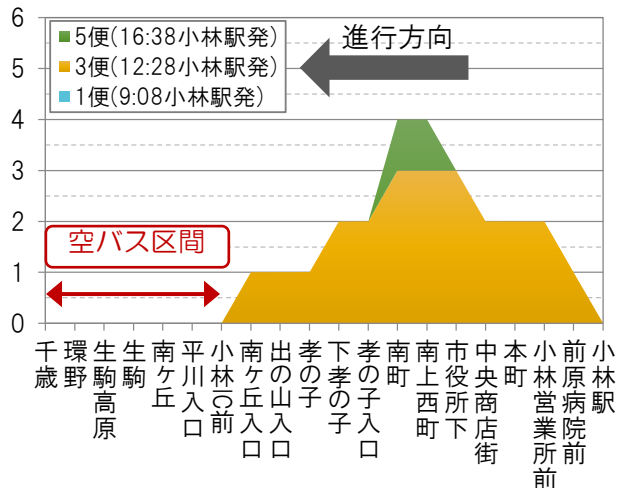
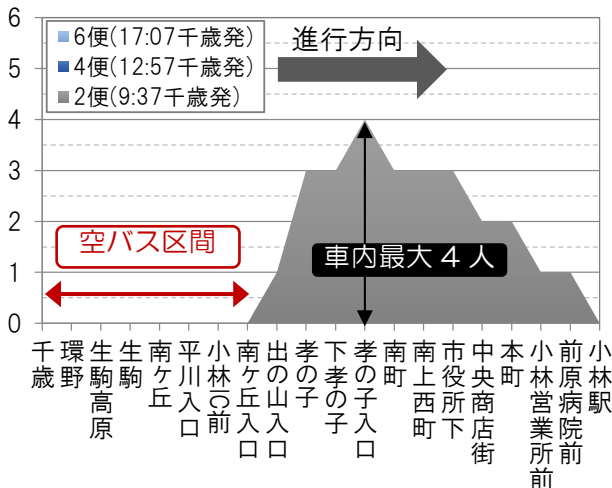
■上り方向（南ヶ丘中央 ⇒ 小林駅）



■下り方向（小林駅 ⇒ 南ヶ丘中央）



▲バス停別の乗降客数・平均車内人員

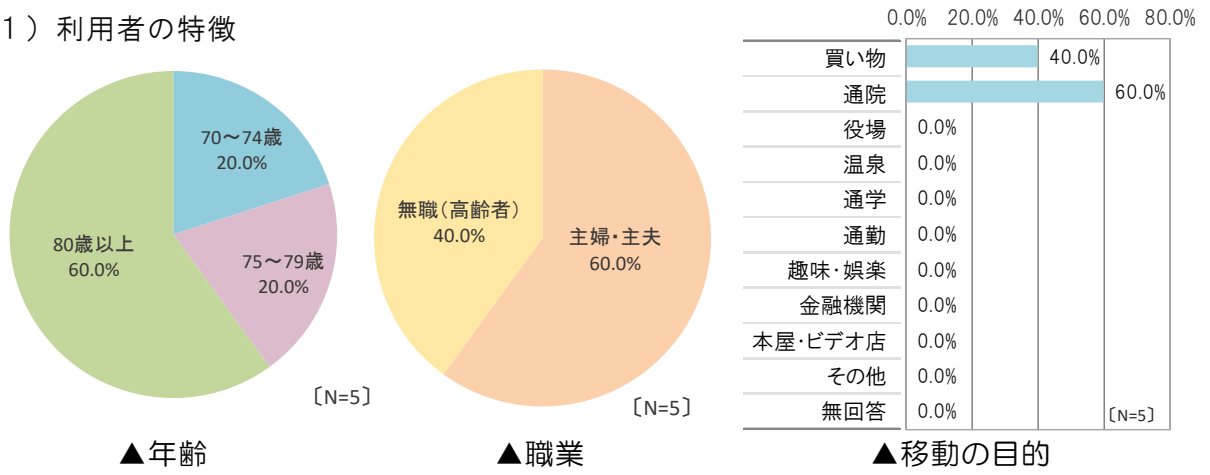


▲便別車内人員（車内人員積み上げ）

3-3-7 運動公園循環線

○高齢者（70～80歳代）の6名が利用し、買い物や通院の目的で利用される。
 ○主に十三塚団地前～売子木間で乗車し、小林郵便局前、慈敬園前、前原病院前で降車している（空バス区間あり、1便目9:00小林駅発の車内人員3人が最大値）

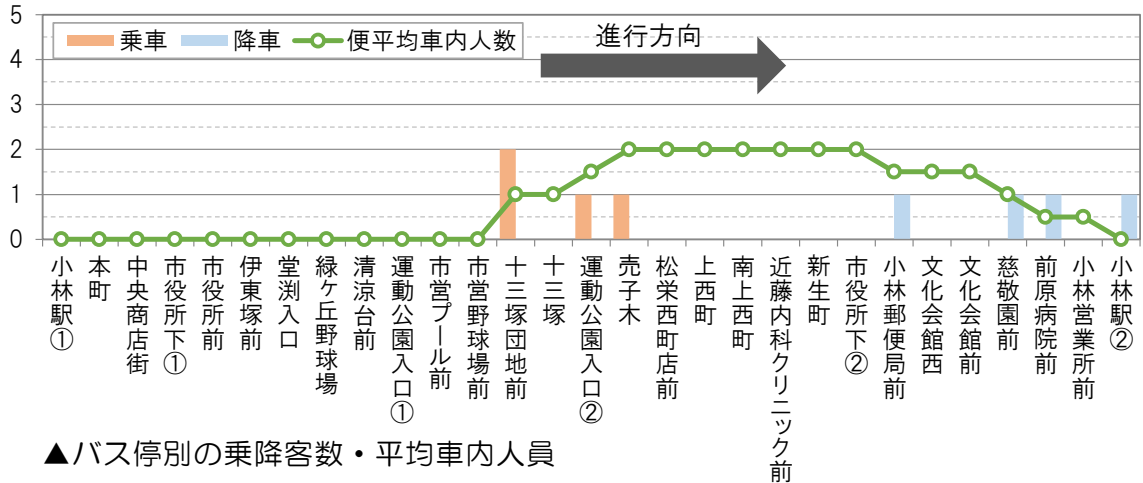
(1) 利用者の特徴



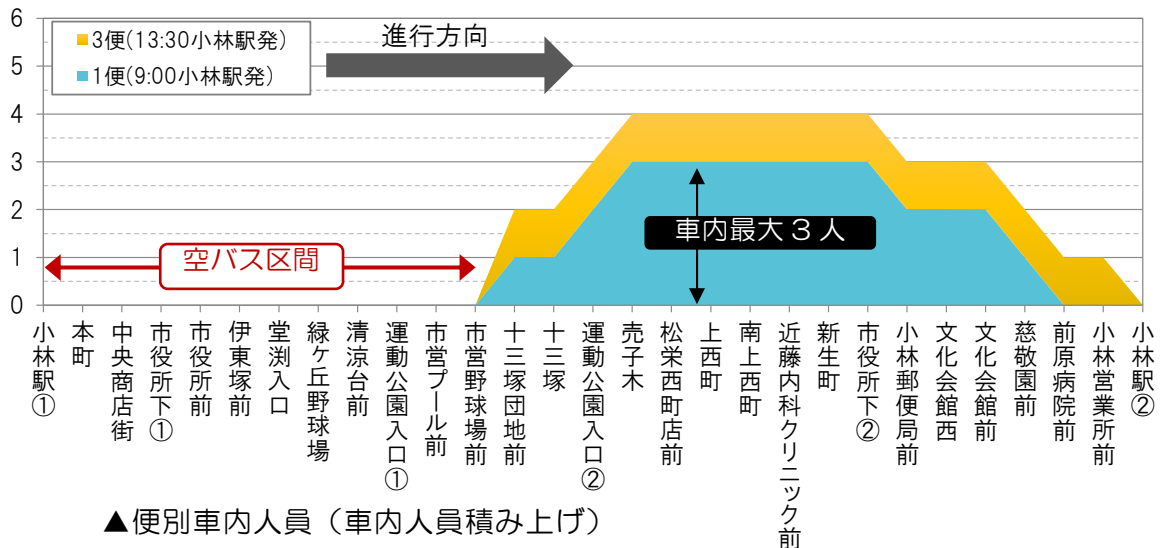
※上記はヒアリングに回答頂いた方のみ

(2) バス停毎の乗降客数

■上り方向（小林駅 ⇒ 堂淵入口 ⇒ 新生町 ⇒ 小林駅）

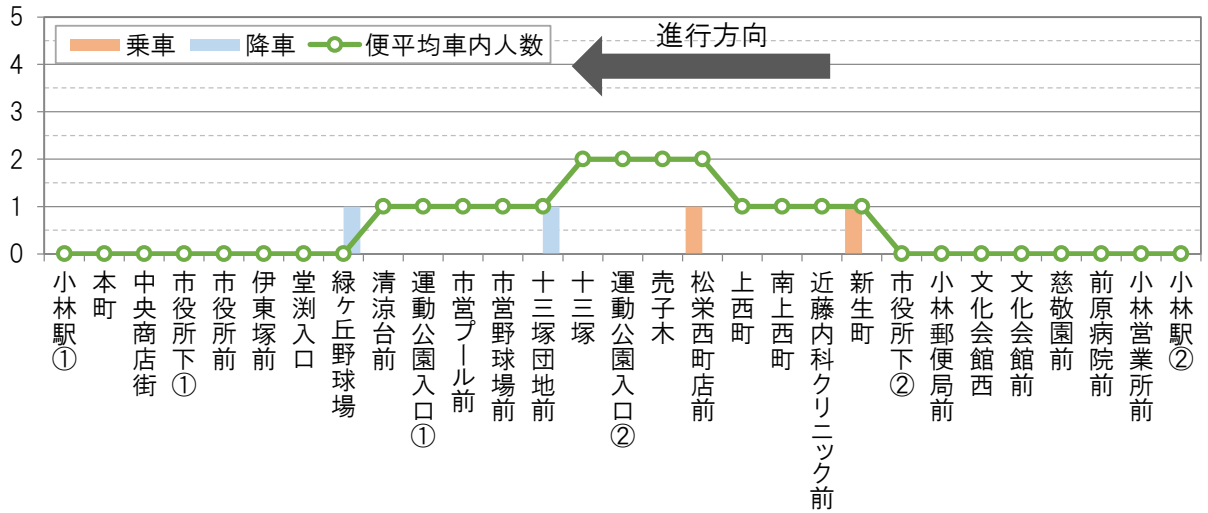


▲バス停別の乗降客数・平均車内人員

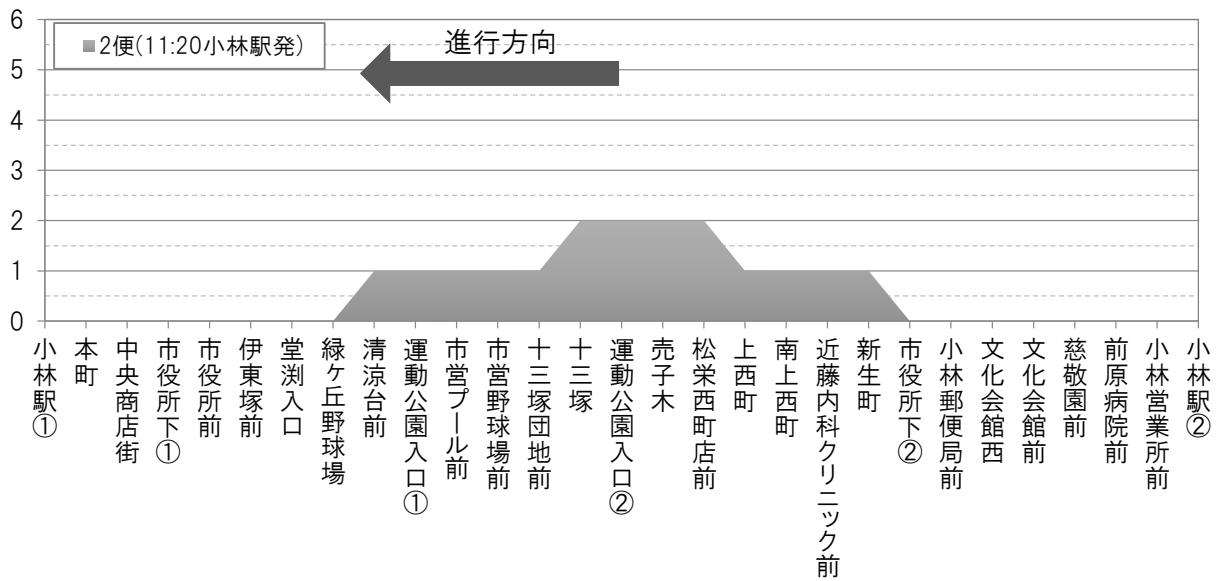


▲便別車内人員（車内人員積み上げ）

■下り方向（小林駅 ⇒ 新生町 ⇒ 堂淵入口 ⇒ 小林駅）



▲バス停別の乗降客数・平均車内人員

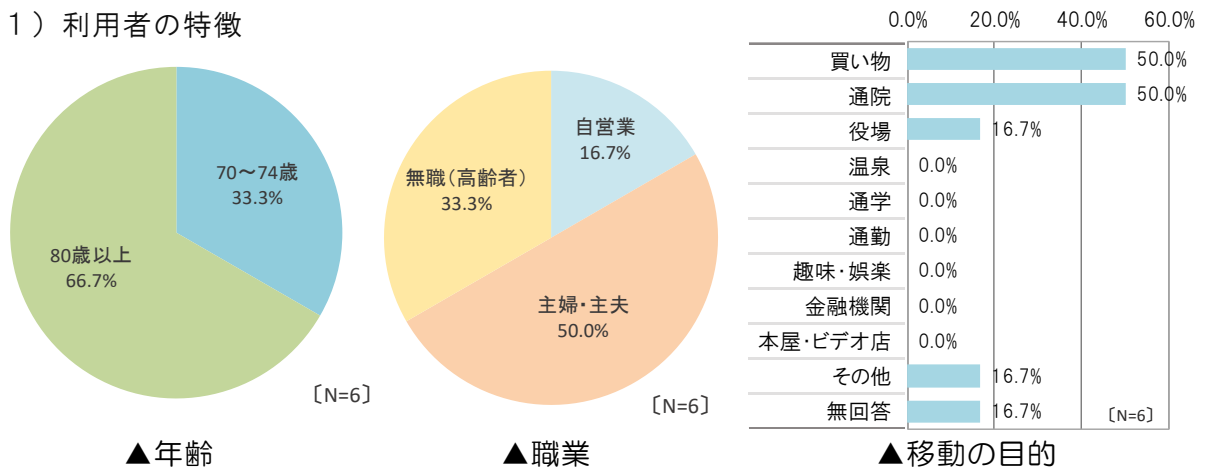


▲便別車内人員（車内人員積み上げ）

3-3-8 深草循環線

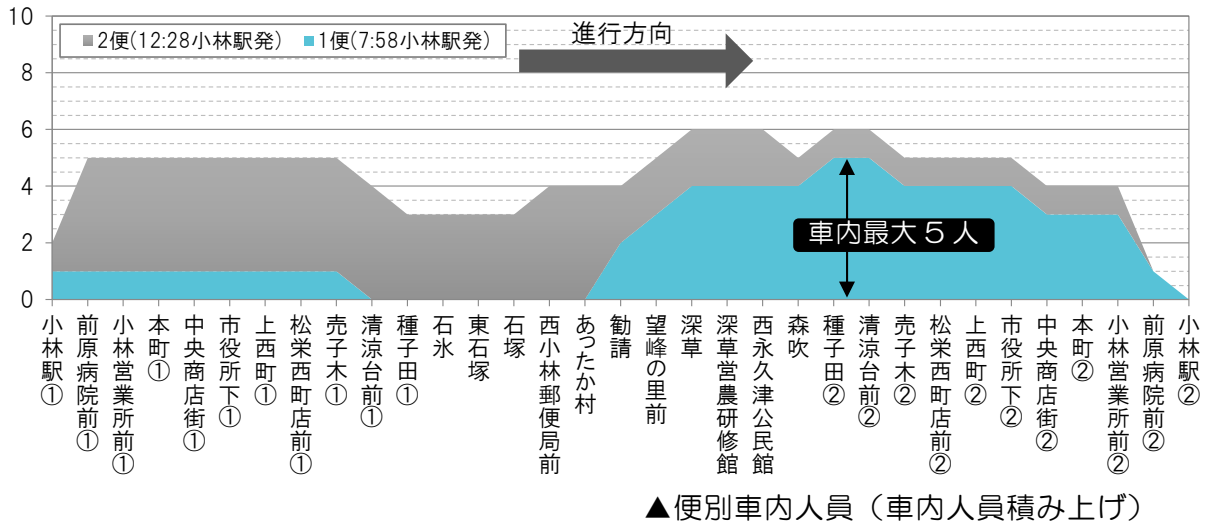
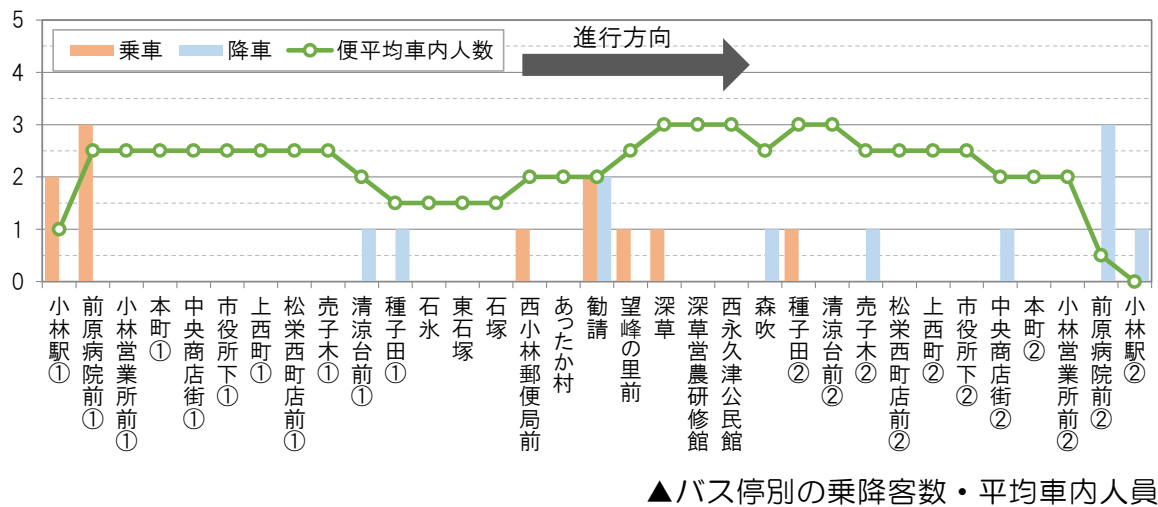
○高齢者（70～80歳代）の11名が利用、買い物や通院、市役所の目的で利用される。
 ○主に勸請～種子田間の乗車が多く、中央商店街や前原病院、小林駅等で降車している。
 （全便のうち、1便目7:58小林駅発の車内人員5人が最大値）

(1) 利用者の特徴



※上記はヒアリングに回答頂いた方のみ

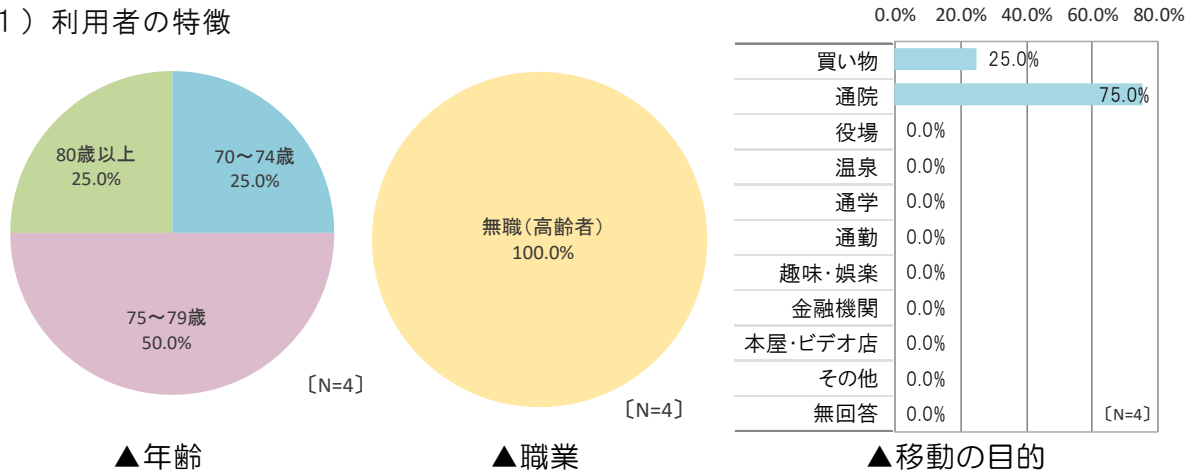
(2) バス停毎の乗降客数



3-3-9 大出水循環線

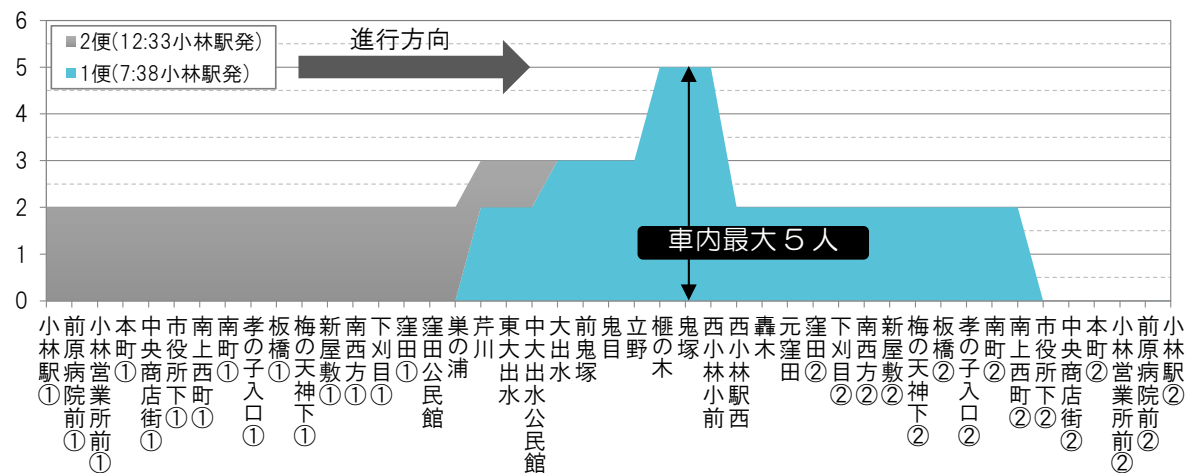
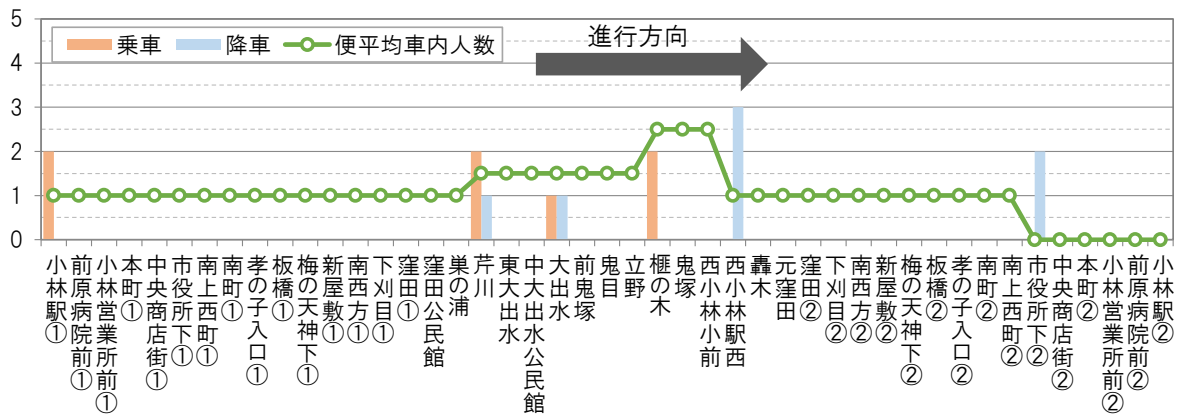
○高齢者（70～80歳代）の7名が利用し、買い物や通院の目的で利用される。
 ○主に芹川～榎の木間の乗車があり、西小林駅西や市役所下で降車している。
 （全便のうち、1便目7:38小林駅発の車内人員5人が最大値）

(1) 利用者の特徴



※上記はヒアリングに回答頂いた方のみ

(2) バス停毎の乗降客数



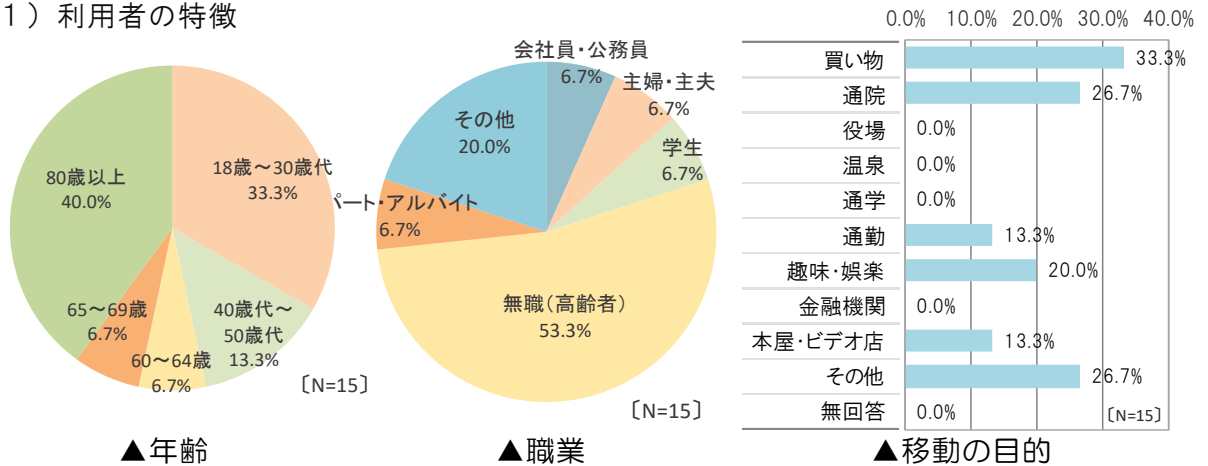
3-3-10 三松循環線

○高校生や会社員等の年代も利用があり、買い物や通院、通勤、娯楽等で利用される。

○主に小林駅～サンキュー間のほか、岐道や美人の湯での乗降が確認された。

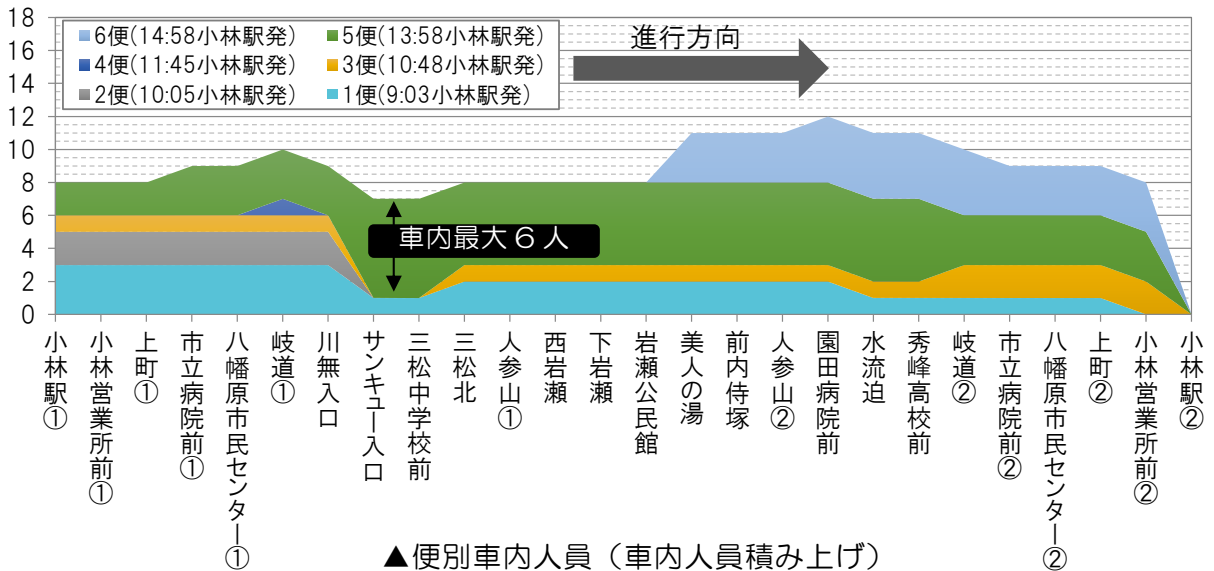
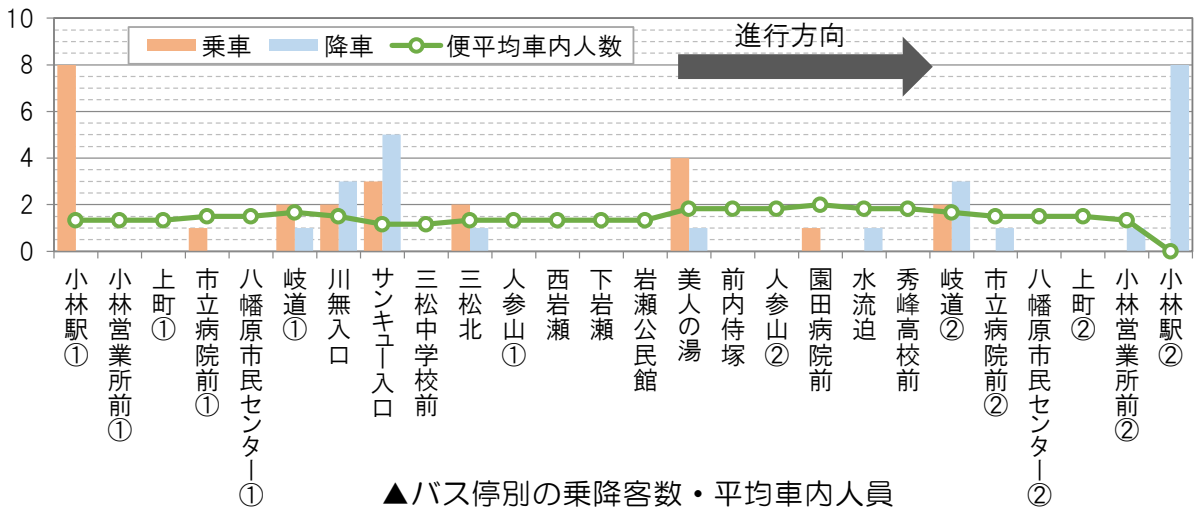
(全便のうち、5便目 13:58 小林駅発の車内人員 6人が最大値)

(1) 利用者の特徴



※上記はヒアリングに回答頂いた方のみ

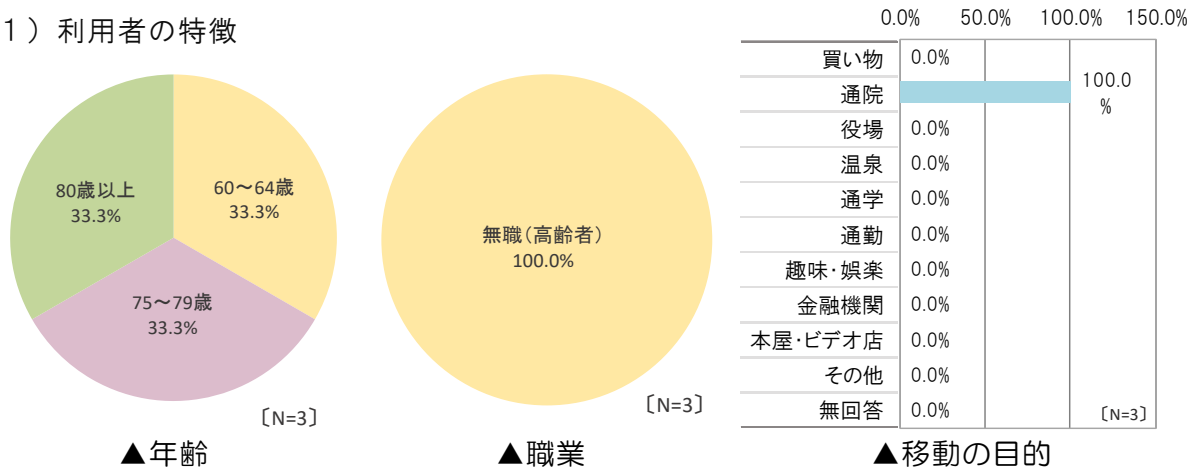
(2) バス停毎の乗降客数



3-3-11 上原循環線

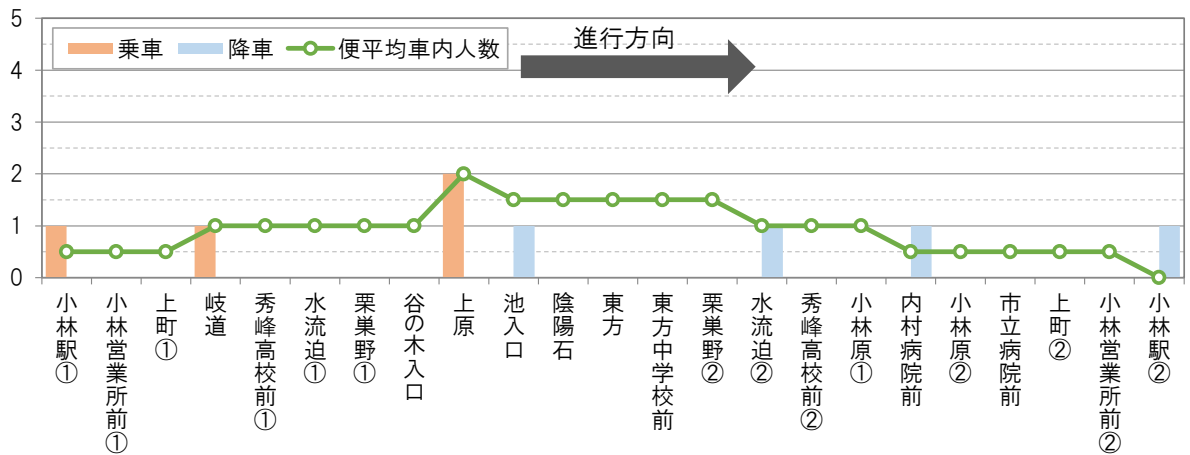
○高齢者（60～80歳代）の4名が利用し、通院の目的で利用される。
 ○主に岐道や上原の乗車があり、水流迫や内村病院、小林駅で降車している。
 （全便のうち、1便目9:15小林駅発の車内人員2人が最大値）

(1) 利用者の特徴

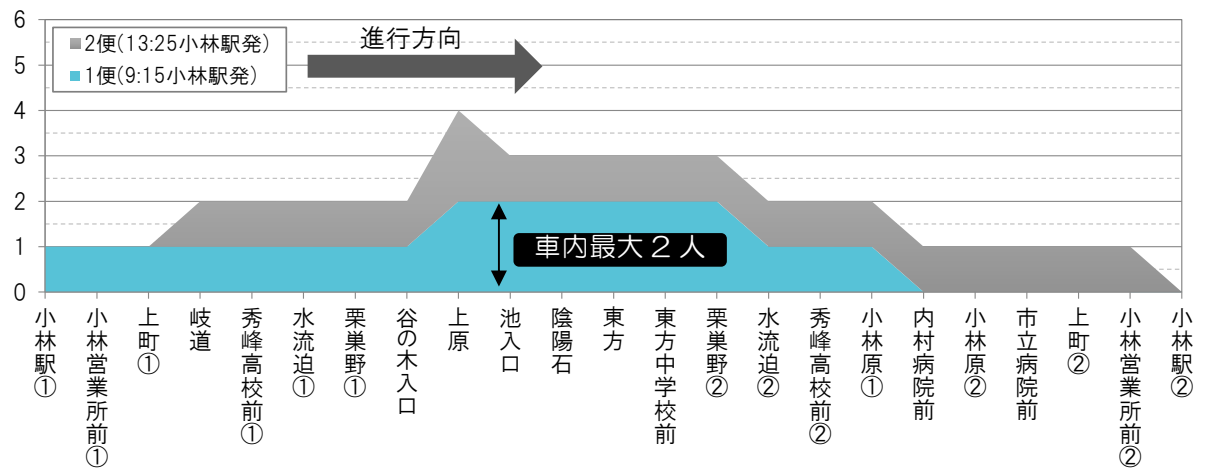


※上記はヒアリングに回答頂いた方のみ

(2) バス停毎の乗降客数



▲バス停別の乗降客数・平均車内人員

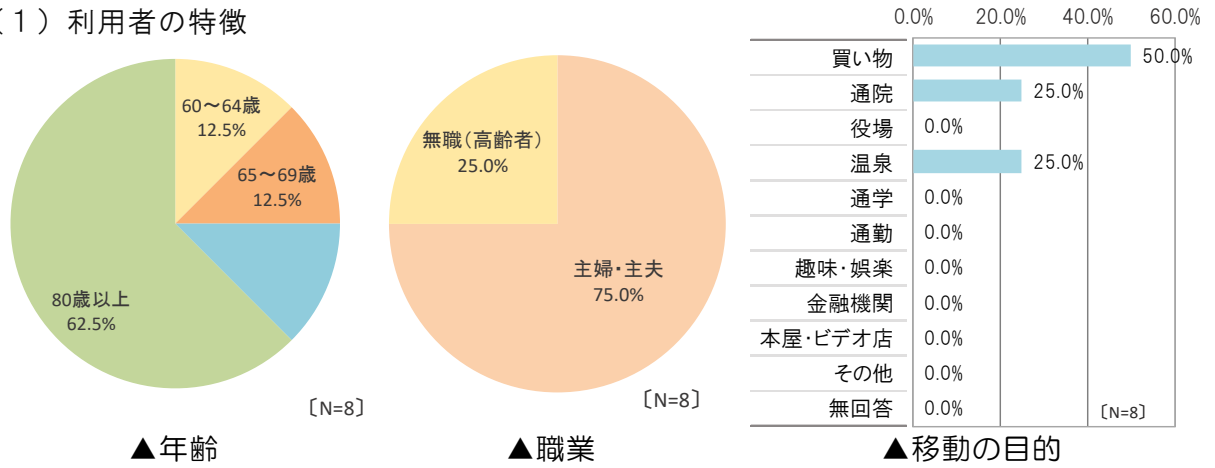


▲便別車内人員(車内人員積み上げ)

3-3-1 2 福祉バス 東麓2・三ヶ野山1

○高齢者（60～80歳代）の15名が利用し、買い物や通院、温泉の目的で利用される。
 ○東麓は跡瀬や大笹、牟田原、三ヶ野は南八所や東北八所から利用が確認された。
 （全便のうち1便目・2便目・4便目それぞれで車内人員3人が最大値）

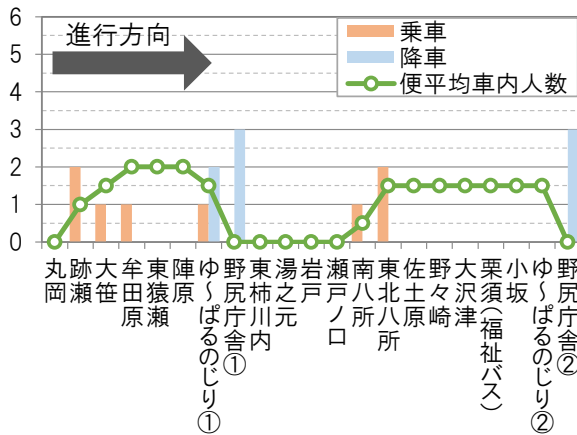
(1) 利用者の特徴



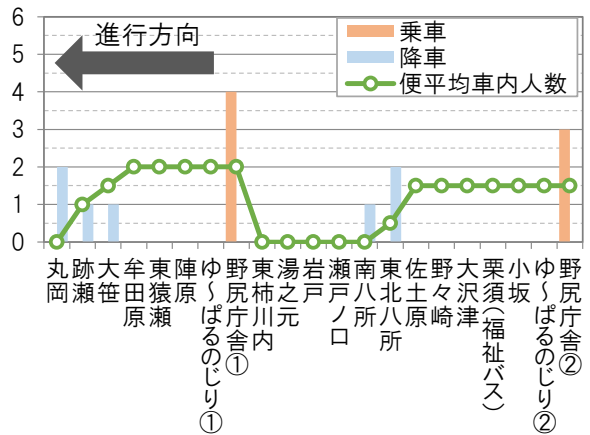
※上記はヒアリングに回答頂いた方のみ

(2) バス停毎の乗降客数

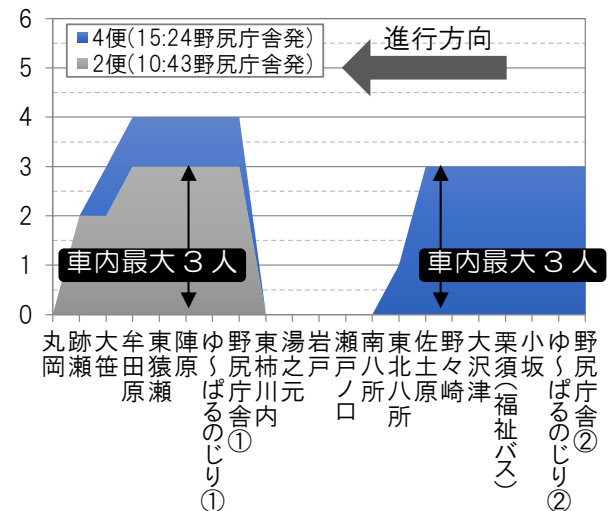
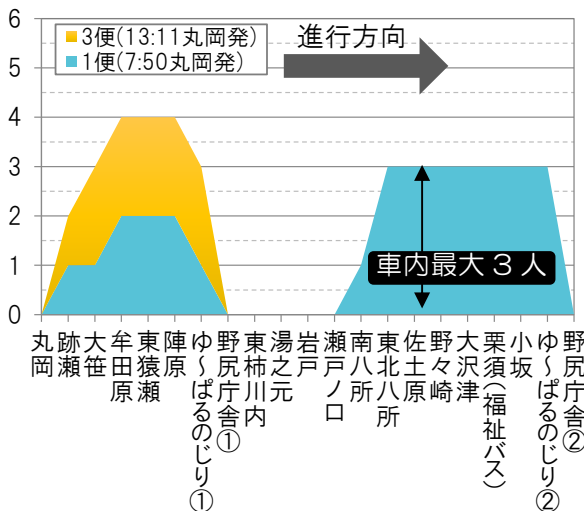
■上り方向（丸岡・東柿川内⇒野尻庁舎）



■下り方向（野尻庁舎⇒東柿川内・丸岡）



▲バス停別の乗降客数・平均車内人員

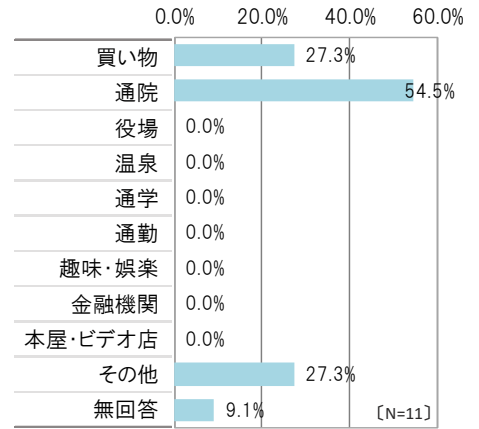
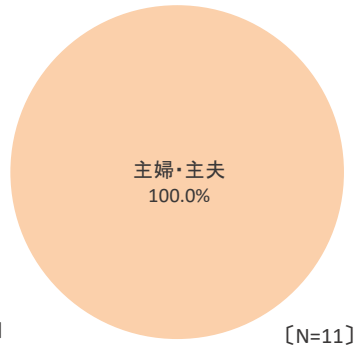
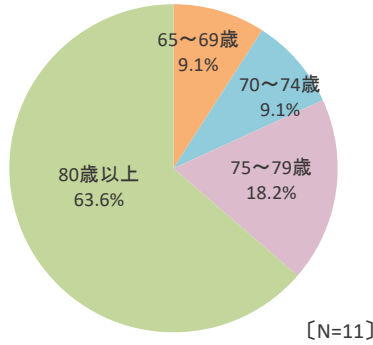


▲便別車内人員（車内人員積み上げ）

3-3-13 福祉バス 三ヶ野山2・紙屋2

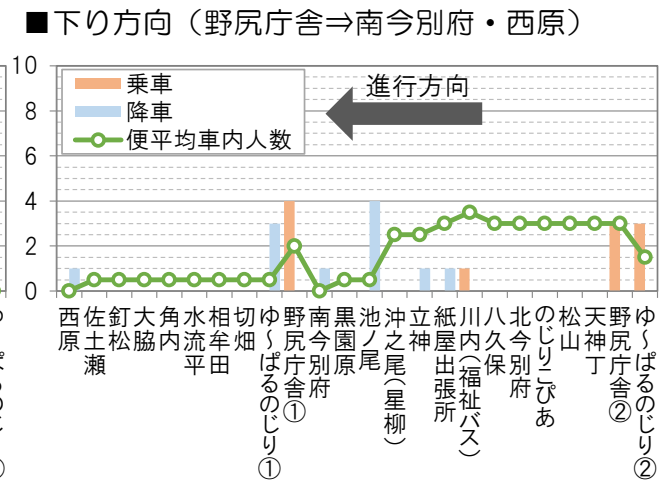
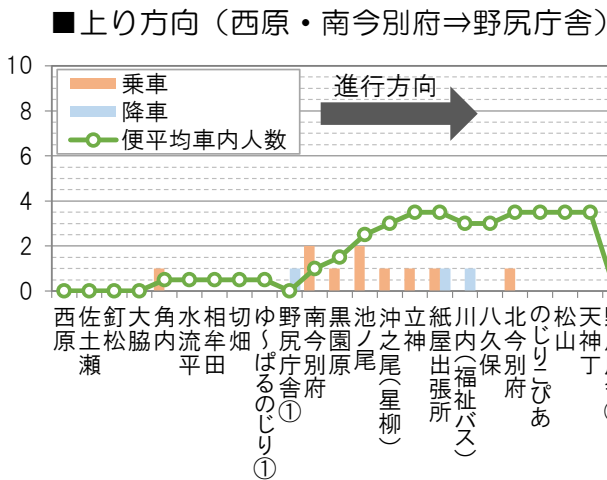
○高齢者（60～80歳代）の21名が利用し、買い物や通院、温泉の目的で利用される。
 ○三ヶ野は西原や角内、紙屋は南今別府や黒園原、池ノ尾、立神等の利用が確認された。
 （全便のうち1便目7:50西原発の車内人員14人が最大値）

(1) 利用者の特徴

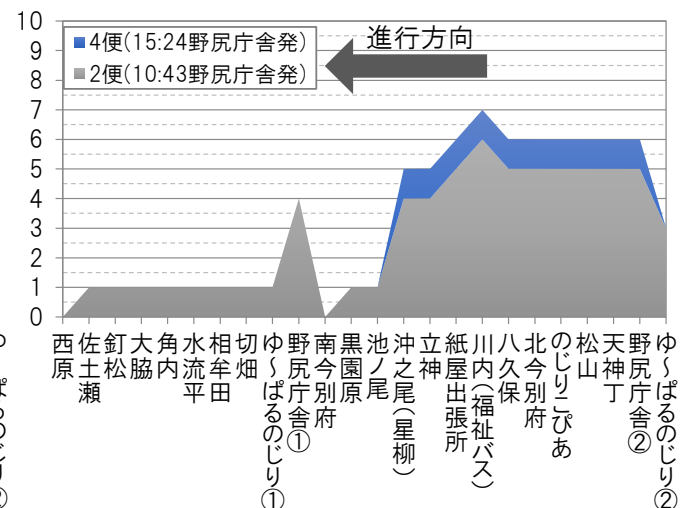
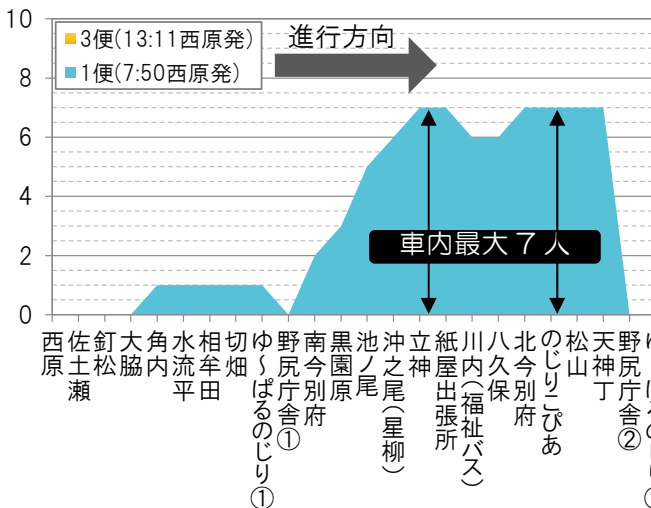


※上記はヒアリングに回答頂いた方のみ

(2) バス停毎の乗降客数



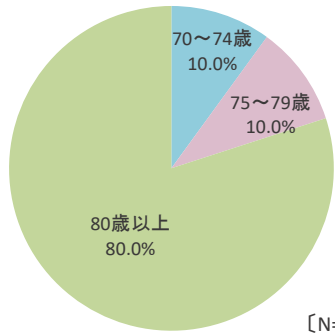
▲バス停別の乗降客数・平均車内人員



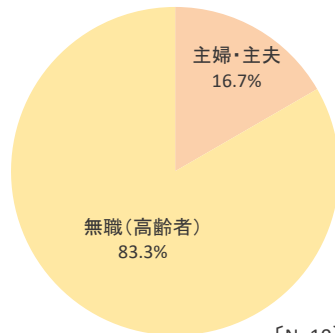
3-3-14 福祉バス 東麓1・紙屋1

○高齢者（70～80歳代）の22名が利用し、買い物や通院、役場の目的で利用される。
 ○東麓は大平山や勝負、紙屋は漆野原や下漆野、秋社等の利用が確認された。
 （全便のうち1便目7:50大平山発の車内人員8人が最大値）

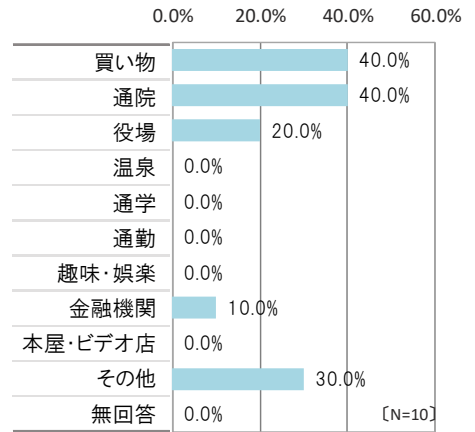
(1) 利用者の特徴



▲年齢



▲職業

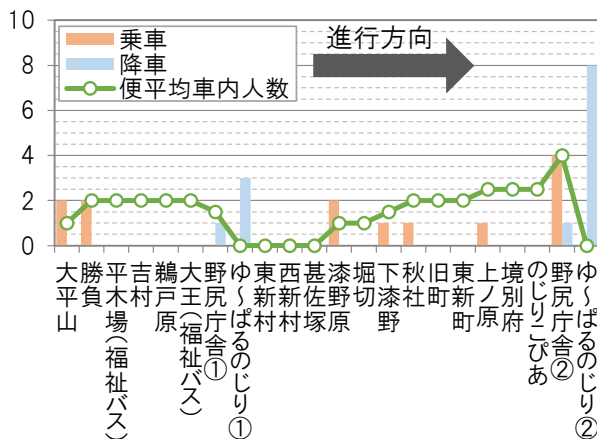


▲移動の目的

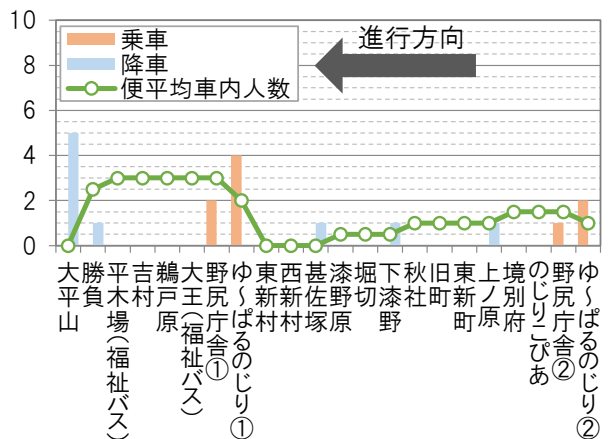
(2) バス停毎の乗降客数

※上記はヒアリングに回答頂いた方のみ

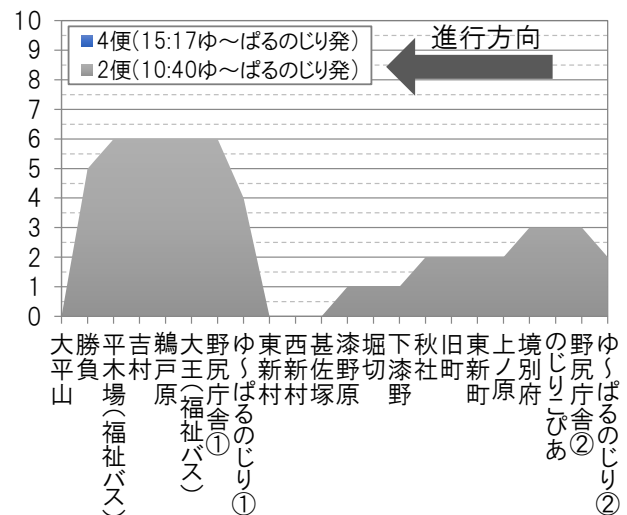
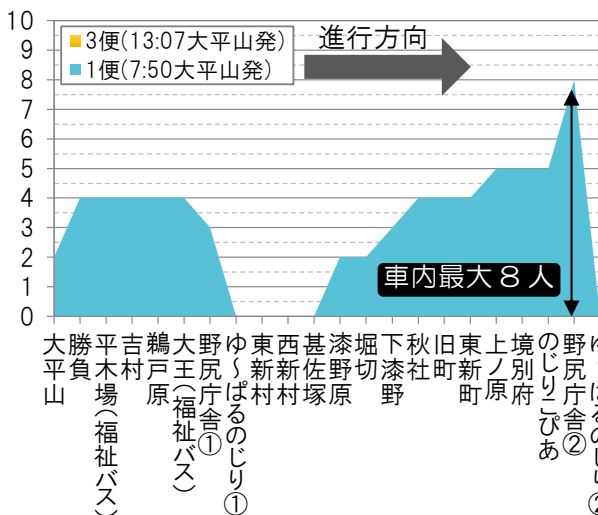
■上り方向（大平山・東新村⇒ゆ～ぱるのじり）



■下り方向（ゆ～ぱるのじり⇒東新村・大平山）



▲バス停別の乗降客数・平均車内人員

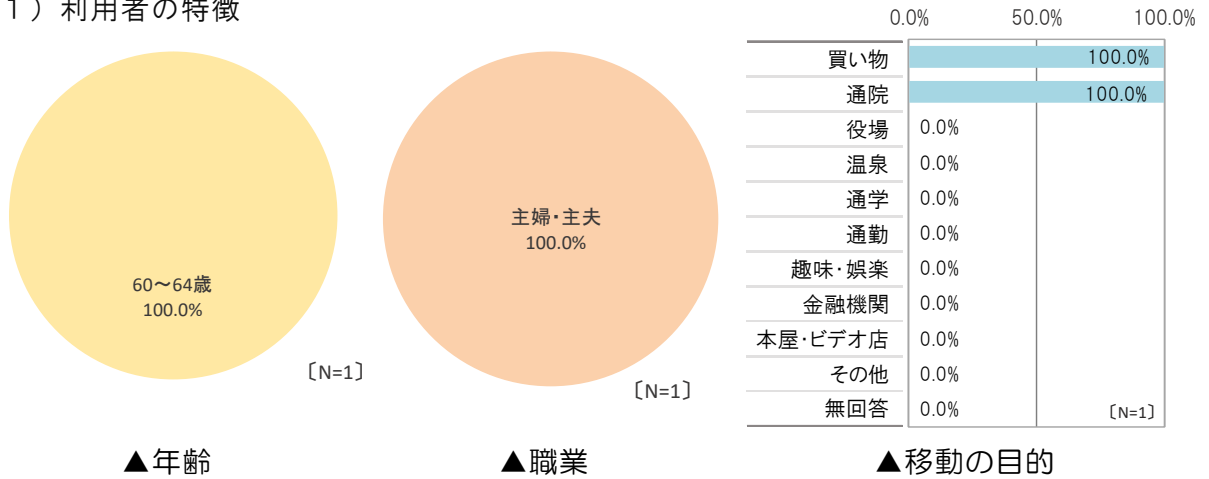


▲便別車内人員（車内人員積み上げ）

3-3-15 福祉バス内山線

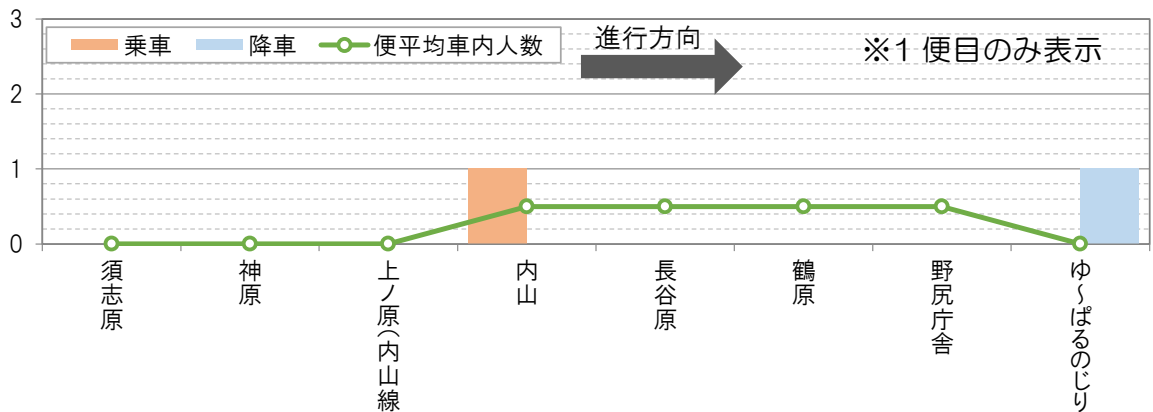
○高齢者（60歳代）の1名が利用し、買い物や通院の目的で利用される。
 ○利用区間は「内山～ゆ～ぱるのじり間」であり、帰りの利用は確認されなかった。
 （行きは内山線を利用し、帰りはタクシーや送迎等の別の手段で移動）

(1) 利用者の特徴

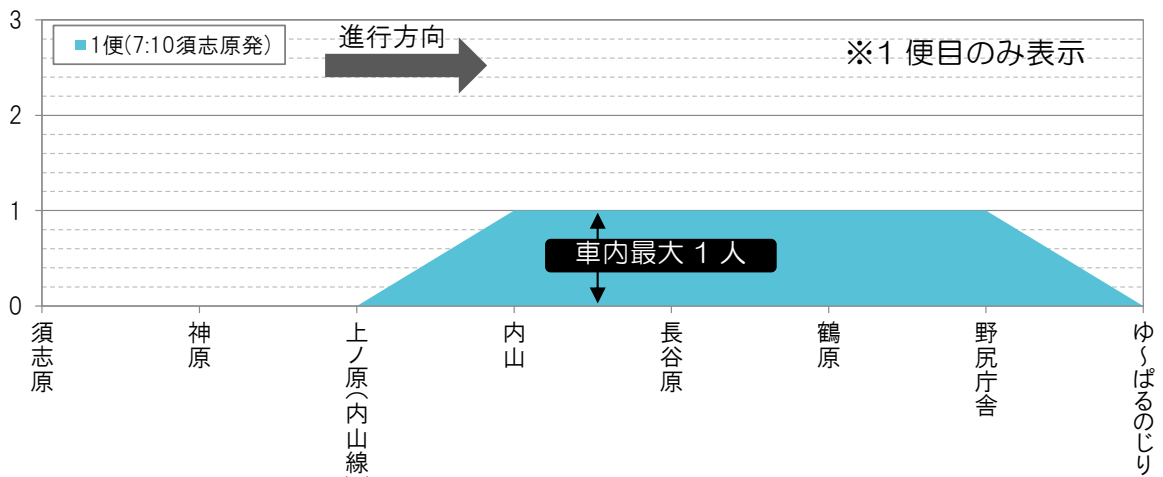


※上記はヒアリングに回答頂いた方のみ

(2) バス停毎の乗降客数



▲バス停別の乗降客数・平均車内人員



▲便別車内人員（全便の車内人員積み上げ）